
玉野市 子どもの生活実態に関する調査
(小中学生・保護者)
報告書

令和7(2025)年9月
岡山県 玉野市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果（保護者）	4
1 居住形態	4
2 同居家族	5
3 婚姻状況	7
4 養育費の状況	8
5 ひとり親世帯について	9
6 介護が必要な家族の有無	10
7 保護者の年齢	11
8 保護者の最終学歴	13
9 就労状況	15
10 保護者と子どもとの関わり方	17
11 授業参観やPTA活動などへの参加状況	27
12 塾や習いごとの状況	31
13 子どもの進学先	32
14 進学先を選んだ理由	35
15 子どものことで悩んでいること	37
16 子育てに関する相談先	39
17 子育てに関する情報の入手先	41
18 現在の生活の経済的なゆとり	43
19 子どもの頃の経済的なゆとり	44
20 世帯全体の年間収入	45
21 経済的な理由で未払いになった経験	46
22 病院にかかれなかった経験	48
23 孤立感	49
24 必要としている支援	50
25 支援制度や相談窓口の利用状況	52
26 暮らしやすさ	58
27 永住意向	60
28 幸福度	62
29 市が力を入れて取り組むべきこと	64
III 調査結果（小中学生）	65
1 通学先	65
2 性別	65

3	同居家族	66
4	健康状態	68
5	学校生活の楽しさ	69
6	部活動や習いごとの状況	70
7	部活動や習いごとをしていない理由	71
8	授業以外の勉強方法	73
9	授業以外の1日あたりの勉強時間	75
10	希望する進学先	78
11	進学先を選んだ理由	81
12	欠席する頻度	83
13	遅刻や早退をする頻度	84
14	家族と一緒に食事をするについて	85
15	ふだんの学校生活について	89
16	平日の就寝時間	91
17	スマートフォン等の使用時間	92
18	家事の手伝いをする頻度	93
19	1日あたりの家事の手伝いをする時間	94
20	家事の手伝いをするに対する思い	95
21	家事の手伝いをする事で起きる問題	97
22	ヤングケアラーの認知状況	99
23	自身のヤングケアラー該当状況	100
24	学校や大人に助けてほしいこと	101
25	困っていることや悩みごとの相談先	104
26	玉野市への愛着度	107
27	Uターン希望	109
28	幸福度	110
29	将来の夢や目標の有無	112
30	少子化の認知状況	113
31	将来、希望する働き方	114
32	玉野市の将来像	116
33	暮らしやすい玉野市をつくるためにできること	117
資料	調査票	118
1	保護者調査票	118
2	小中学生調査票	127

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、子どもの生活状況の実態や家庭の状況、生活環境についての意識やニーズなどを把握し、今後の子ども・子育て支援の充実や改善に向けた、施策を検討するための基礎資料とすることを目的として実施した。

区分	小学生・中学生	保護者
調査名称	小学生・中学生の生活アンケート	子どもの生活実態に関する調査
調査対象	小学5年生 中学2年生	小学5年生の保護者 中学2年生の保護者
調査方法	学校を通じた配布～ インターネットによる回答	学校を通じた配布～ インターネットによる回答 又は郵送回収
調査時期	令和7（2025）年7月	令和7（2025）年7月
有効回答数／配布数 （有効回答率）	小中学生 合計 366 票／737 票（49.7%） 小学生 190 票／384 票（49.5%） 中学生 176 票／353 票（49.9%）	260 票／737 票（35.3%）

【保護者票の回答者】（保護者票問1回答結果より）

	件数(件)	構成比(%)
母親(継母を含む)	227	87.3
父親(継父を含む)	31	11.9
祖父母	1	0.4
その他	0	0.0
無回答	1	0.4
合計	260	100.0

【地区別回答状況】（保護者票問2回答結果より）

	件数(件)	構成比(%)
田井地区	24	9.2
築港地区	8	3.1
宇野地区	17	6.5
玉・奥玉地区	9	3.5
玉原地区	10	3.8
和田地区	8	3.1
日比・渋川地区	15	5.8
荘内地区	119	45.8
八浜・大崎地区	32	12.3
後閑・山田地区	10	3.8
東兎地区	7	2.7
玉野市以外	0	0.0
無回答	1	0.4
合計	260	100.0

【用語の定義】

・所得階層について

本調査では、基本クロス集計に用いている「所得階層別」について、下記の手順により3段階に分類している。

- ① 年間収入（保護者票問 22）に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする。）
- ② 上記の値を、保護者票問4で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- ③ 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。
 - ・所得階層Ⅰ：中央値の2分の1未満
 - ・所得階層Ⅱ：中央値の2分の1以上かつ中央値未満
 - ・所得階層Ⅲ：中央値以上

【所得階層別クロス集計結果について】

「所得階層Ⅰ（低所得）」に該当する小学生の家庭は5.7%、中学生では5.9%であった。また、ひとり親世帯の割合は33.3%であった。

【所得階層別クロス集計結果】

区 分	学年別		世帯区分別		
	小学生	中学生	ふたり親世帯	ひとり親世帯	うち母子世帯
所得階層Ⅰ	5.7%	5.9%	4.9%	33.3%	37.0%
所得階層Ⅱ	33.0%	31.8%	33.8%	48.5%	44.4%
所得階層Ⅲ	58.5%	61.2%	59.6%	18.2%	18.5%

注：世帯収入の無回答者は含まない。

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における所得階層別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者を除いて表記しているため、属性ごとの基数（n）の合計と全体の基数（N）は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

II 調査結果（保護者）

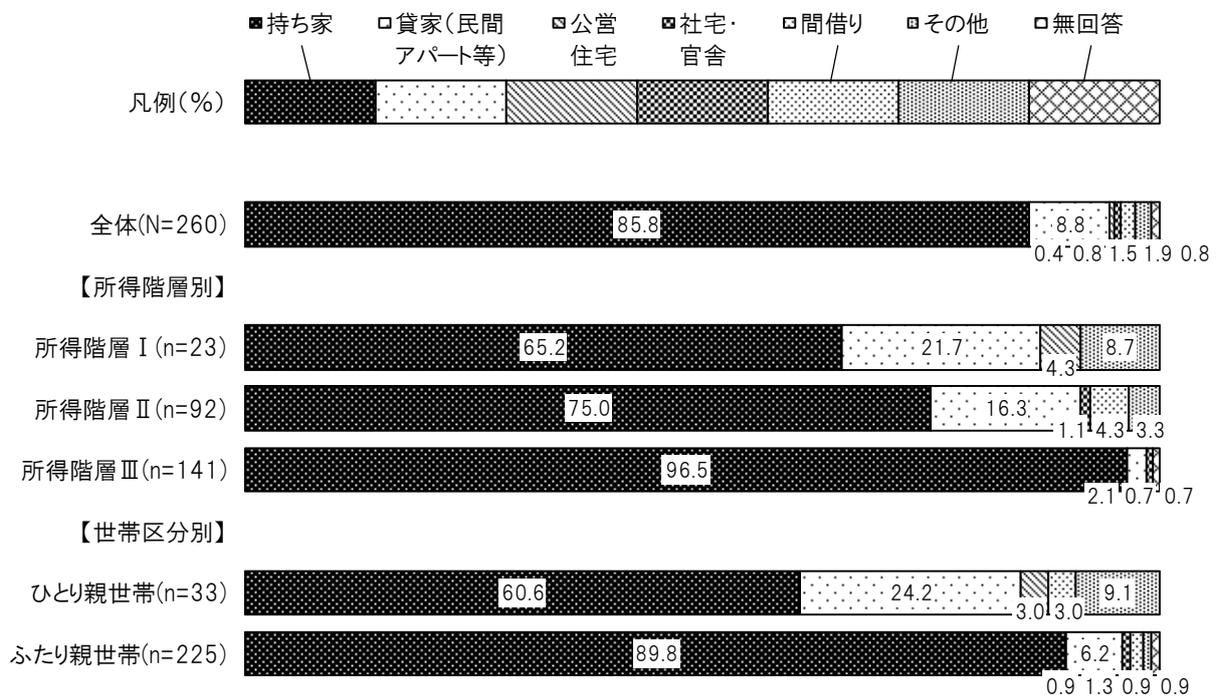
1 居住形態

問3 現在のお住まいについてお答えください。（回答は1つ）

居住形態については、「持ち家」が8割以上（85.8%）、「貸家（民間アパート等）」が1割程度（8.8%）となっている。

所得階層別では、所得階層が高いほど「持ち家」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「貸家（民間アパート等）」の割合が高く、ふたり親世帯で「持ち家」の割合が高くなっている。



2 同居家族

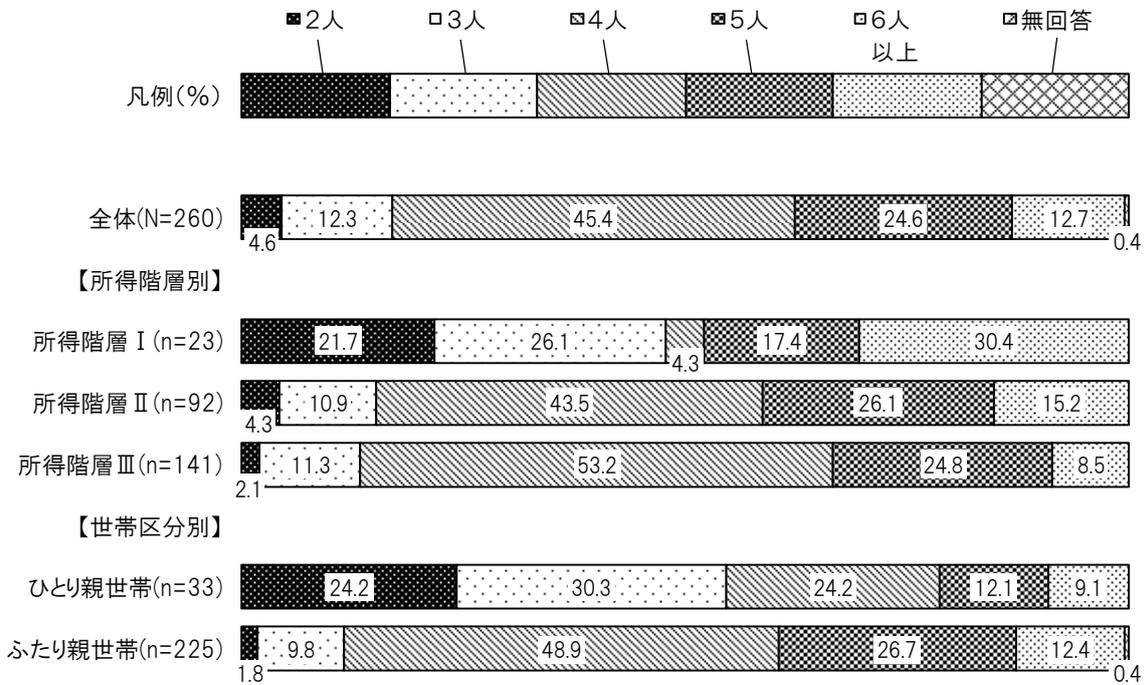
問4 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（回答者ご自身及びお子さんを含む）をお答えください。（単身赴任中の方も含めてください。）また、同居家族について、お子さんから見た続柄をお答えください。

家族の人数については、「4人」の割合が45.4%と最も高く、次いで「5人」（24.6%）が続いている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「2人」「3人」「6人以上」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯で「2人」「3人」、ふたり親世帯で「4人」「5人」の割合がそれぞれ高くなっている。

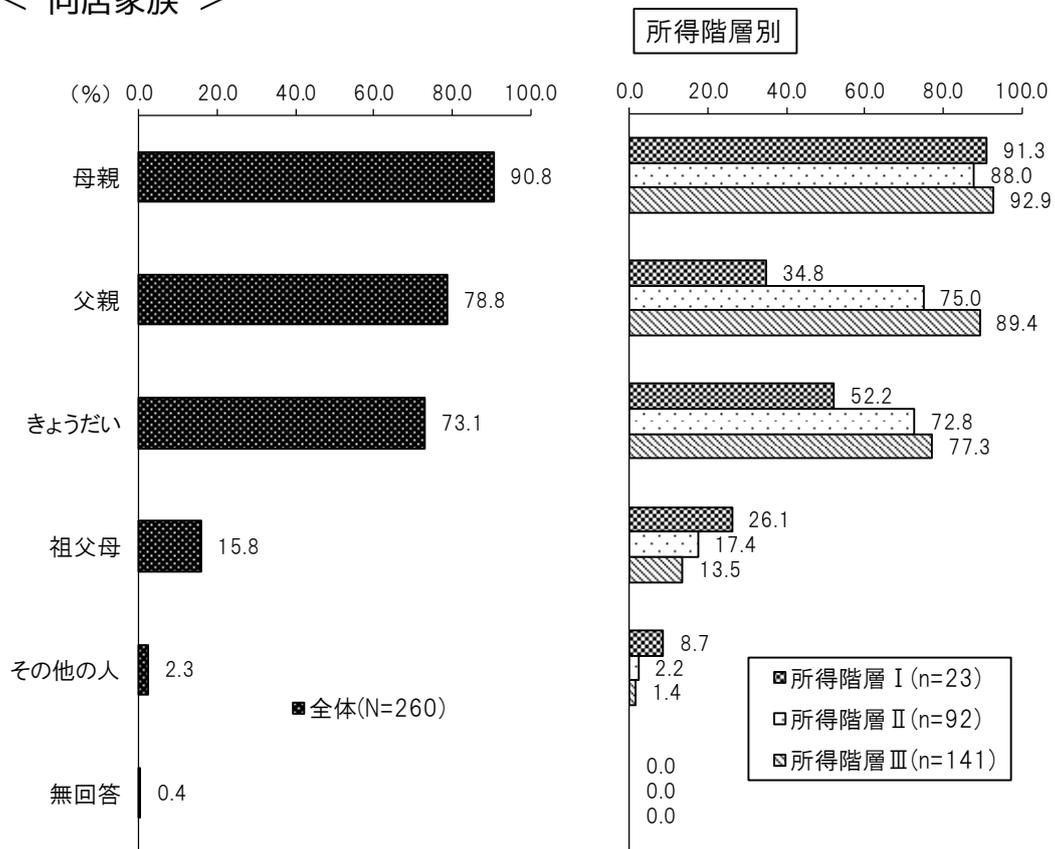
< 家族の人数 >



同居家族については、「母親」の割合が90.8%と最も高く、次いで「父親」(78.8%)、「きょうだい」(73.1%)、「祖父母」(15.8%)の順となっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「父親」「きょうだい」の割合が他の階層に比べて低く、「祖父母」の割合が高くなっている。

< 同居家族 >



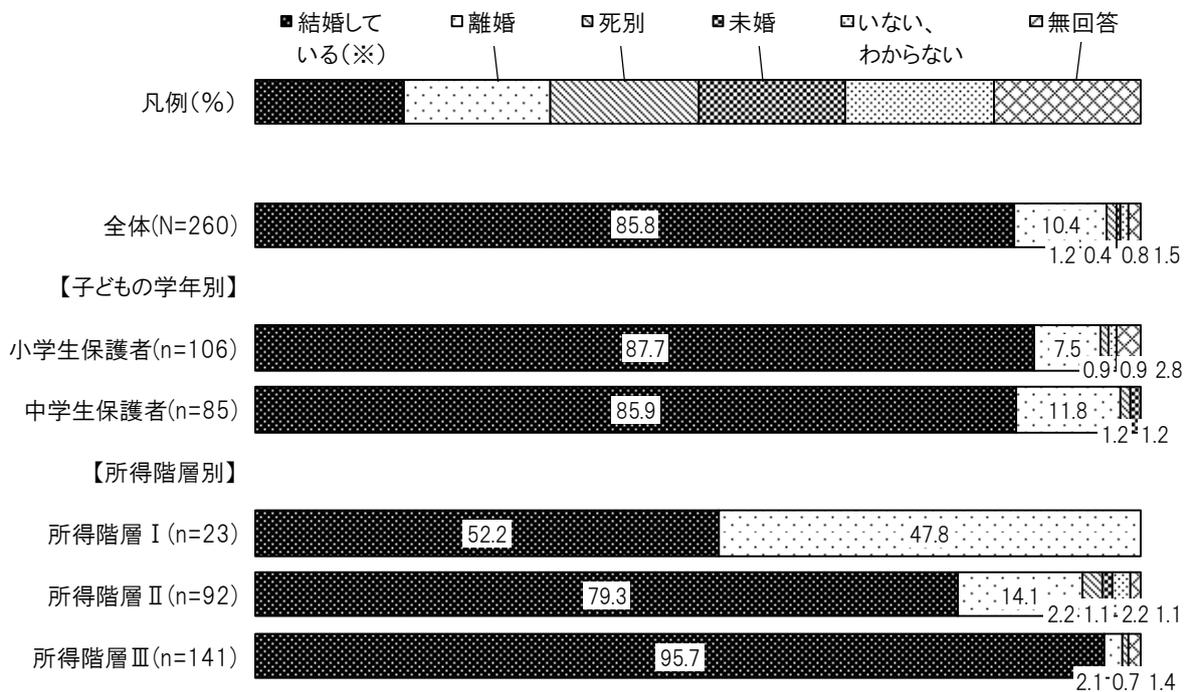
3 婚姻状況

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。
(回答は1つ)

婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が8割以上（85.8%）、
「離婚」が1割程度（10.4%）となっている。

子どもの学年別では、中学生保護者は小学生保護者に比べて「離婚」の割合がやや高くなっている。

所得階層別では、所得階層が高いほど「結婚している（再婚や事実婚を含む）」の割合が高く、所得階層Ⅰで「離婚」の割合が高くなっている。



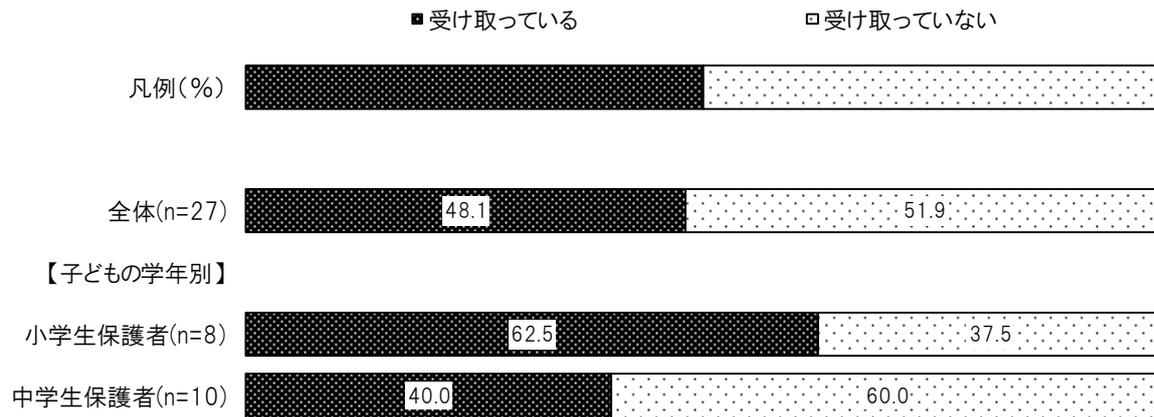
※ 結婚している（再婚や事実婚を含む）

4 養育費の状況

【問5で「2 離婚」と答えた方におたずねします。】

問6 現在、離婚相手からお子さんの養育費を受け取っていますか。（回答は1つ）

養育費の状況については、「受け取っている」が48.1%、「受け取っていない」が51.9%となっている。



注：子どもの学年別については、件数（n）が少ないため参考値として参照

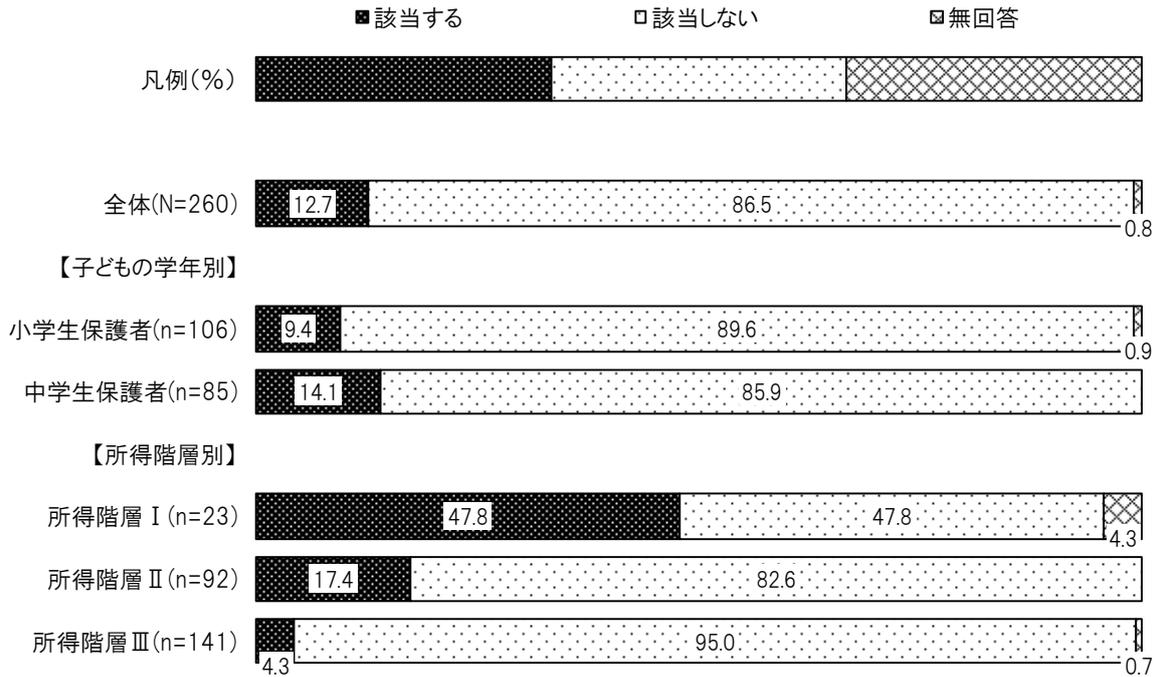
5 ひとり親世帯について

問7 あなたの世帯はひとり親世帯に該当しますか。(回答は1つ)

ひとり親世帯については、「該当する」の割合が12.7%となっている。

子どもの学年別では、中学生保護者は小学生保護者に比べて「該当する」の割合がやや高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「該当する」の割合が他の階層に比べて高くなっている。



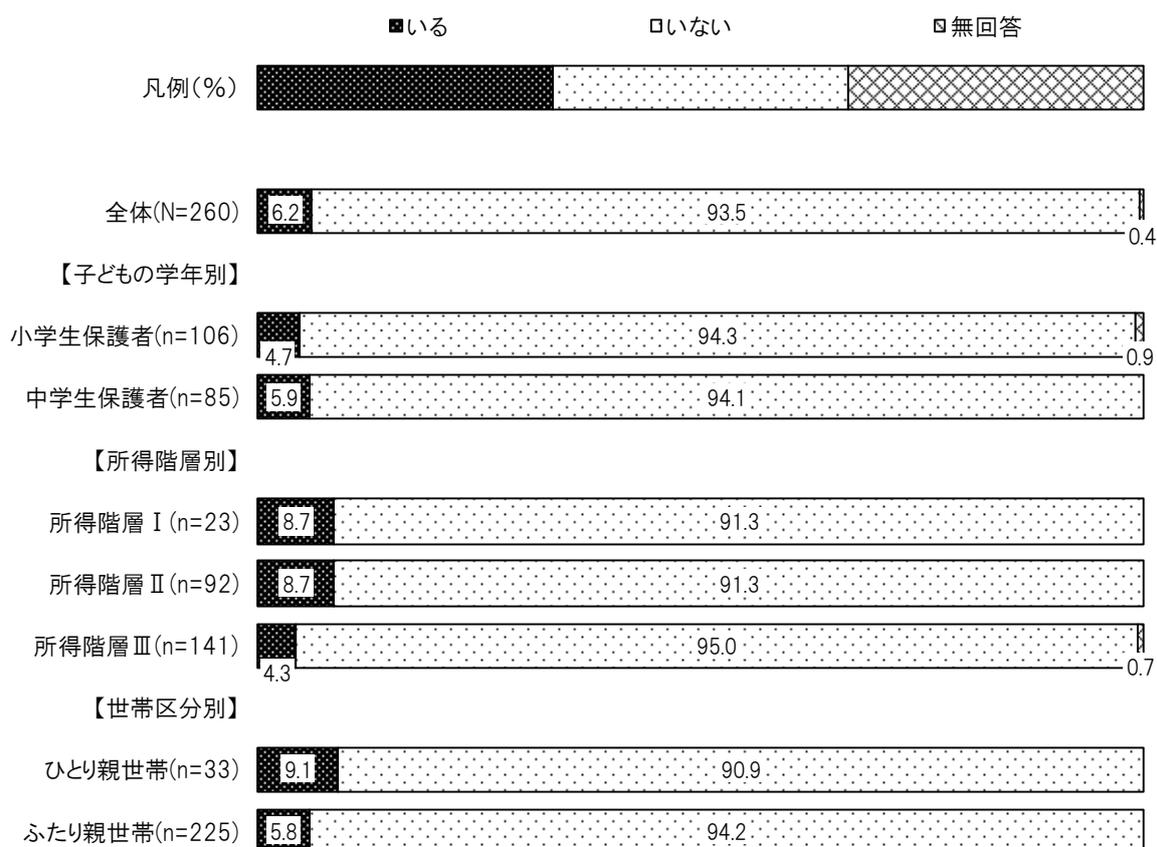
6 介護が必要な家族の有無

問8 ご家族に、介護や介助が必要な方はいますか。(回答は1つ)

介護が必要な家族の有無については、「いる」の割合が6.2%となっている。

子どもの学年別では大きな差はみられないが、所得階層別では所得階層Ⅲで「いない」の割合が他の階層に比べてやや高くなっている。

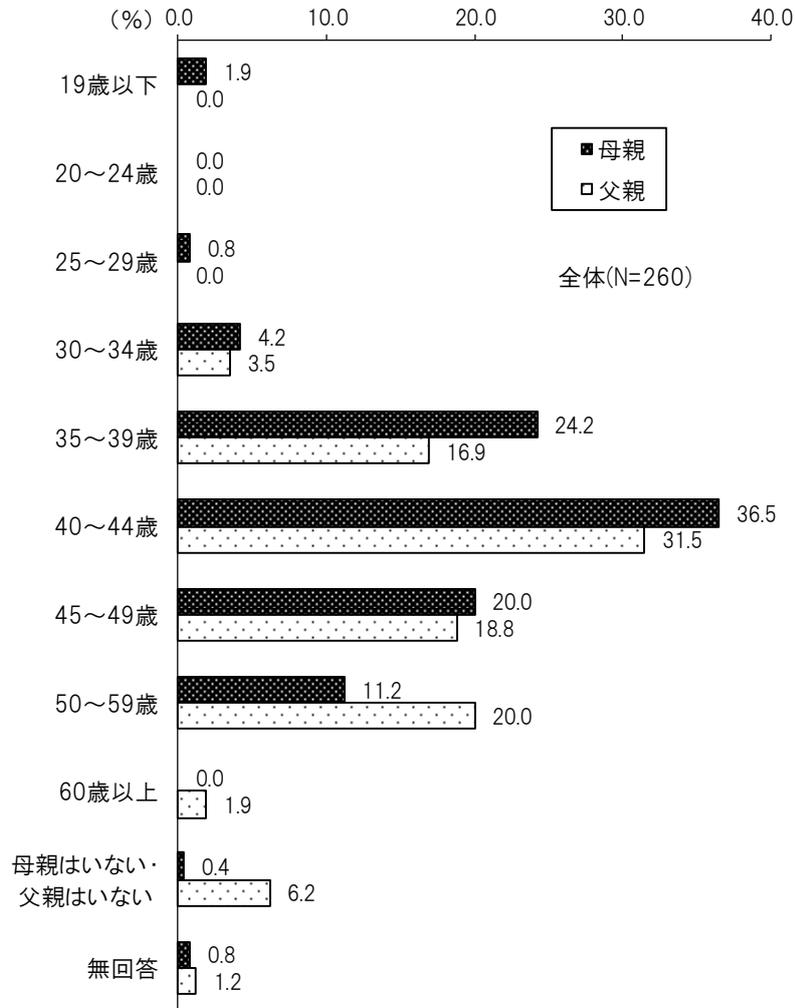
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「いる」の割合がやや高くなっている。



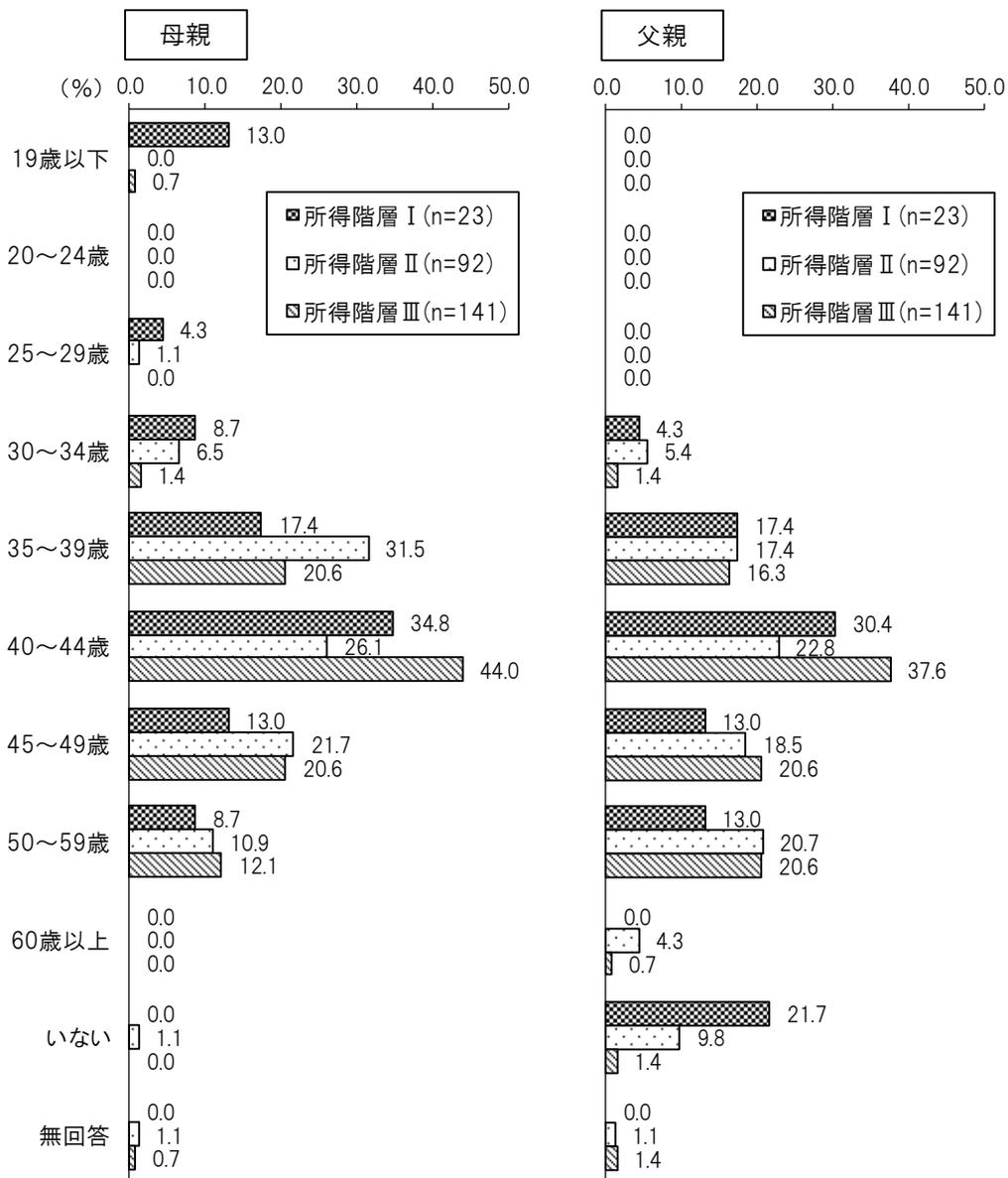
7 保護者の年齢

問9 お子さんの親の年齢をお答えください。（回答は1つずつ）

保護者の年齢については、母親、父親共に「40～44歳」の割合が最も高く、次いで母親では「35～39歳」、父親では「50～59歳」の割合が高くなっている。



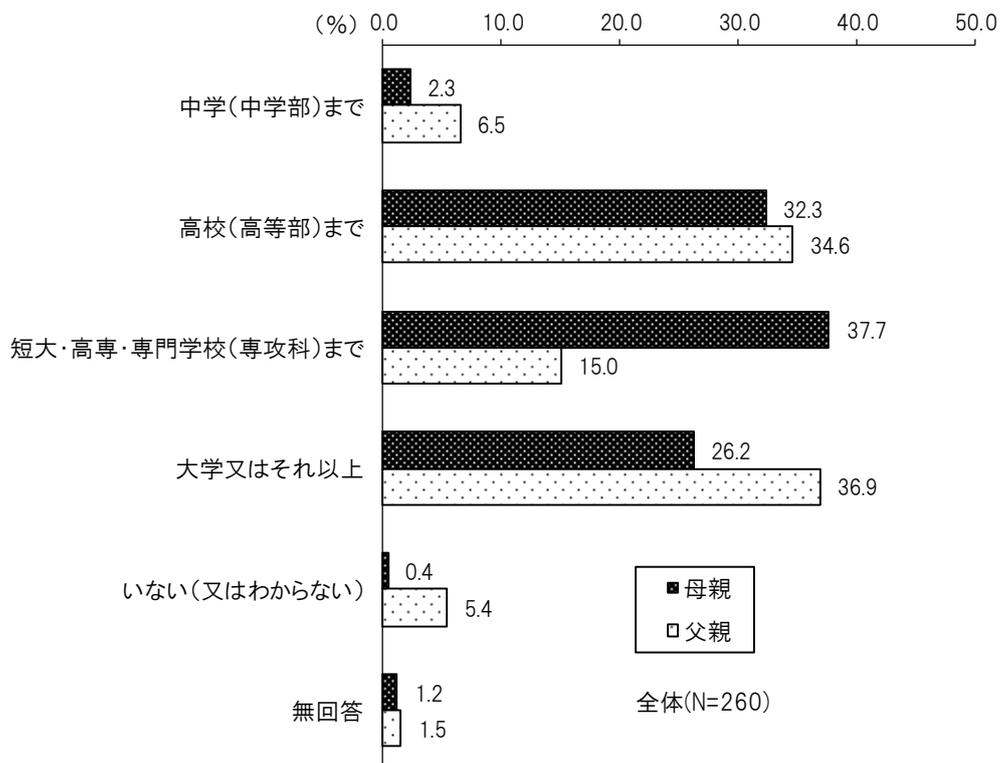
所得階層別では、母親は「19歳以下」で所得階層Ⅰ、「40～44歳」で所得階層Ⅲの割合がそれぞれ高く、父親は「いない」で所得階層Ⅰの割合が他の階層に比べて高くなっている。



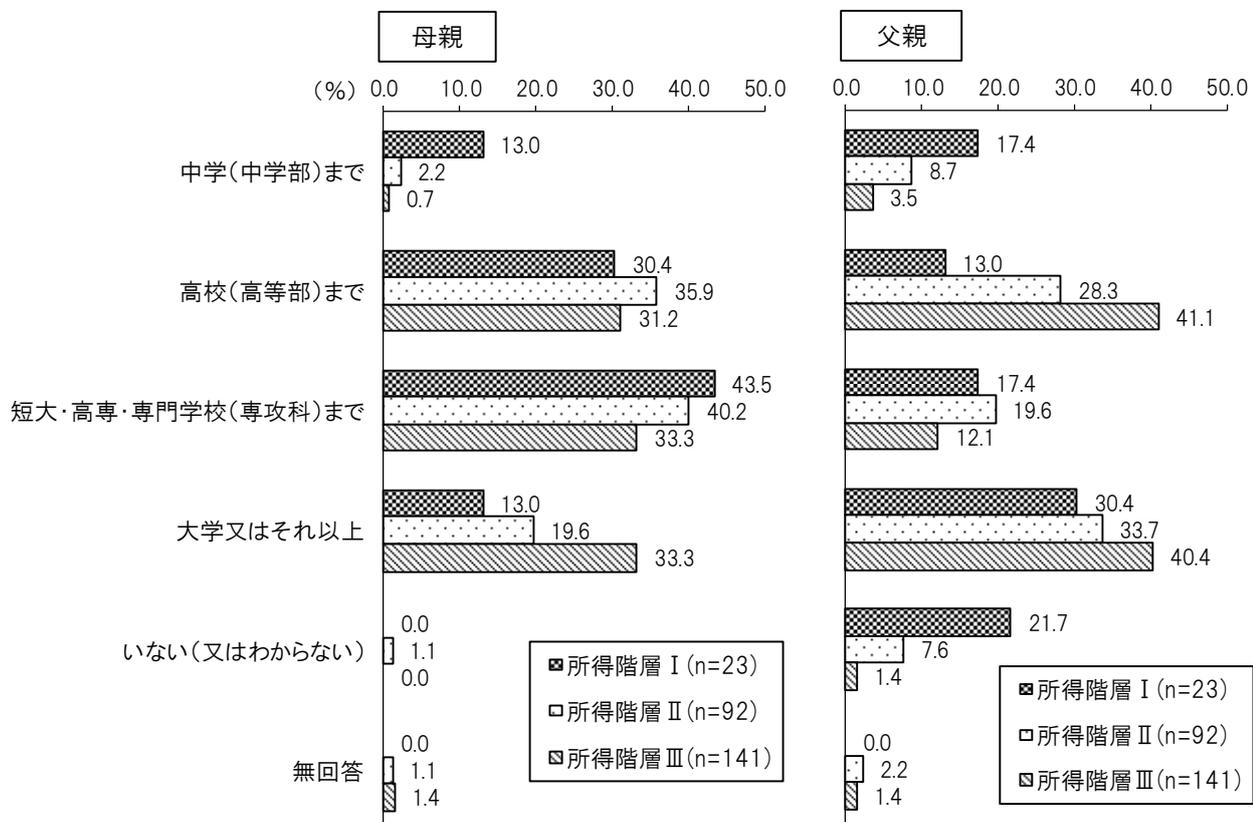
8 保護者の最終学歴

問10 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。（回答は1つずつ）

保護者の最終学歴については、母親は父親に比べて「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が高く、父親は「大学又はそれ以上」の割合が高くなっている。



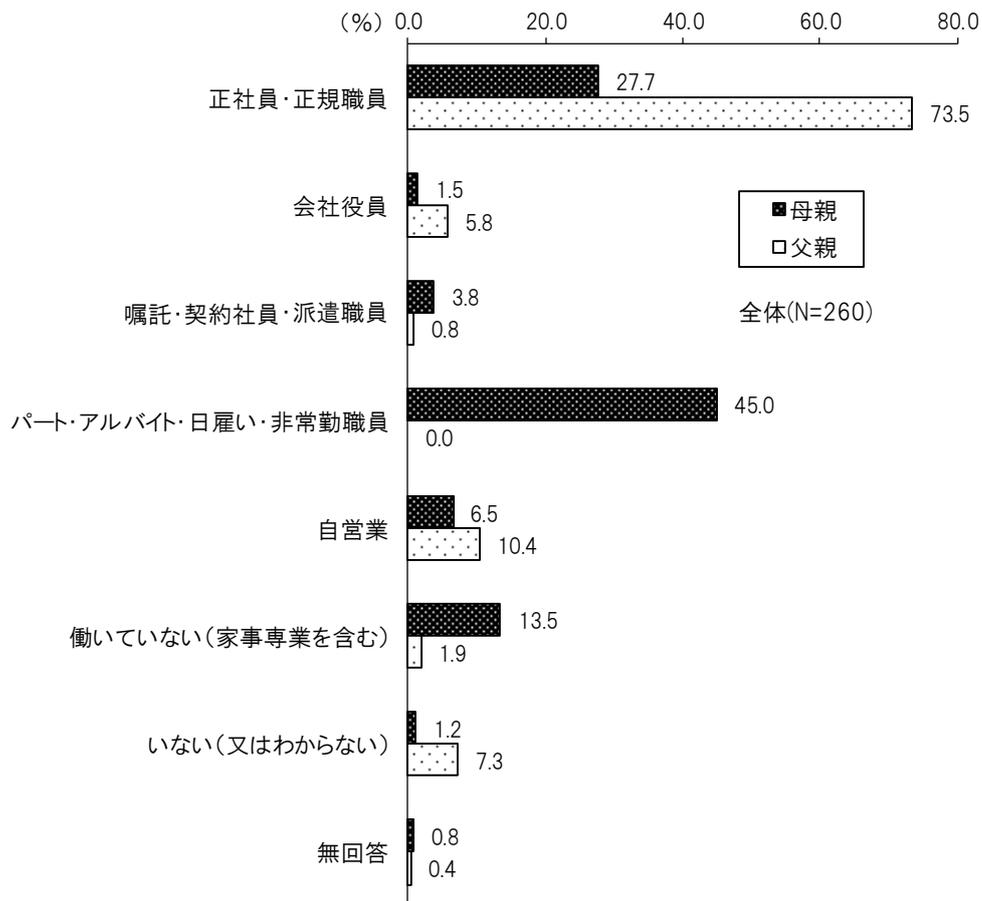
所得階層別では、母親、父親共に、所得階層Ⅰで「中学（中学部）まで」、所得階層Ⅲで「大学又はそれ以上」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。また、父親の所得階層Ⅲで「高校（高等部）まで」の割合が高くなっている。



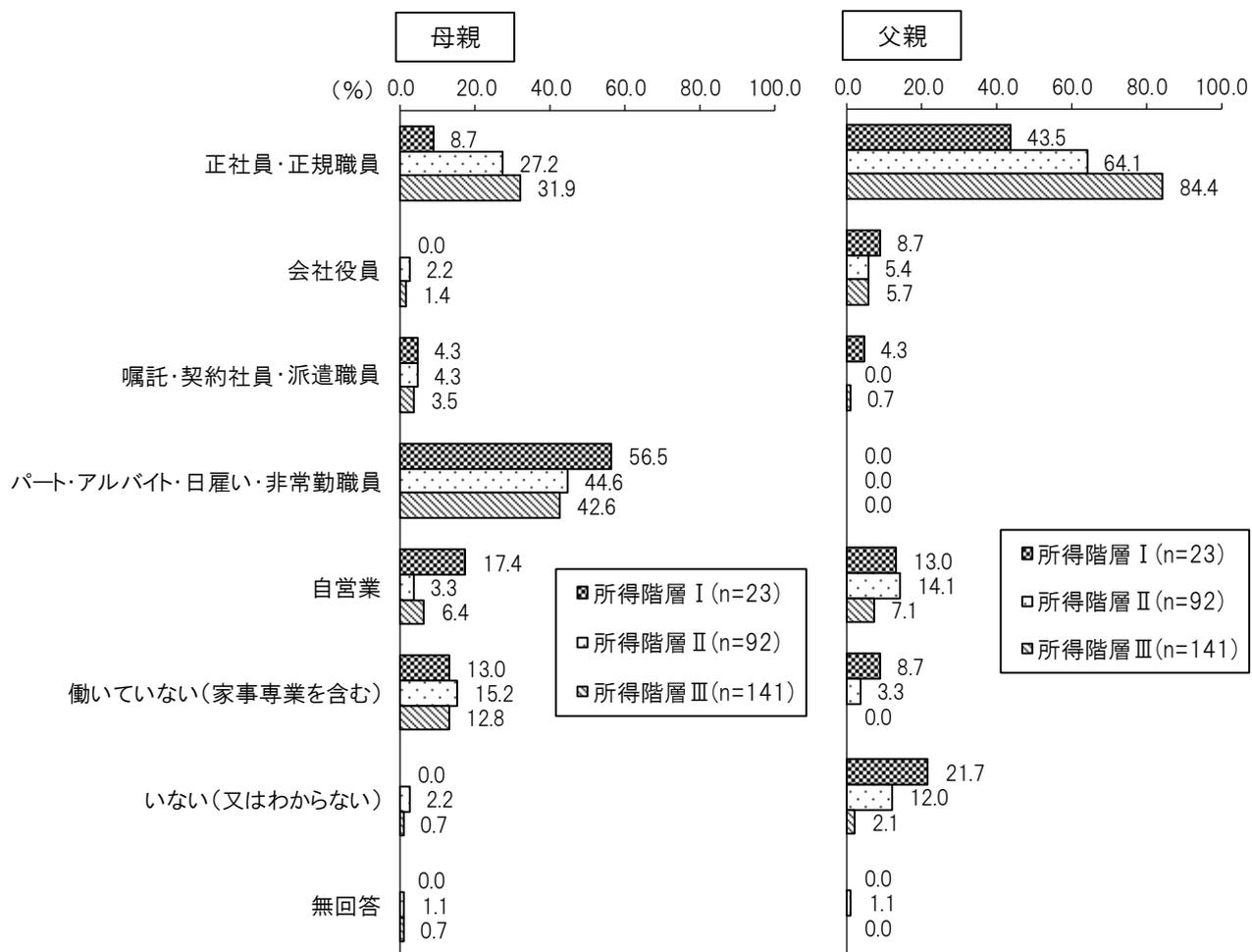
9 就労状況

問 11 お子さんの親の就労状況をお答えください。(回答は1つずつ)

就労状況については、母親は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が45.0%と高く、「働いていない(家事専業を含む)」は13.5%となっている。父親は7割以上(73.5%)が「正社員・正規職員」と回答している。



所得階層別では、母親、父親共に、所得階層が高いほど「正社員・正規職員」の割合が高く、母親は所得階層Ⅰで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」「自営業」の割合が高くなっている。

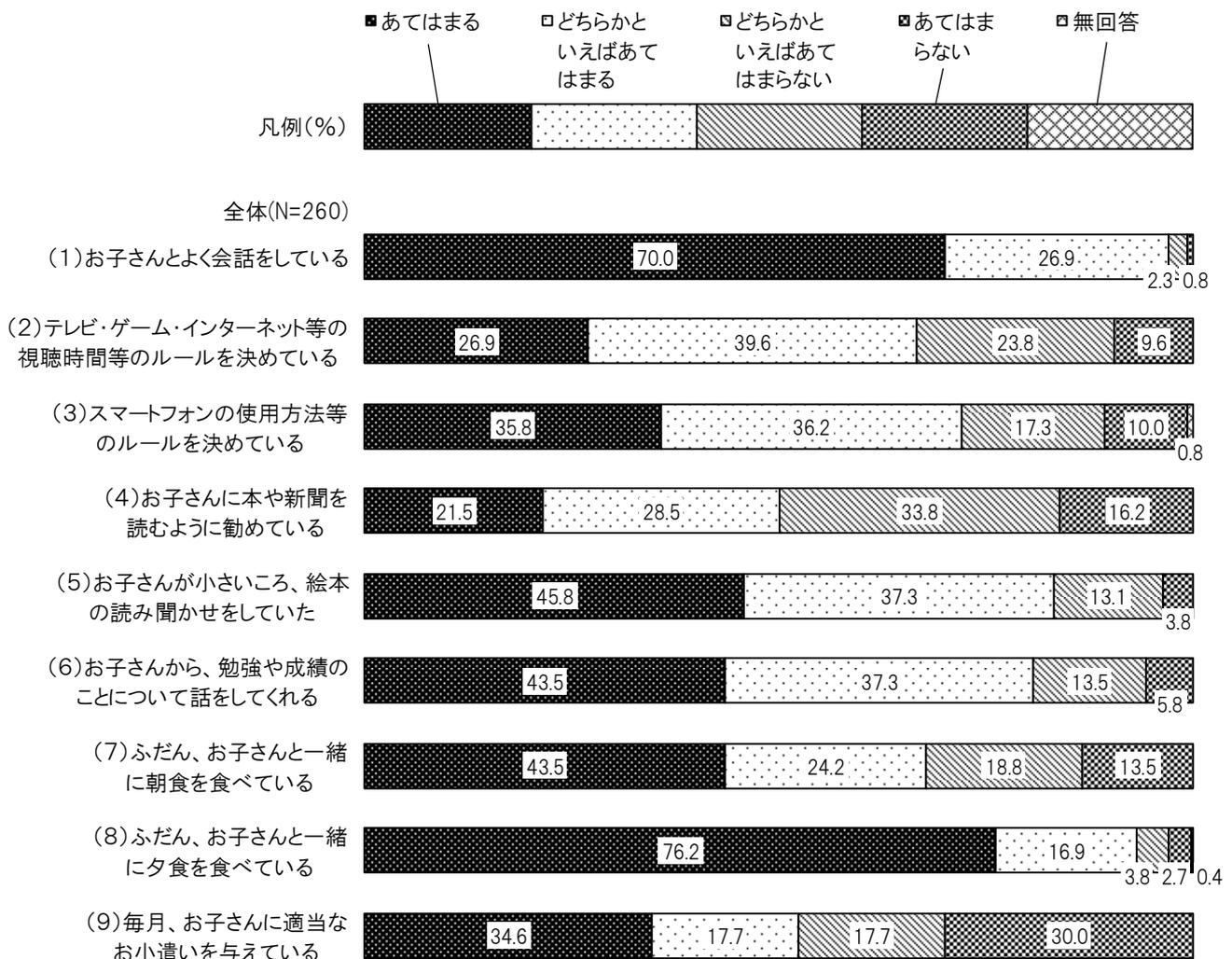


10 保護者と子どもとの関わり方

問 12 保護者の方とお子さんの関わり方についてお尋ねします。次に挙げるそれぞれの項目についてお答えください。（回答は1つずつ）

保護者と子どもとの関わり方については、「あてはまる」の割合が高い順に「(8) ふだん、お子さんと一緒に夕食を食べている」(76.2%)、「(1) お子さんとよく会話をしている」(70.0%)、「(5) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」(45.8%)となっている。

一方、『あてはまらない』（「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計）の割合が高い順に「(4) お子さんに本や新聞を読むように勧めている」(50.0%)、「(9) 毎月、お子さんに適当なお小遣いを与えている」(47.7%)、「(2) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」(33.4%)となっている。

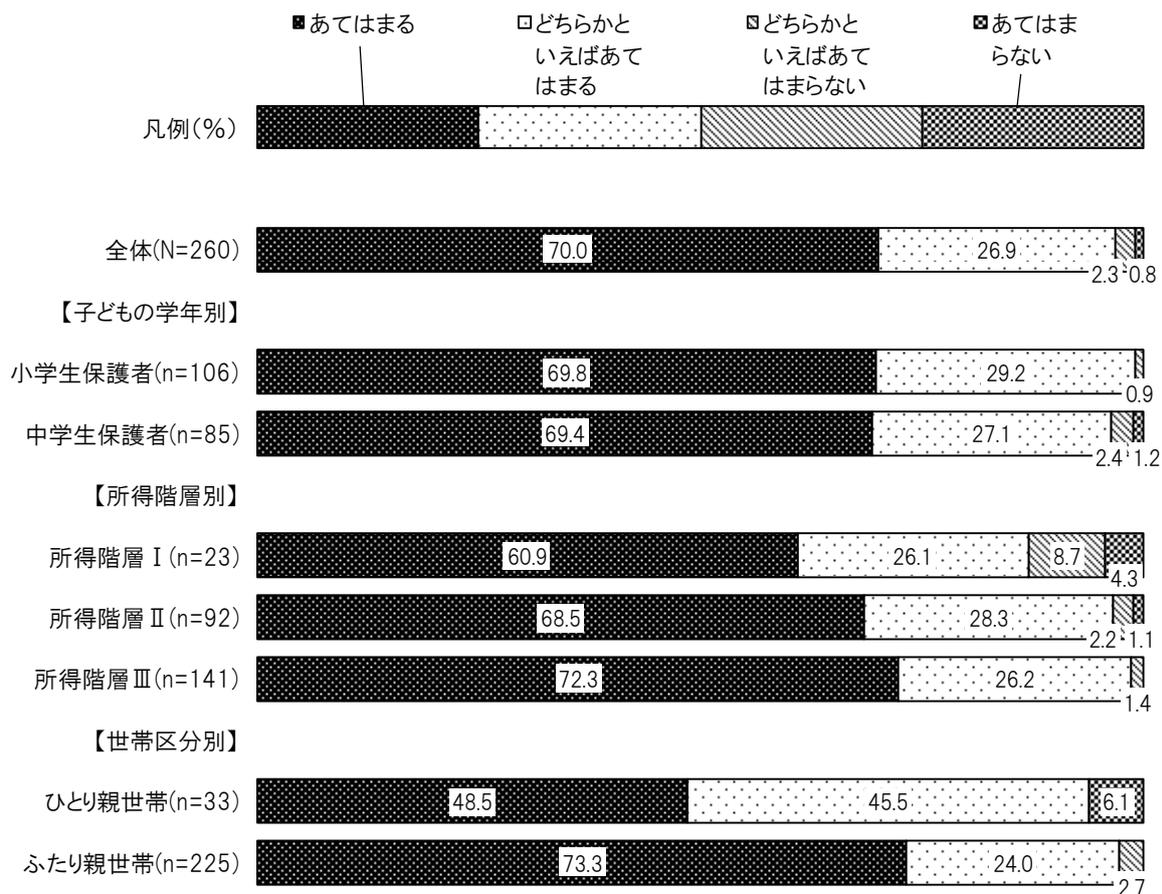


(1) お子さんとよく会話をしている

「お子さんとよく会話をしている」については、『あてはまる』（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）の割合が96.9%となっている。

子どもの学年別では大きな差はみられないが、所得階層別では所得階層Ⅰで『あてはまらない（合計）』の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「あてはまる」の割合が高くなっている。



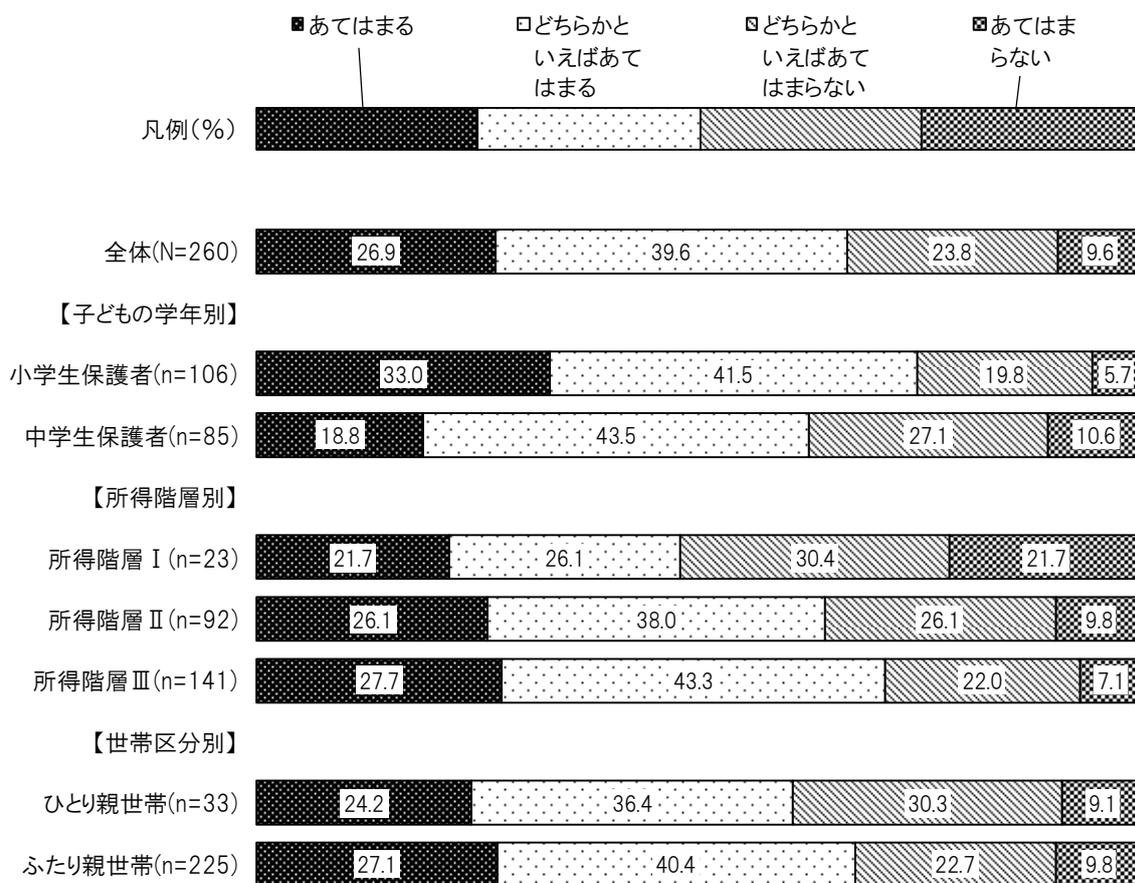
(2) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」については、『あてはまる(合計)』が66.5%、『あてはまらない(合計)』が33.4%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は「あてはまる」の割合が中学生保護者を大きく上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで『あてはまらない(合計)』の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて『あてはまる(合計)』の割合が高くなっている。



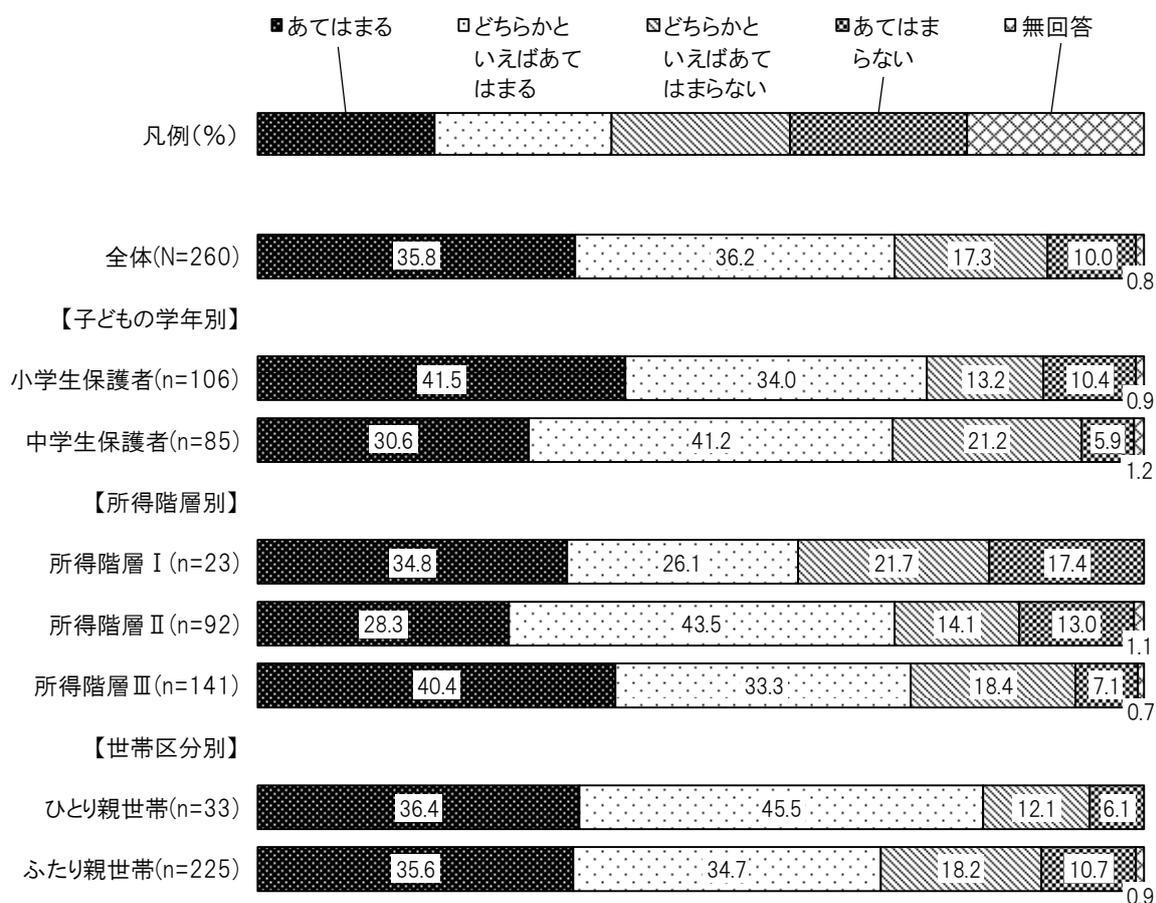
(3) スマートフォンの使用方法等のルールを決めている

「スマートフォンの使用方法等のルールを決めている」については、『あてはまる（合計）』が72.0%、『あてはまらない（合計）』が27.3%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は「あてはまる」の割合が中学生保護者を大きく上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで『あてはまらない（合計）』の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「どちらかといえばあてはまる」の割合が高くなっている。



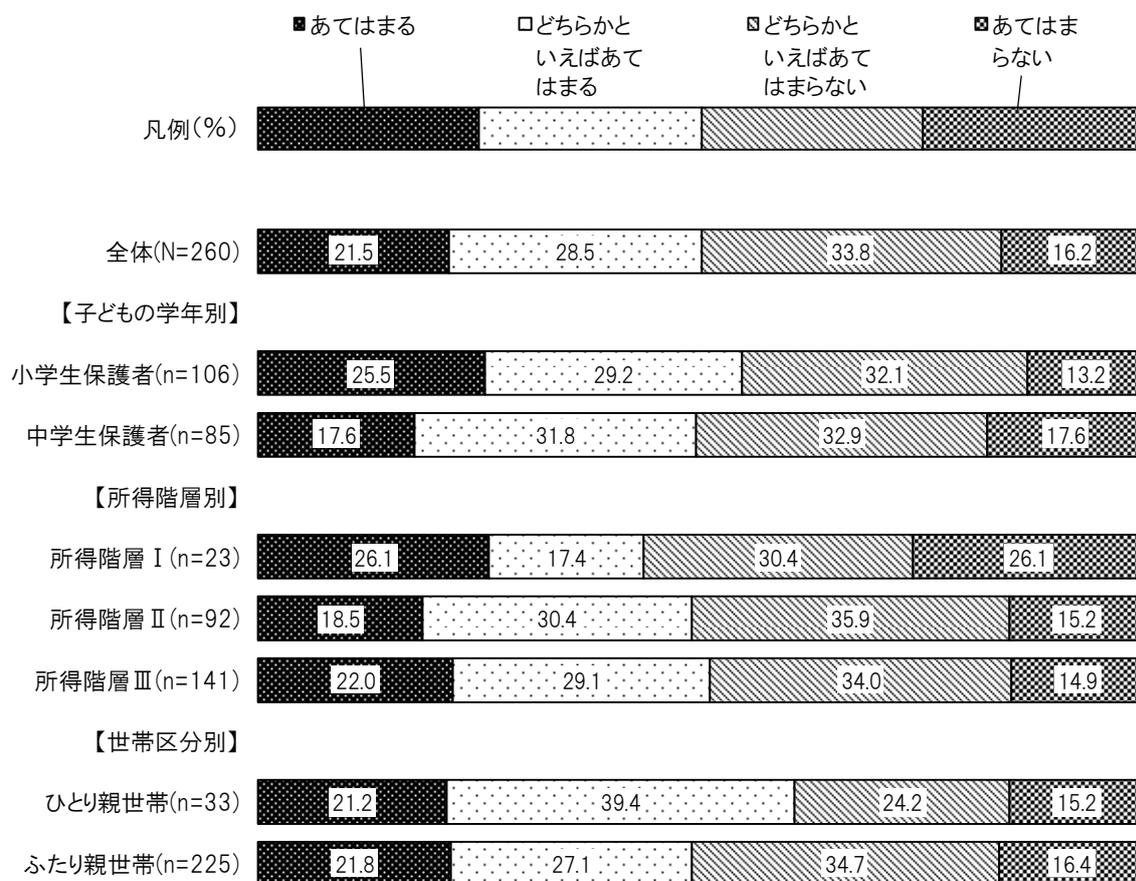
(4) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」については、『あてはまる（合計）』『あてはまらない（合計）』が各 50.0%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は中学生保護者に比べて「あてはまる」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「あてはまらない」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「どちらかといえばあてはまる」の割合が高くなっている。



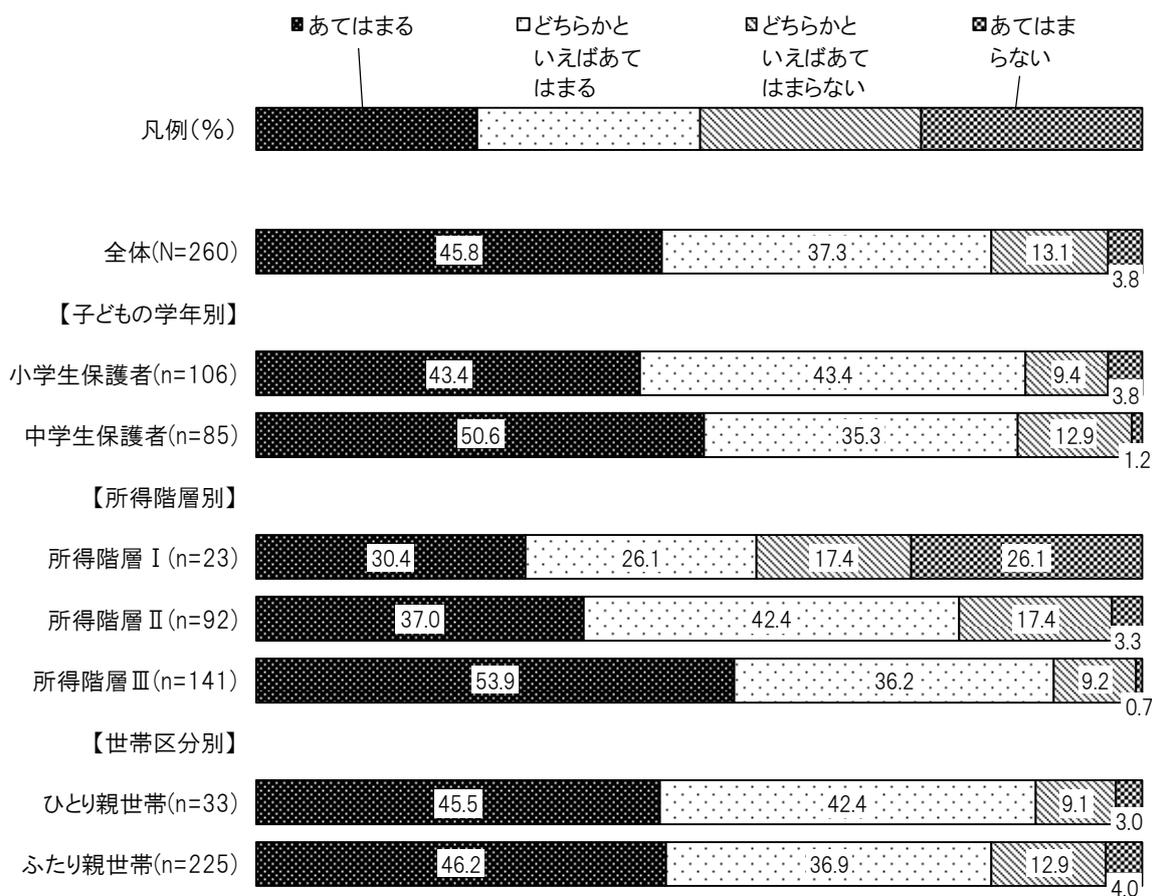
(5) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」については、『あてはまる（合計）』が83.1%、『あてはまらない（合計）』が16.9%となっている。

子どもの学年別では、中学生保護者は小学生保護者に比べて「あてはまる」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層が高いほど「あてはまる」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「どちらかといえばあてはまる」の割合がやや高くなっている。



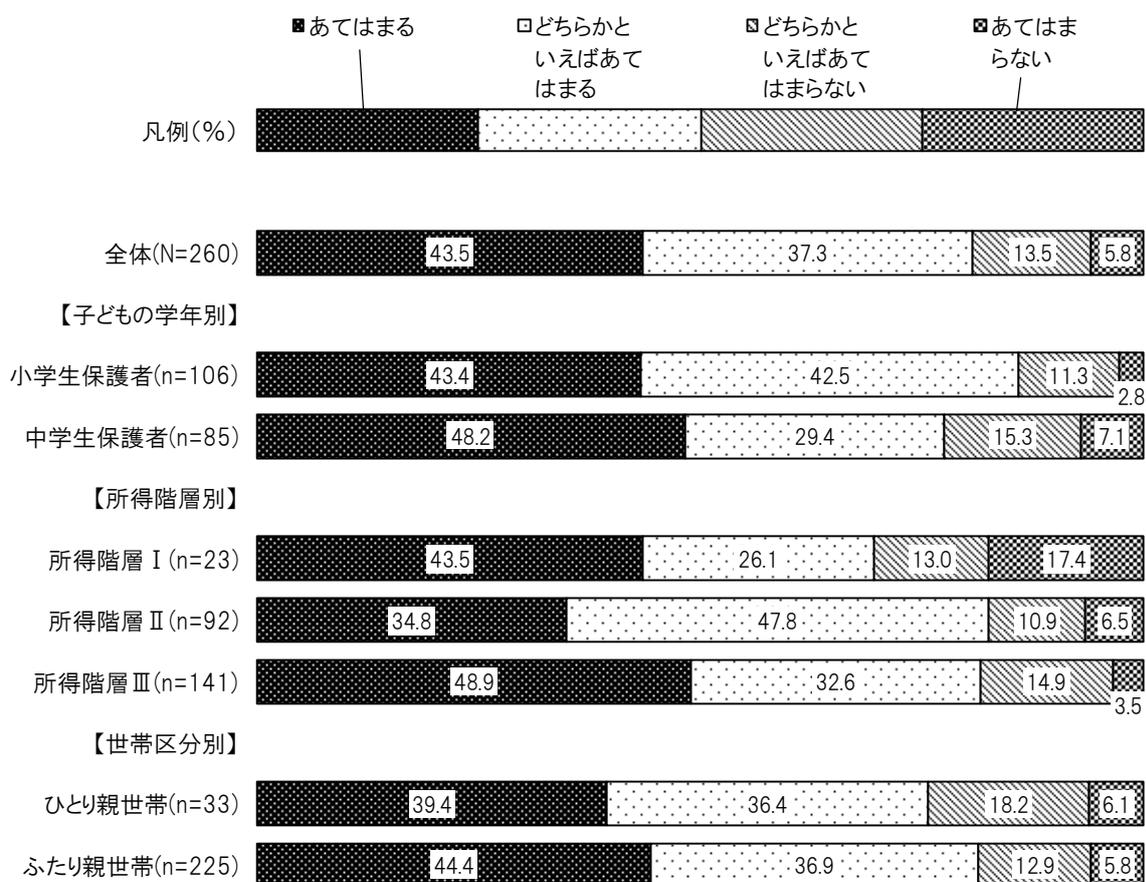
(6) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」については、『あてはまる（合計）』が80.8%、『あてはまらない（合計）』が19.3%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は中学生保護者に比べて『あてはまる（合計）』の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで『あてはまらない（合計）』の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「どちらかといえばあてはまらない」の割合が高くなっている。



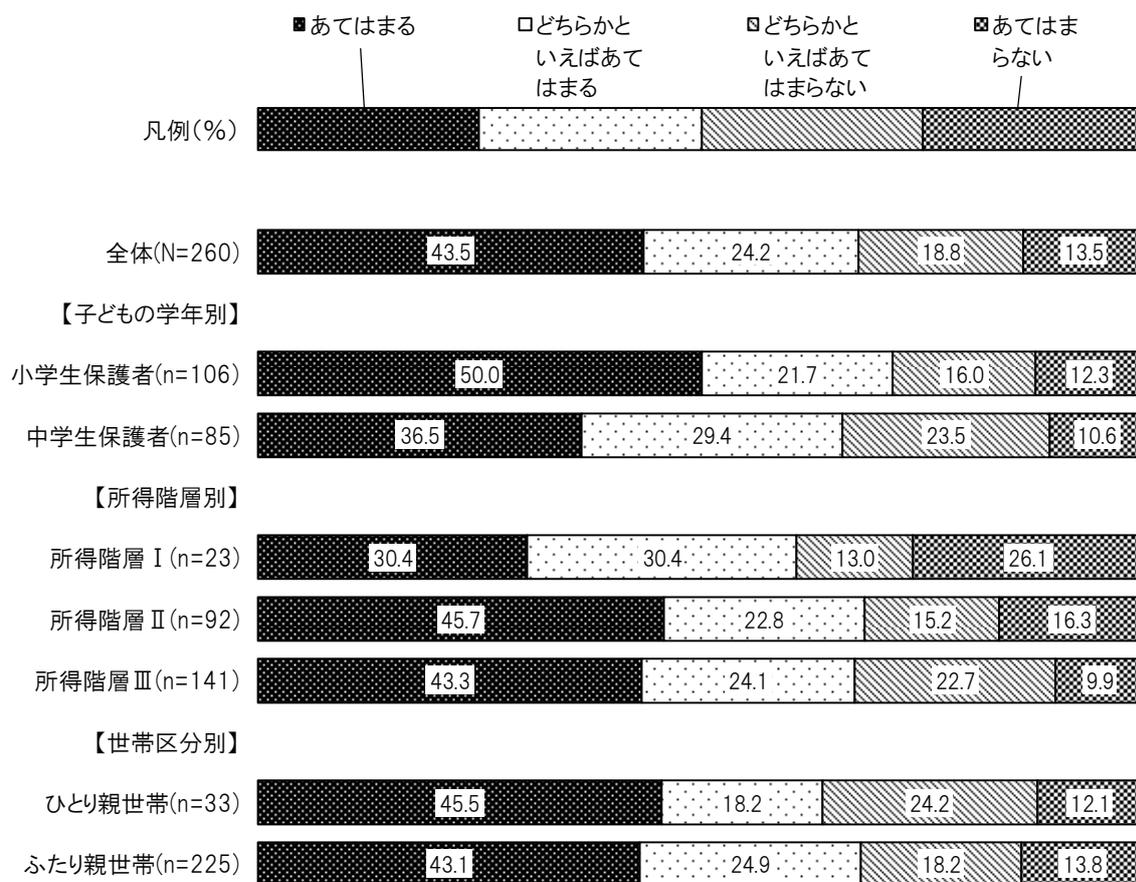
(7) ふだん、お子さんと一緒に朝食を食べている

「ふだん、お子さんと一緒に朝食を食べている」については、『あてはまる（合計）』が67.7%、『あてはまらない（合計）』が32.3%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は「あてはまる」の割合が中学生保護者を大きく上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「あてはまる」の割合が他の階層に比べて低くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて『あてはまらない（合計）』の割合がやや高くなっている。



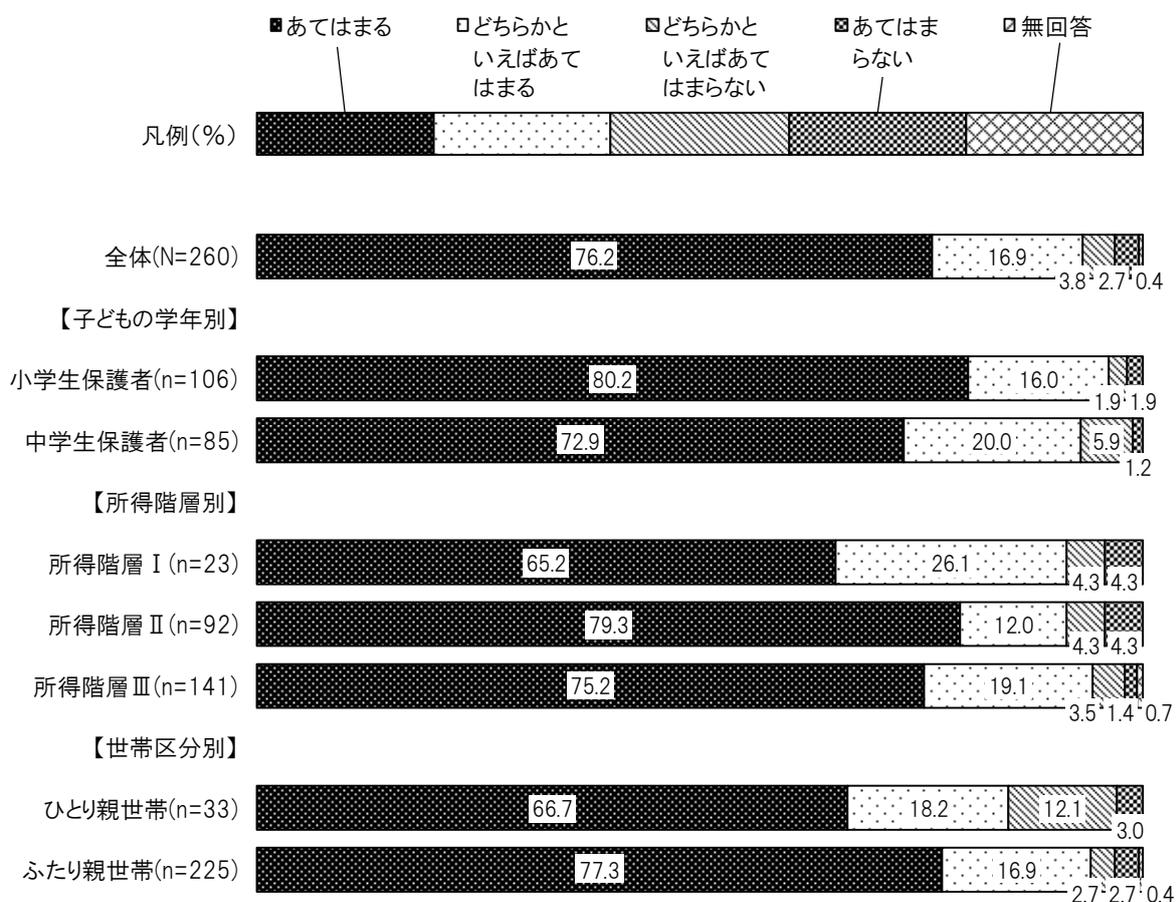
(8) ふだん、お子さんと一緒に夕食を食べている

「ふだん、お子さんと一緒に夕食を食べている」については、『あてはまる（合計）』の割合が93.1%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は中学生保護者に比べて「あてはまる」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「あてはまる」の割合が他の階層に比べて低くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて『あてはまらない（合計）』の割合が高くなっている。



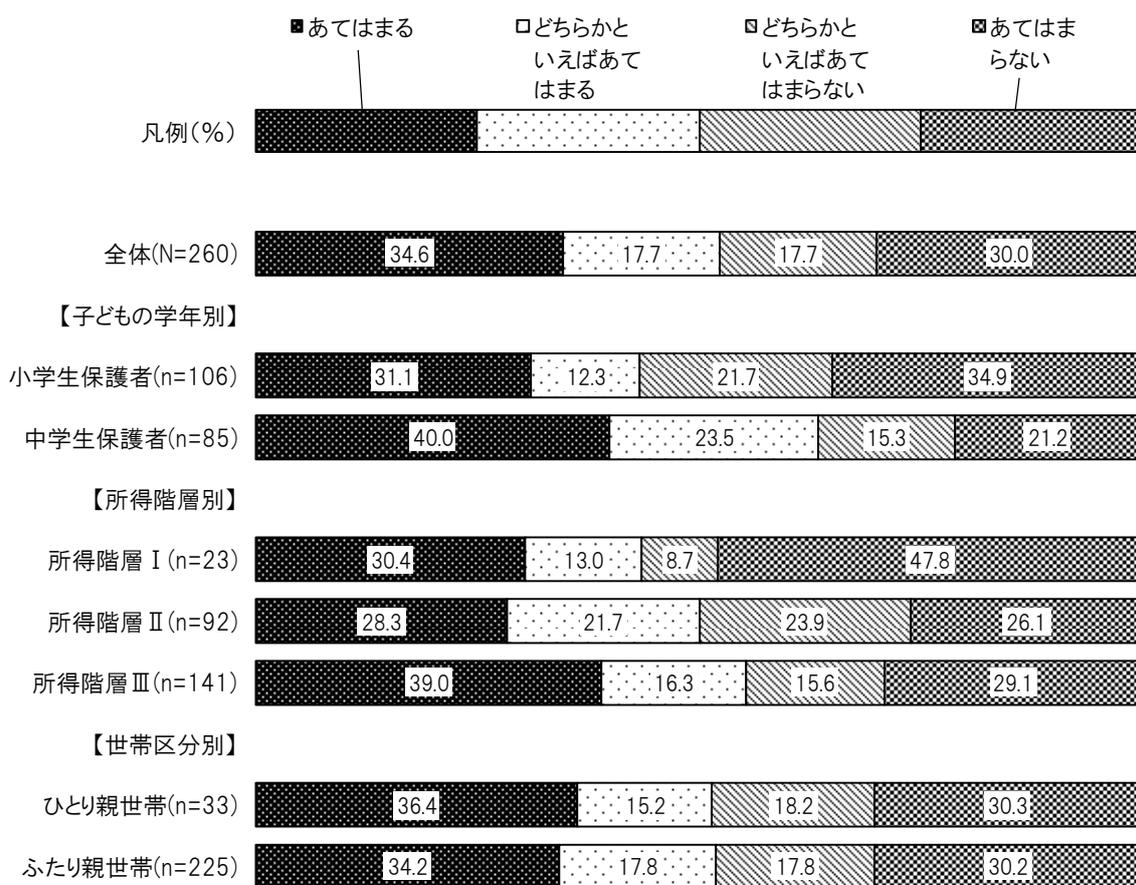
(9) 毎月、お子さんに適なお小遣いを与えている

「毎月、お子さんに適なお小遣いを与えている」については、『あてはまる(合計)』が52.3%、『あてはまらない(合計)』が47.7%となっている。

子どもの学年別では、中学生保護者は『あてはまる(合計)』の割合が小学生保護者を大きく上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「あてはまらない」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、大きな差はみられない。

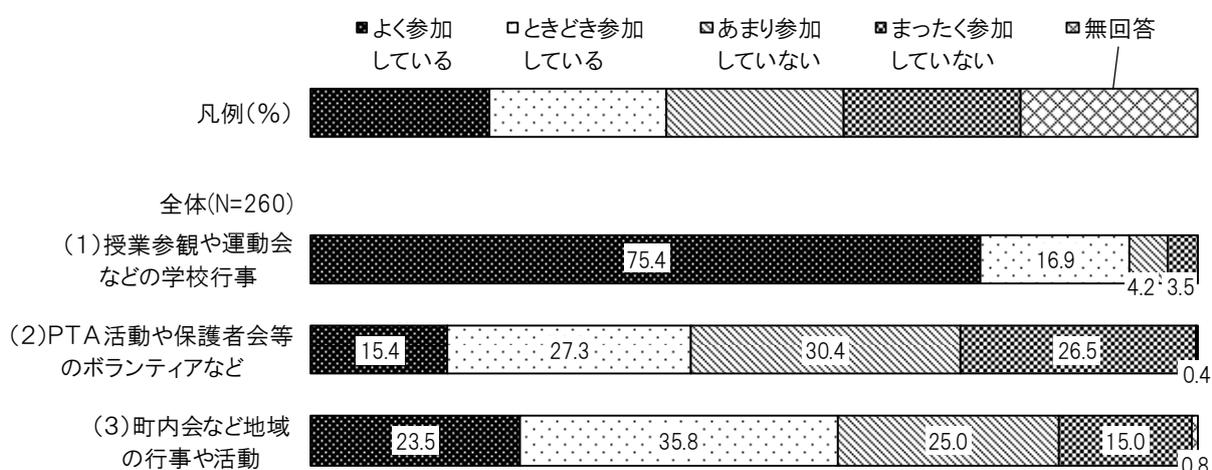


11 授業参観やPTA活動などへの参加状況

問 13 あなたは、お子さんの授業参観やPTA活動などに、ふだん、どの程度参加していますか。次に挙げるそれぞれの項目についてお答えください。(回答は1つずつ)

授業参観やPTA活動などへの参加状況については、「(1) 授業参観や運動会などの学校行事」は大半(92.3%)の保護者が『参加している』(「よく参加している」「ときどき参加している」の合計)と回答している。

「(2) PTA活動や保護者会等のボランティアなど」は約4割(42.7%)、「(3) 町内会など地域の行事や活動」は約6割(59.3%)の保護者が『参加している(合計)』と回答している。



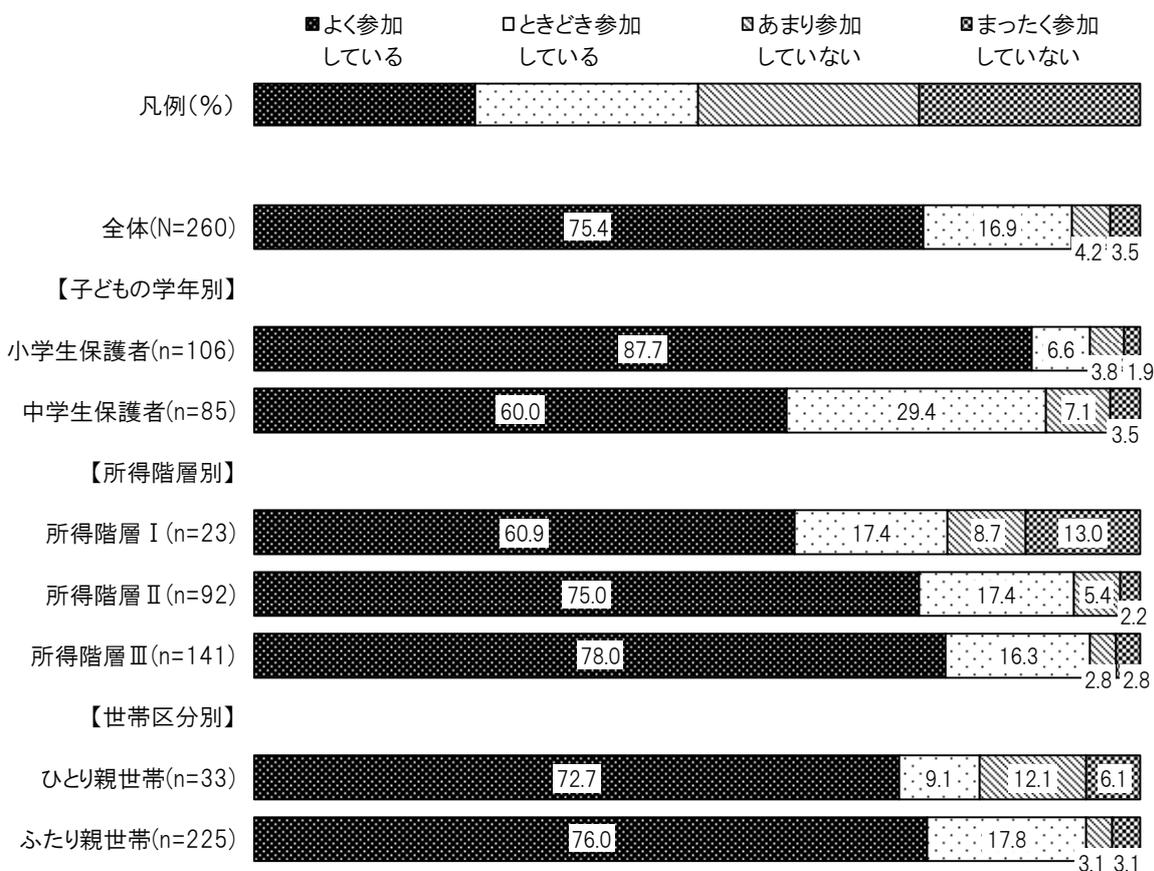
(1) 授業参観や運動会などの学校行事

「授業参観や運動会などの学校行事」については、『参加している（合計）』の割合が92.3%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は「よく参加している」の割合が中学生保護者を大きく上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで『参加していない（合計）』の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて『参加していない（合計）』の割合が高くなっている。



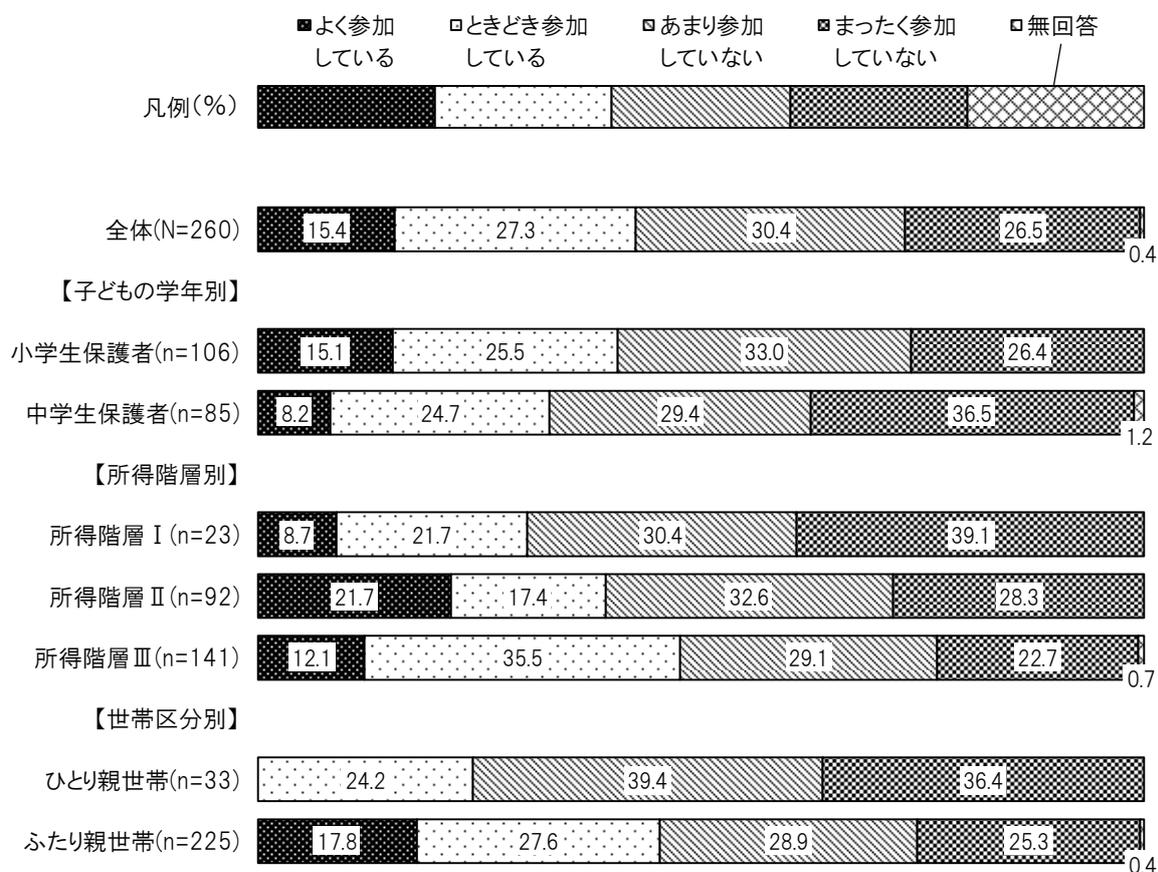
(2) PTA活動や保護者会等のボランティアなど

「PTA活動や保護者会等のボランティアなど」については、『参加している（合計）』が42.7%、『参加していない（合計）』が56.9%となっている。

子どもの学年別では、中学生保護者は小学生保護者に比べて「まったく参加していない」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層が高いほど『参加している（合計）』の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて『参加していない（合計）』の割合が高くなっている。

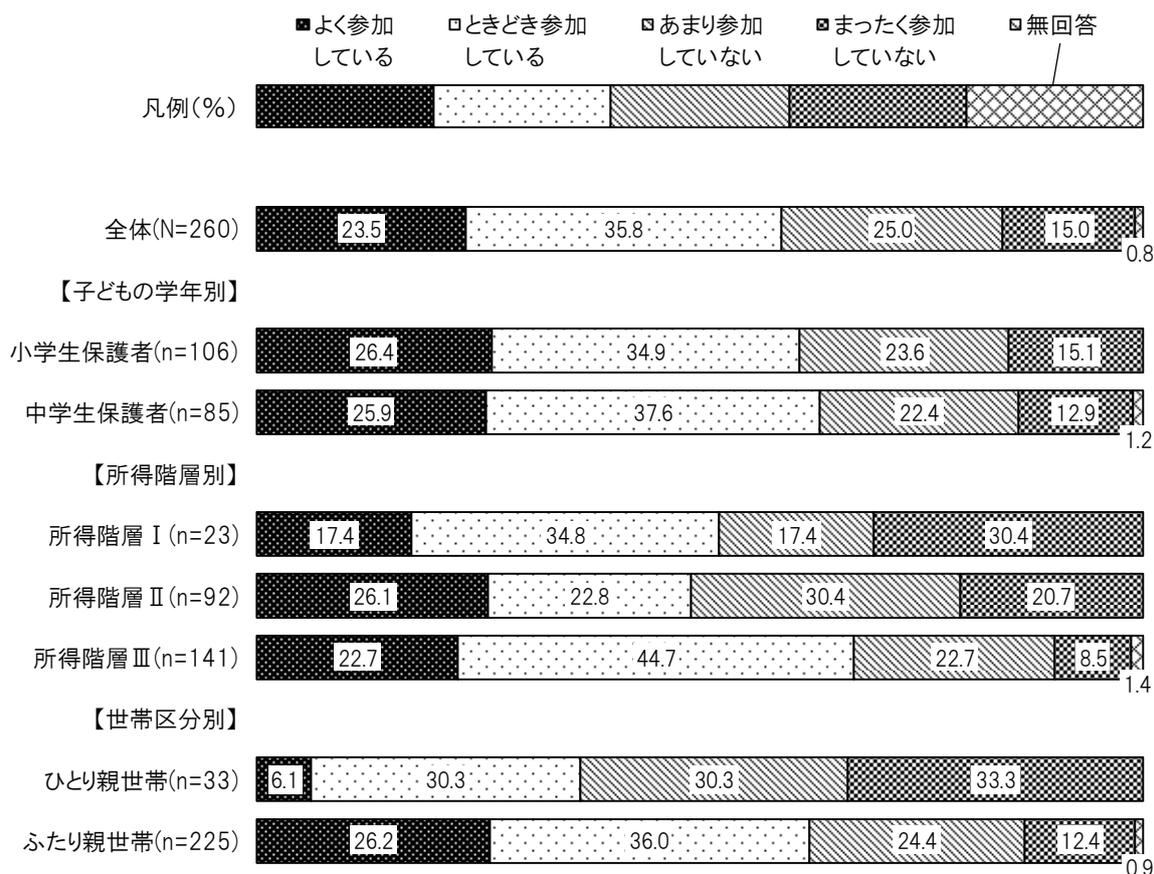


(3) 町内会など地域の行事や活動

「町内会など地域の行事や活動」については、『参加している（合計）』が59.3%、『参加していない（合計）』が40.0%となっている。

子どもの学年別では大きな差はみられないが、所得階層別では所得階層Ⅲで『参加している（合計）』の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて『参加していない（合計）』の割合が高くなっている。



12 塾や習いごとの状況

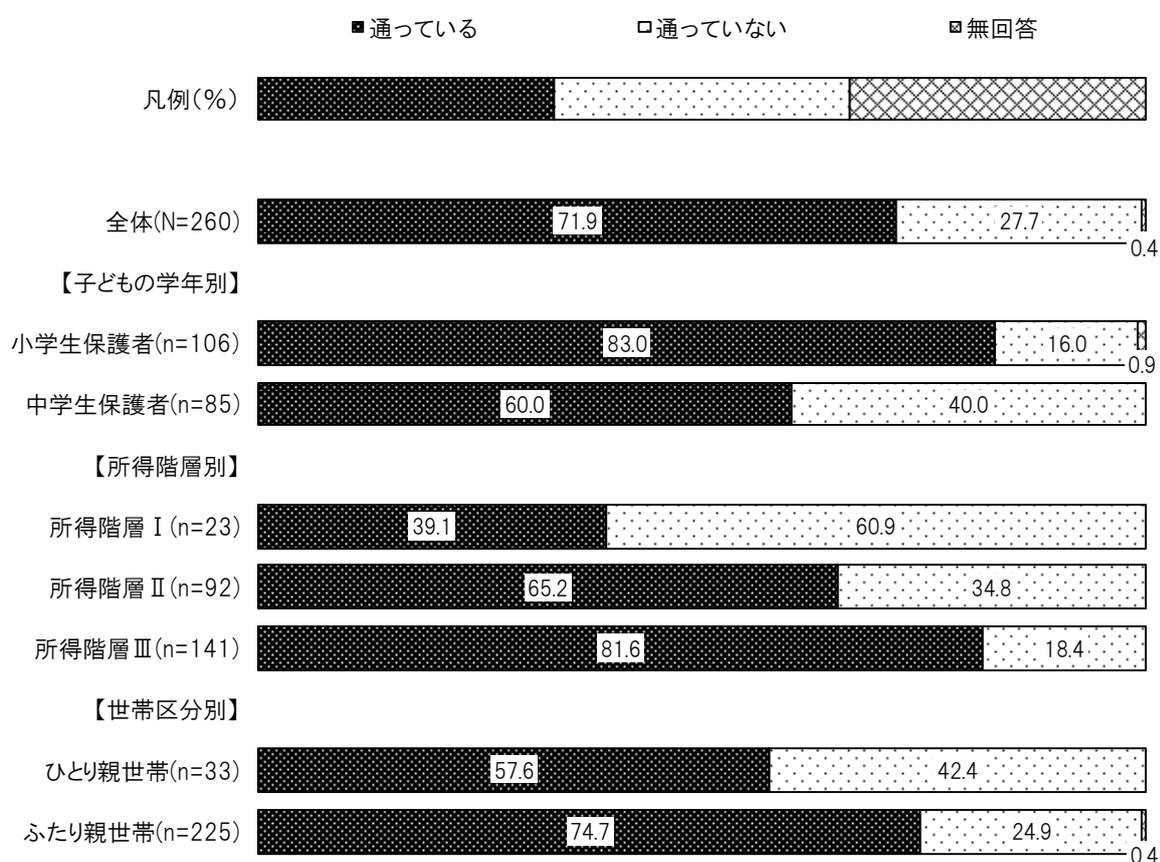
問 14 お子さんは、現在、塾や習いごとに通っていますか。（回答は1つ）

塾や習いごとの状況については、「通っている」が71.9%、「通っていない」が27.7%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は「通っている」の割合が中学生保護者を大きく上回っている。

所得階層別では、所得階層が高いほど「通っている」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「通っていない」の割合が高くなっている。

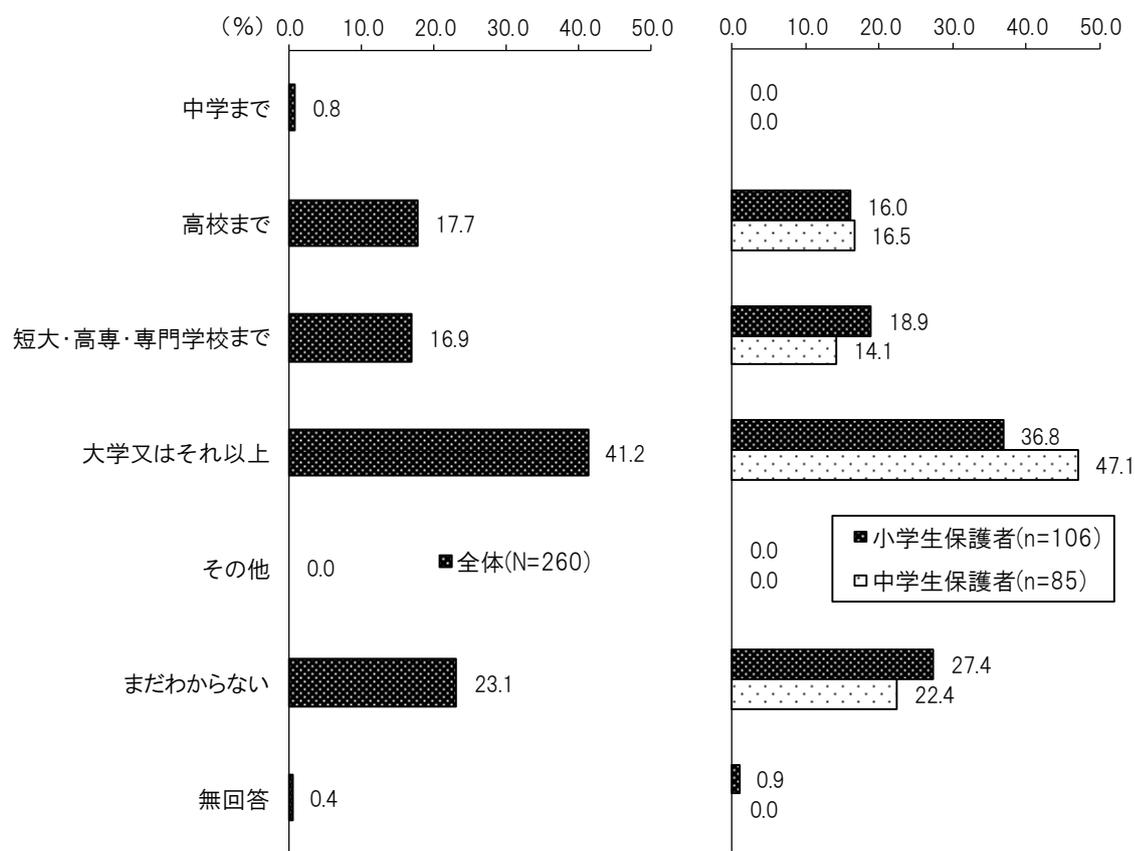


13 子どもの進学先

問 15 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。
 (回答は1つ)

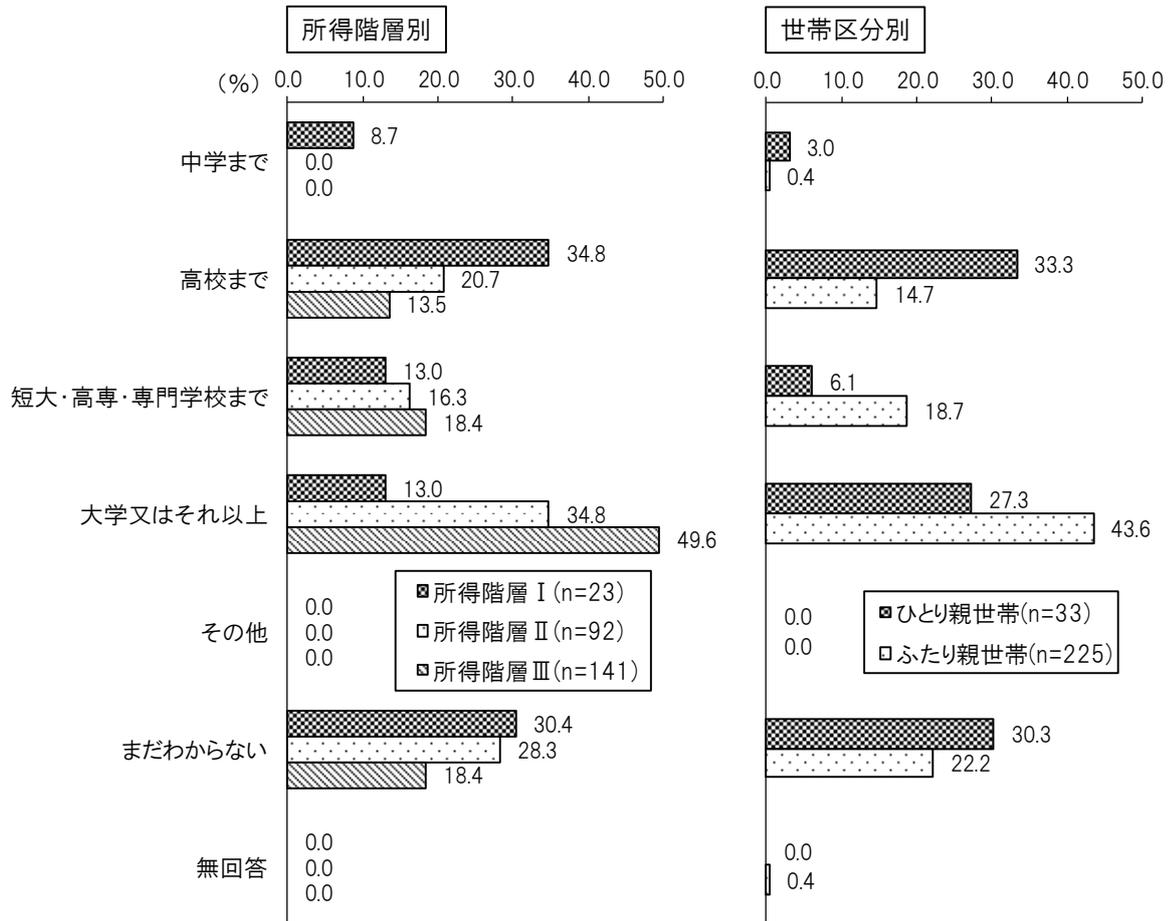
子どもの進学先については、「大学又はそれ以上」の割合が41.2%と最も高く、次いで「高校まで」(17.7%)、「短大・高専・専門学校まで」(16.9%)の順となっており、「まだわからない」は23.1%となっている。

子どもの学年別では、中学生保護者は小学生保護者に比べて「大学又はそれ以上」の割合が高くなっている。

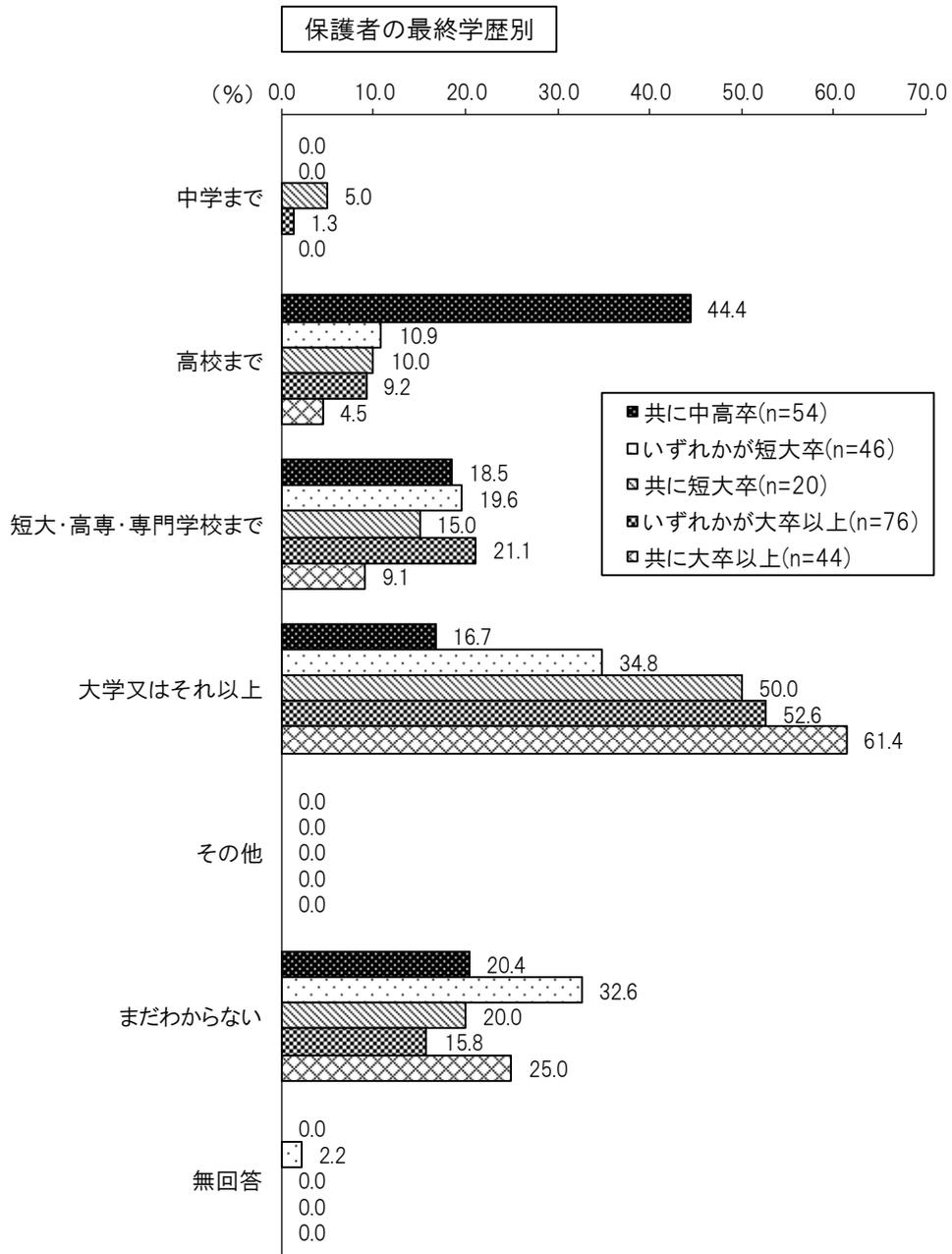


所得階層別では、所得階層Ⅰで「中学まで」「高校まで」の割合が他の階層に比べて高く、所得階層が高いほど「大学又はそれ以上」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「高校まで」「まだわからない」の割合が高く、ふたり親世帯で「短大・高専・専門学校まで」「大学又はそれ以上」の割合が高くなっている。



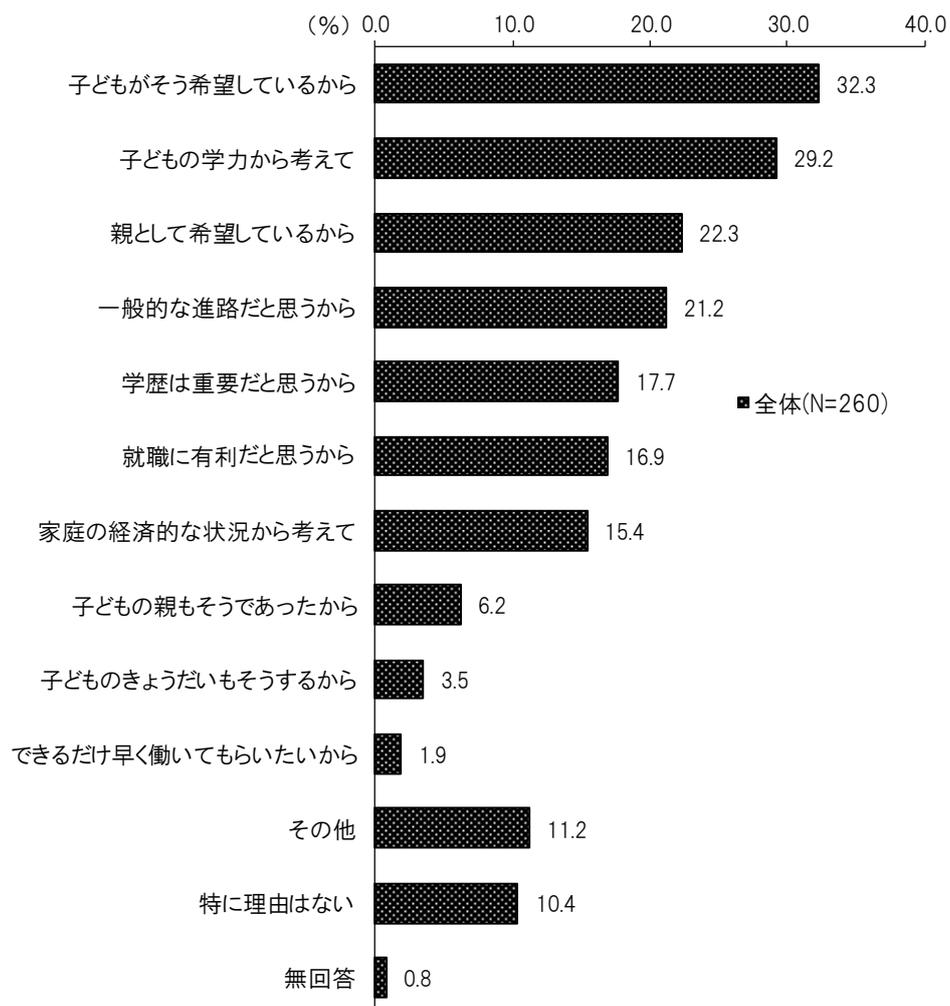
保護者の最終学歴別（保護者票問 10）では、共に中高卒で「高校まで」、共に大卒以上で「大学又はそれ以上」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



14 進学先を選んだ理由

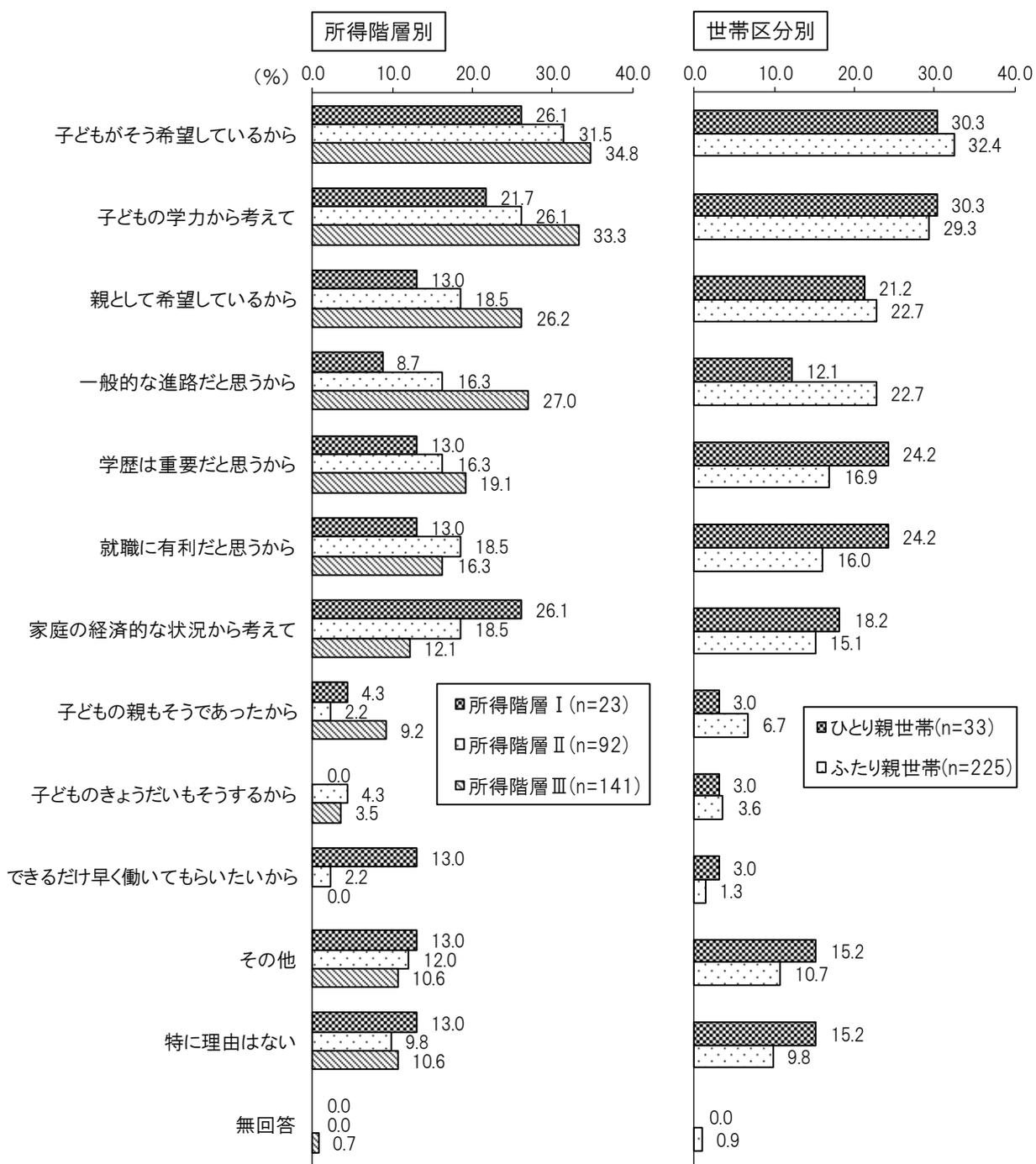
問 16 前問でその回答を選んだ理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

進学先を選んだ理由については、「子どもがそう希望しているから」の割合が32.3%と最も高く、次いで「子どもの学力から考えて」（29.2%）、「親として希望しているから」（22.3%）、「一般的な進路だと思うから」（21.2%）、「学歴は重要だと思うから」（17.7%）の順となっている。



所得階層別では、所得階層が高いほど「子どもの学力から考えて」「親として希望しているから」「一般的な進路だと思うから」などの割合が高く、所得階層Ⅰで「家庭の経済的な状況から考えて」「できるだけ早く働いてもらいたいから」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「学歴は重要だと思うから」「就職に有利だと思うから」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「一般的な進路だと思うから」の割合が高くなっている。

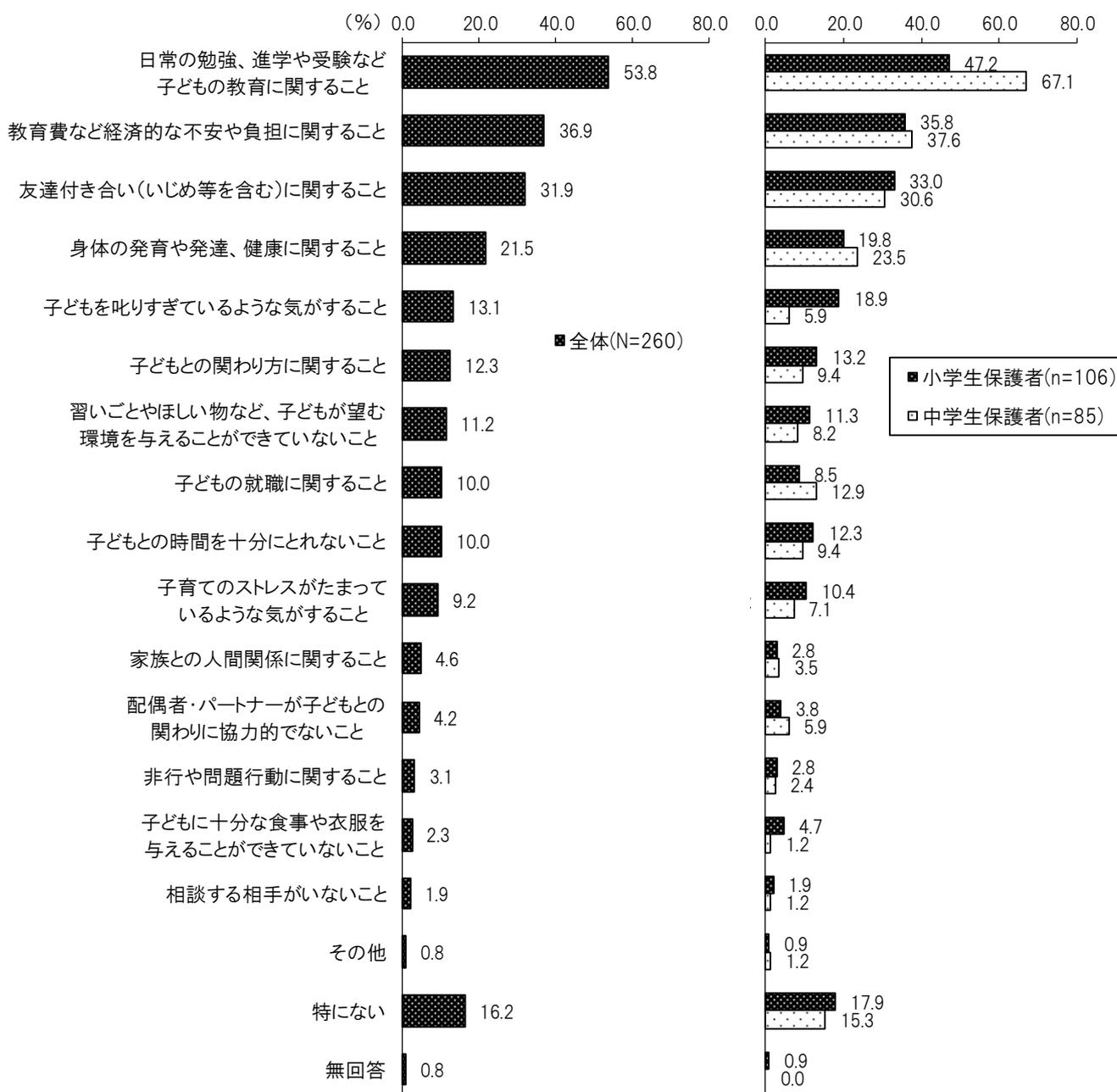


15 子どものことで悩んでいること

問 17 お子さんのことに関して、悩んでいること、又は気になることはどのようなことですか。（回答はあてはまるもの全て）

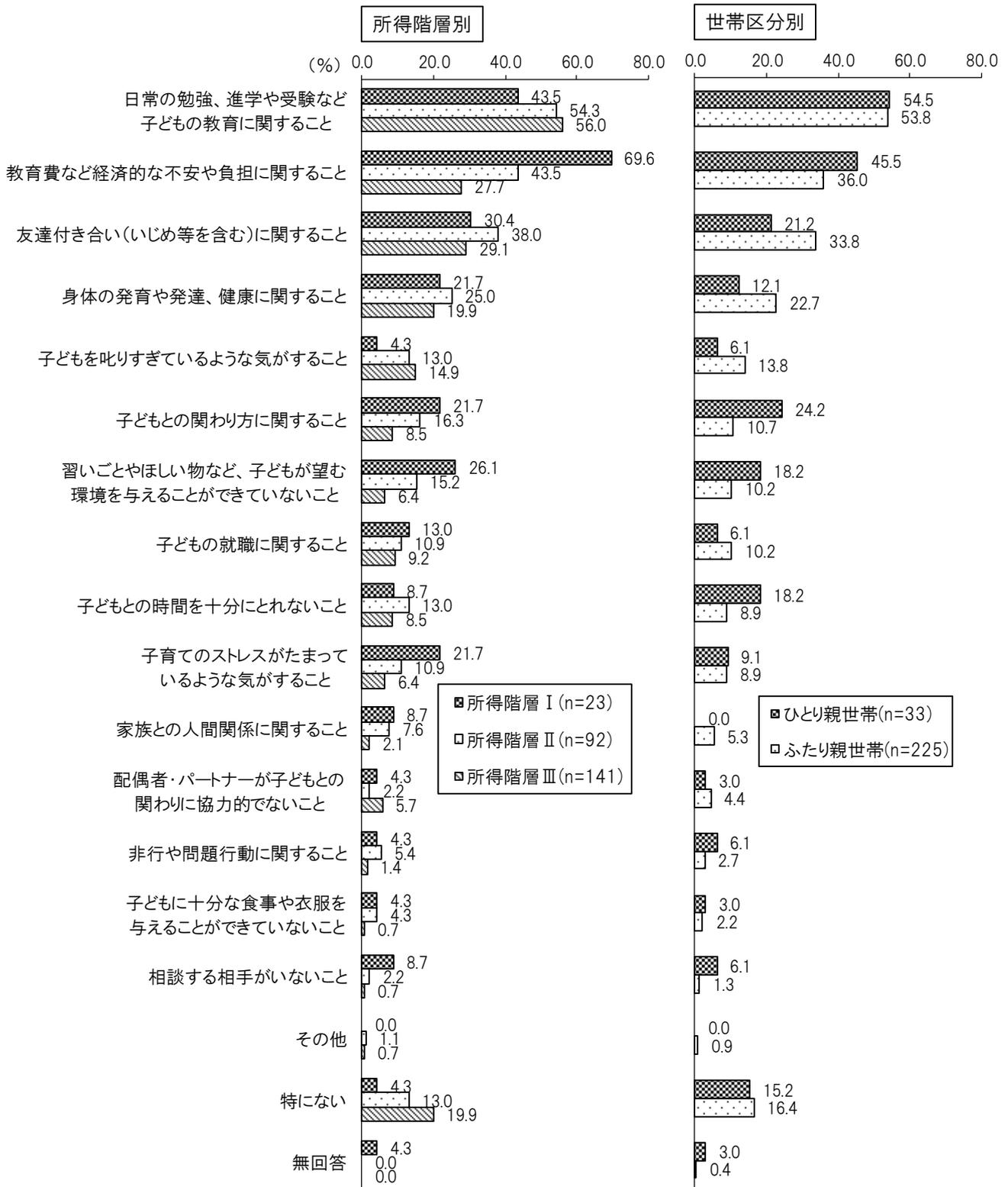
子どものことで悩んでいることについては、「日常の勉強、進学や受験など子どもの教育に関すること」の割合が53.8%と最も高く、次いで「教育費など経済的な不安や負担に関すること」（36.9%）、「友達付き合い（いじめ等を含む）に関すること」（31.9%）の順となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は中学生保護者に比べて「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が高く、中学生保護者は「日常の勉強、進学や受験など子どもの教育に関すること」の割合が小学生保護者を大きく上回っている。



所得階層別では、所得階層Ⅰで「教育費など経済的な不安や負担に関すること」「習いごとやほしい物など、子どもが望む環境を与えることができていないこと」「子育てのストレスがたまっているような気がする」との割合が他の階層に比べて高くなっている。

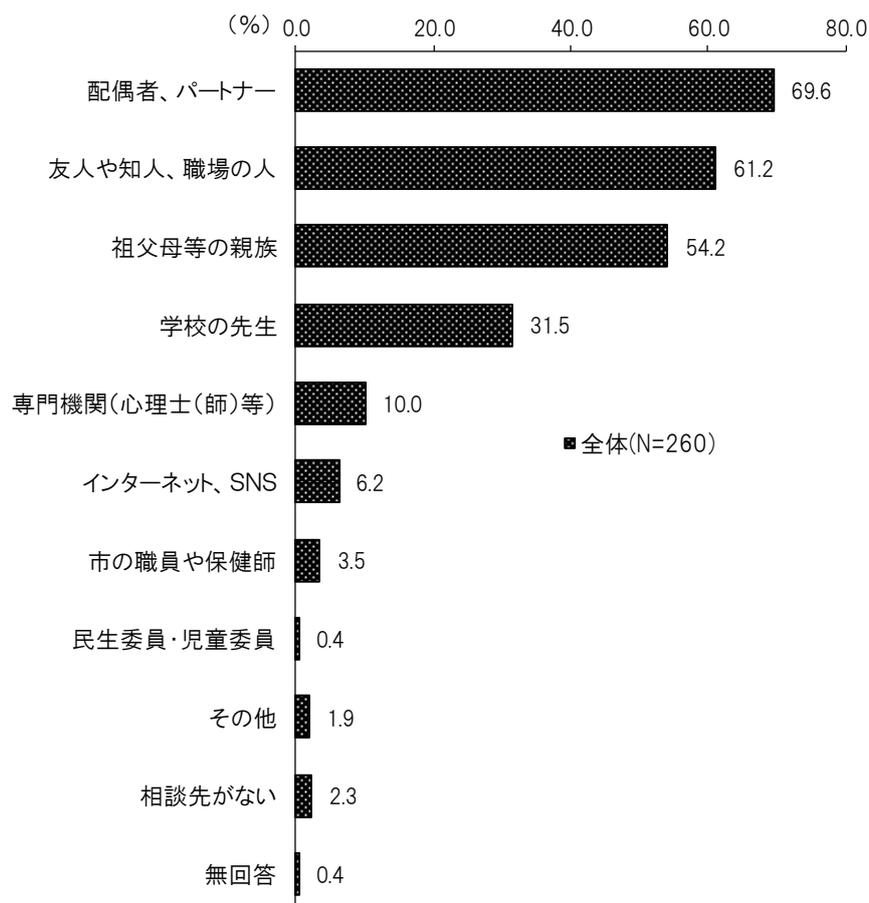
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「子どもとの関わり方に関すること」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「友達付き合い（いじめ等を含む）」に関する割合が高くなっている。



16 子育てに関する相談先

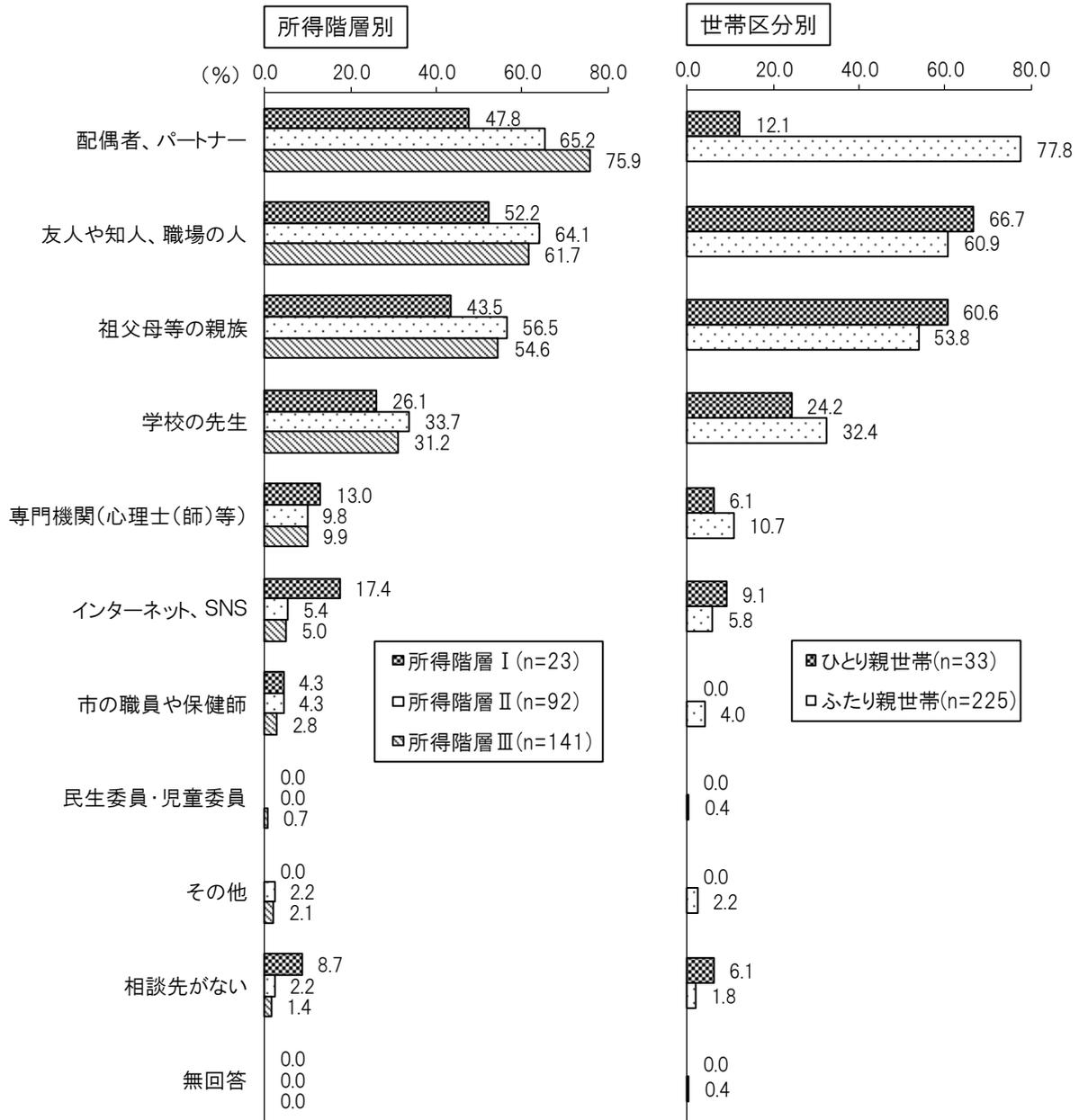
問 18 お子さんの子育てに関する相談先はどこですか。（回答はあてはまるもの全て）

子育てに関する相談先については、「配偶者、パートナー」の割合が69.6%と最も高く、次いで「友人や知人、職場の人」（61.2%）、「祖父母等の親族」（54.2%）、「学校の先生」（31.5%）、「専門機関（心理士（師）等）」（10.0%）の順となっている。



所得階層別では、所得階層が高いほど「配偶者、パートナー」の割合が高く、所得階層 I で「インターネット、SNS」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

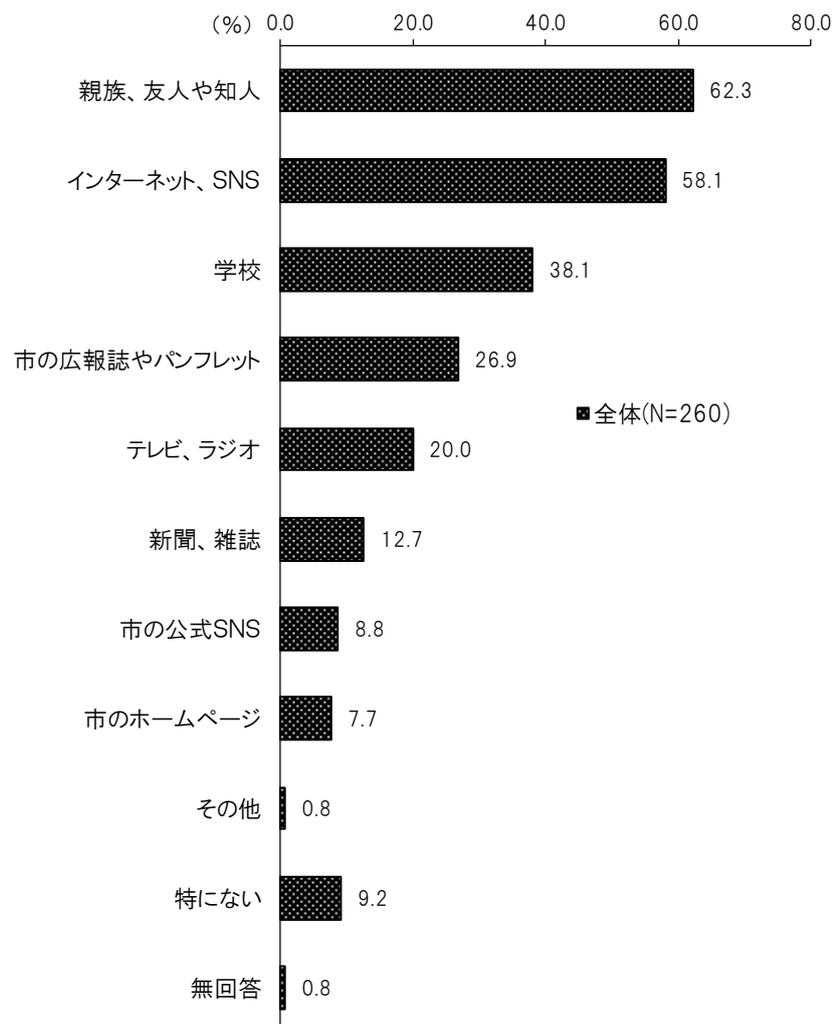
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「友人や知人、職場の人」「祖父母等の親族」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「配偶者、パートナー」「学校の先生」の割合が高くなっている。



17 子育てに関する情報の入手先

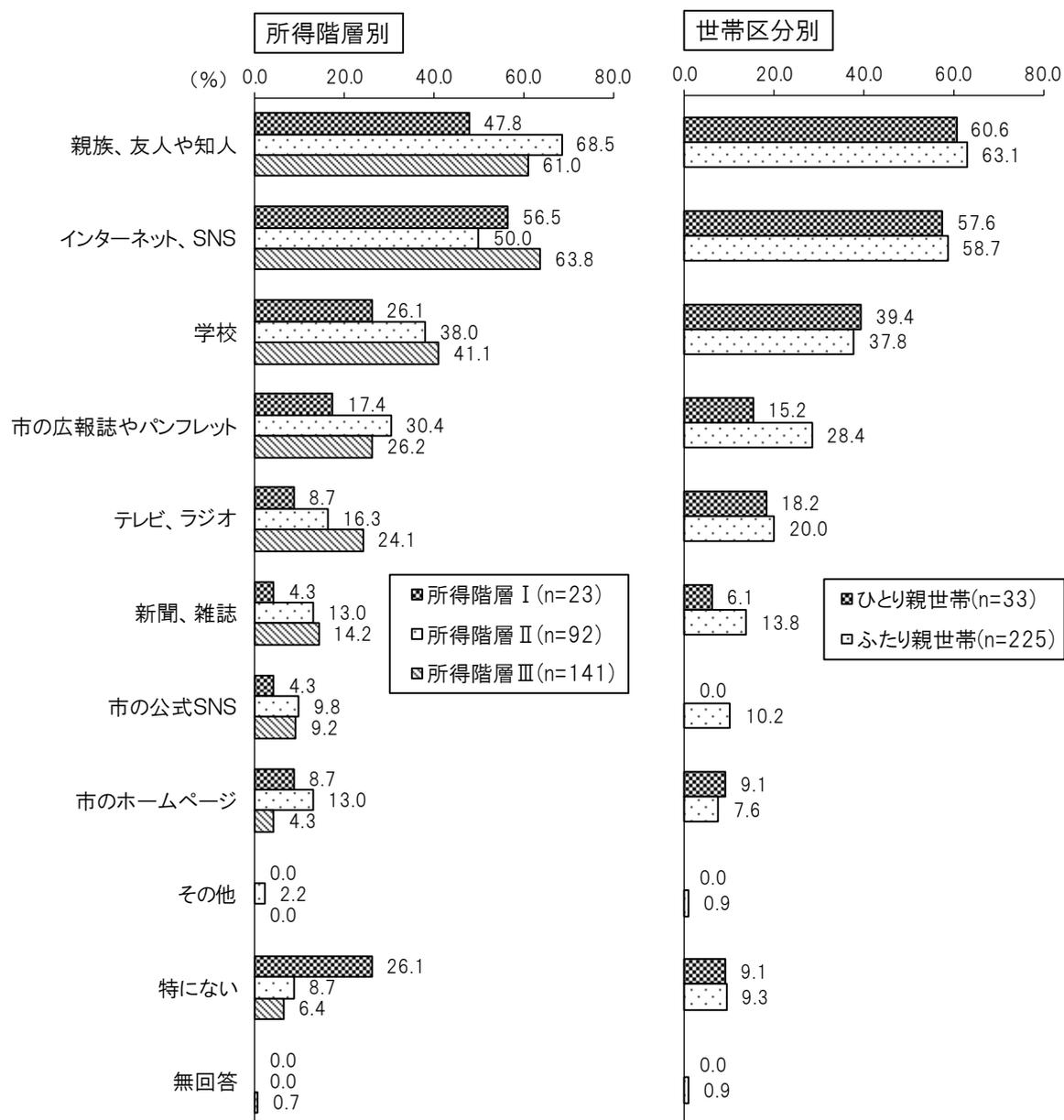
問 19 子育てに関する情報をどのように入手していますか。
(回答はあてはまるもの全て)

子育てに関する情報の入手先については、「親族、友人や知人」の割合が62.3%と最も高く、次いで「インターネット、SNS」(58.1%)、「学校」(38.1%)、「市の広報誌やパンフレット」(26.9%)、「テレビ、ラジオ」(20.0%)の順となっている。



所得階層別では、所得階層ⅡやⅢで「親族、友人や知人」「学校」「市の広報誌やパンフレット」などの割合が高く、所得階層Ⅰで「特にない」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「市の広報誌やパンフレット」「新聞、雑誌」「市の公式SNS」の割合が高くなっている。



18 現在の生活の経済的なゆとり

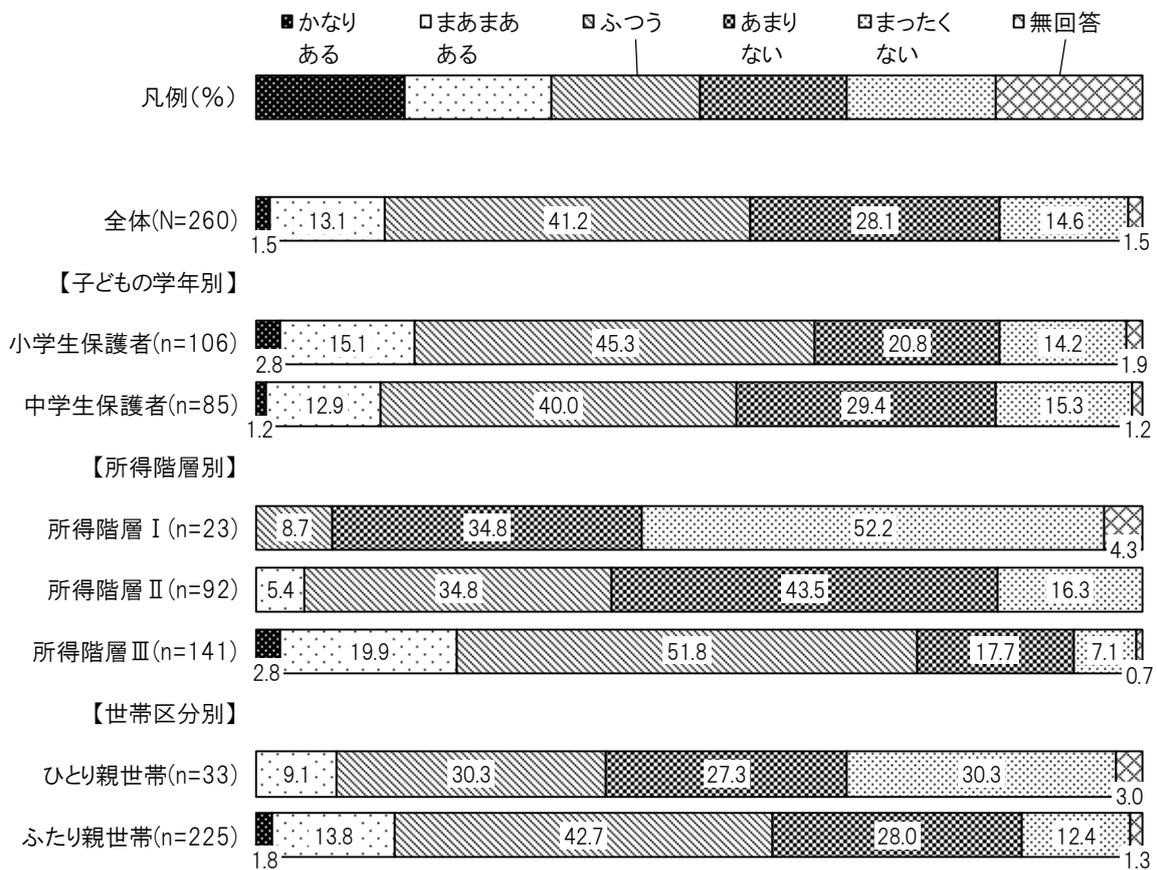
問 20 あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。（回答は1つ）

現在の生活の経済的なゆとりについては、「ふつう」が41.2%となっており、『ゆとりがある』（「かなりある」「まあまあある」の合計）は14.6%、『ゆとりがない』（「まったくない」「あまりない」の合計）は42.7%となっている。

子どもの学年別では、中学生保護者は小学生保護者に比べて「あまりない」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで『ゆとりがない（合計）』の割合が他の階層を大きく上回っている。

世帯区分別では、ひとり親世帯の約6割（57.6%）が『ゆとりがない（合計）』と回答している。



19 子どもの頃の経済的なゆとり

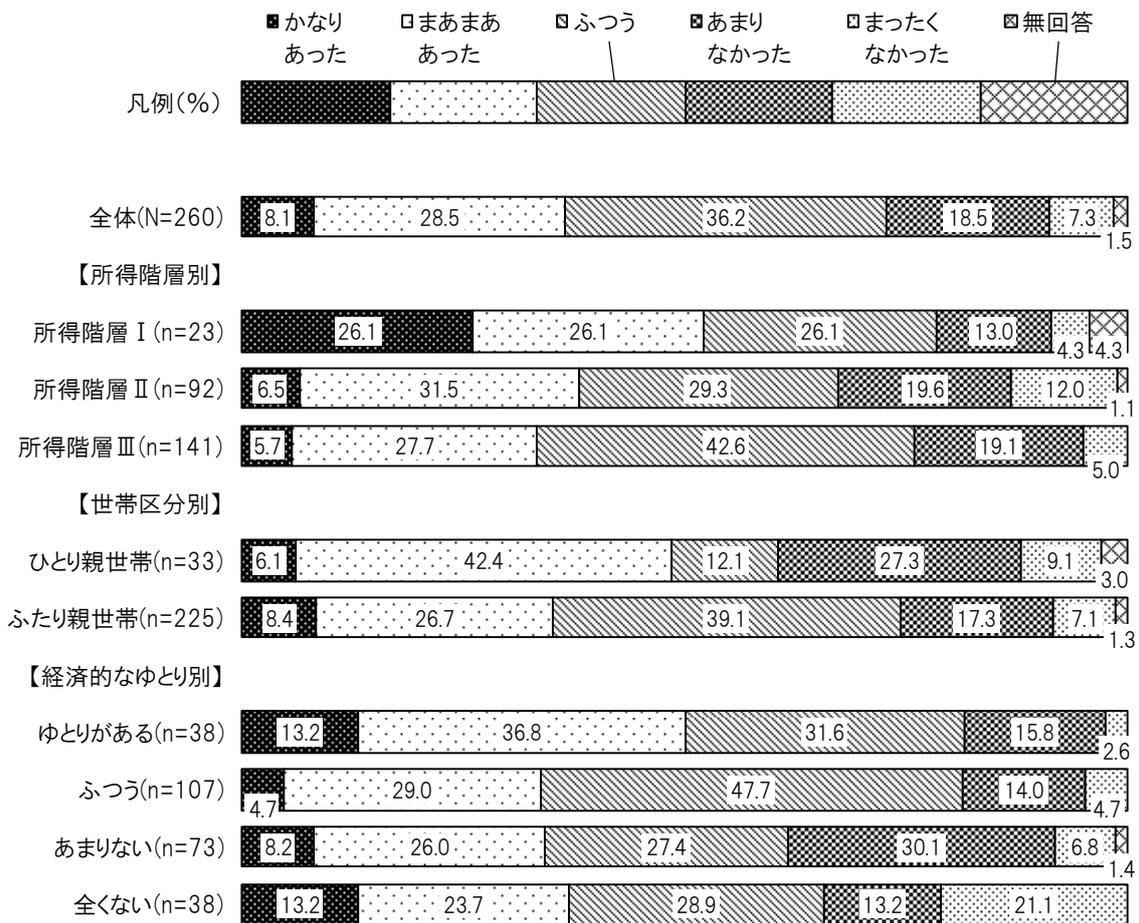
問 21 あなたが子どもの頃、生活に経済的なゆとりがありましたか。（回答は1つ）

子どもの頃の経済的なゆとりについては、「ふつう」が36.2%となっており、『ゆとりがあった』（「かなりあった」「まあまああった」の合計）は36.6%、『ゆとりがなかった』（「まったくなかった」「あまりなかった」の合計）は25.8%となっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで『ゆとりがあった（合計）』の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて『ゆとりがあった（合計）』『ゆとりがなかった（合計）』の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「ふつう」の割合が高くなっている。

経済的なゆとり別（保護者票問 20）では、ゆとりがある層で『ゆとりがあった（合計）』、ゆとりがない層で『ゆとりがなかった（合計）』の割合がそれぞれ高くなっている。

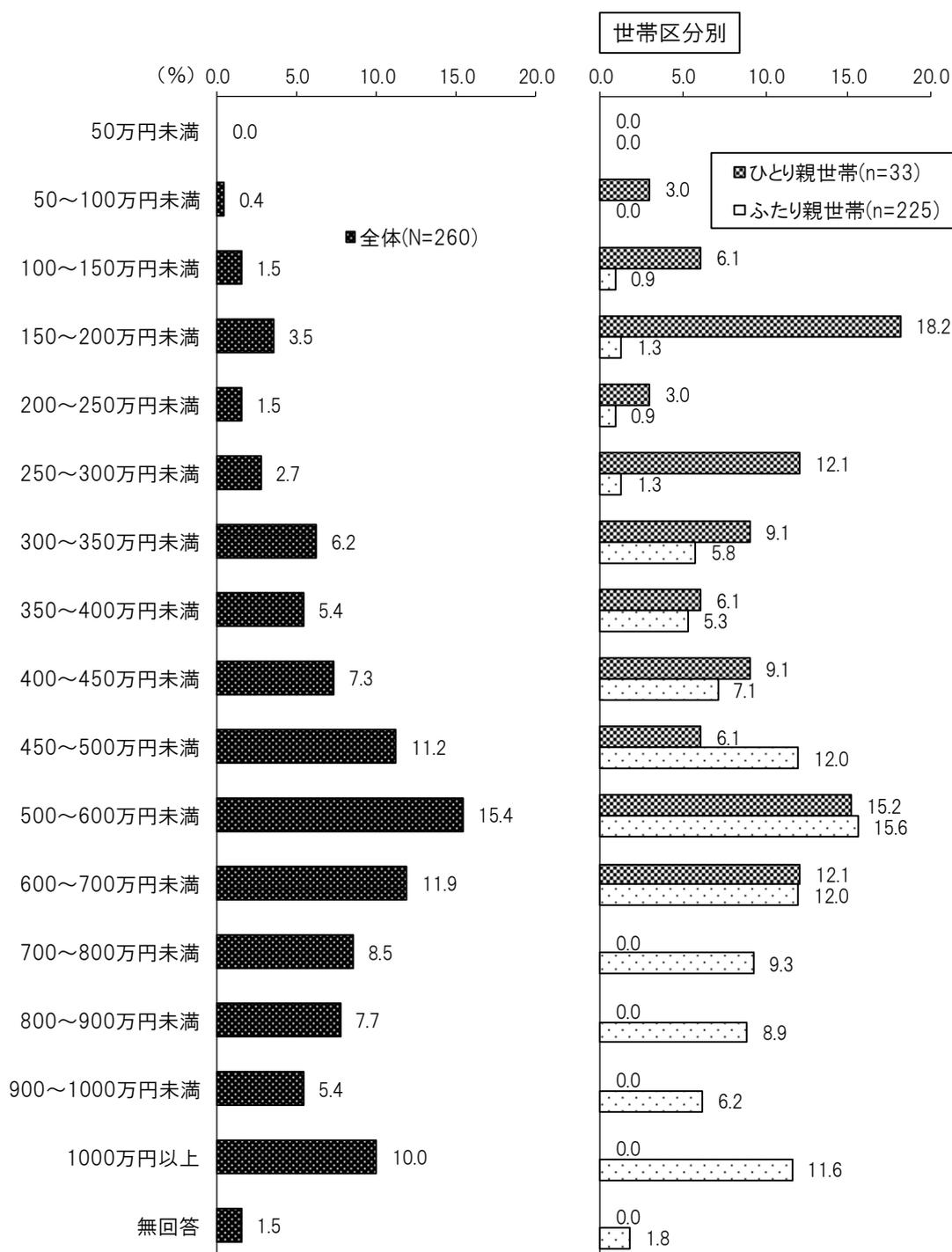


20 世帯全体の年間収入

問 22 あなたの世帯全体のおおよその年間収入（税込み）はいくらですか。
（回答は1つ）

世帯全体の年間収入については、「500～600万円未満」の割合が15.4%と最も高く、次いで「600～700万円未満」（11.9%）、「450～500万円未満」（11.2%）、「1000万円以上」（10.0%）の順となっている。

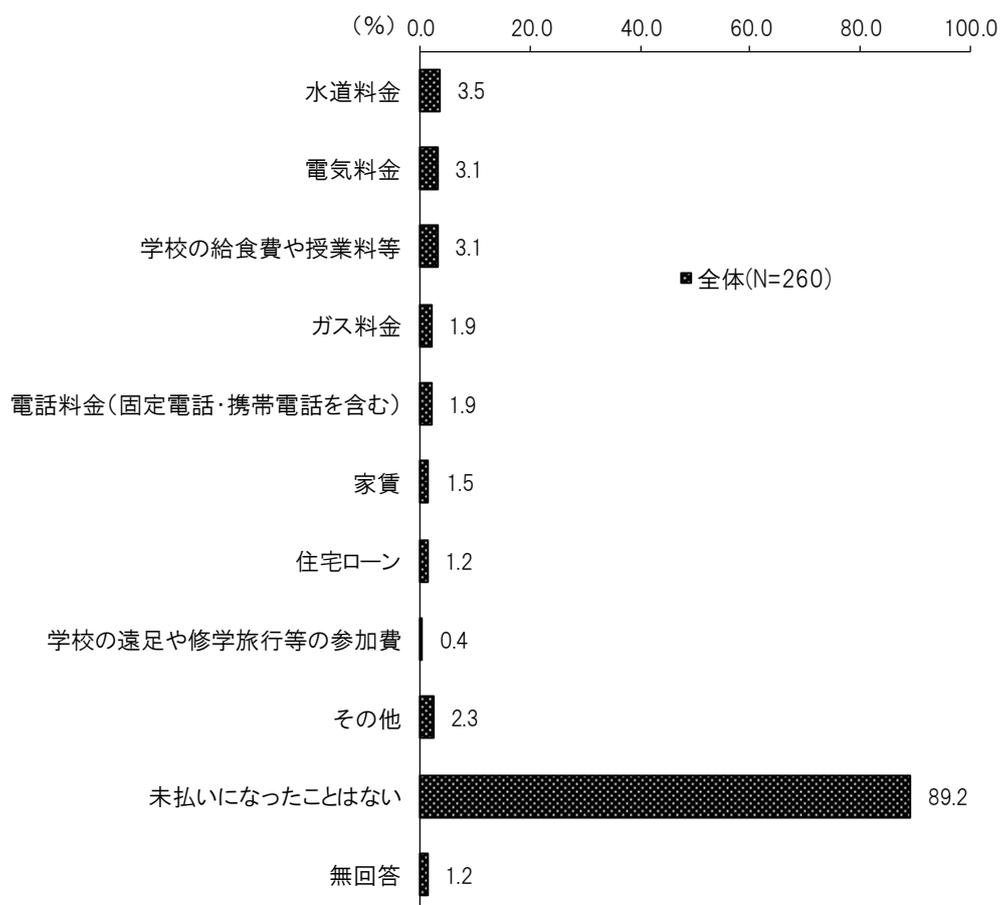
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「150～200万円未満」「250～300万円未満」の割合が高くなっている。



21 経済的な理由で未払いになった経験

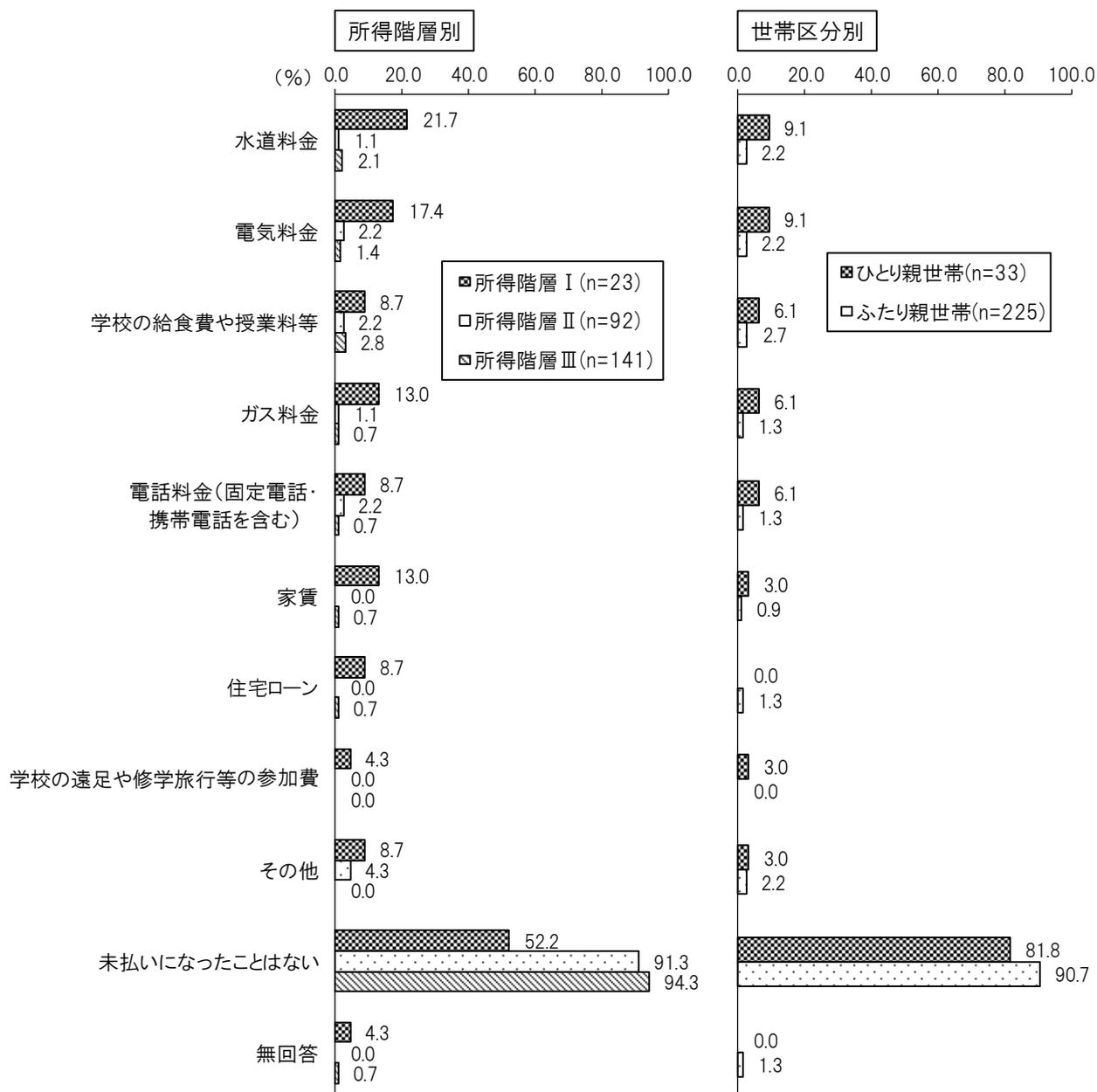
問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について経済的な理由で未払いになったことがありますか。（回答はあてはまるもの全て）

経済的な理由で未払いになった経験については、大半（89.2%）が「未払いになったことはない」と回答しているが、未払いになった割合が高い順に「水道料金」「電気料金」「学校の給食費や授業料等」となっている。



所得階層別では、所得階層 I で割合の高い項目が多くみられる。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて、割合の高い項目が多くみられる。



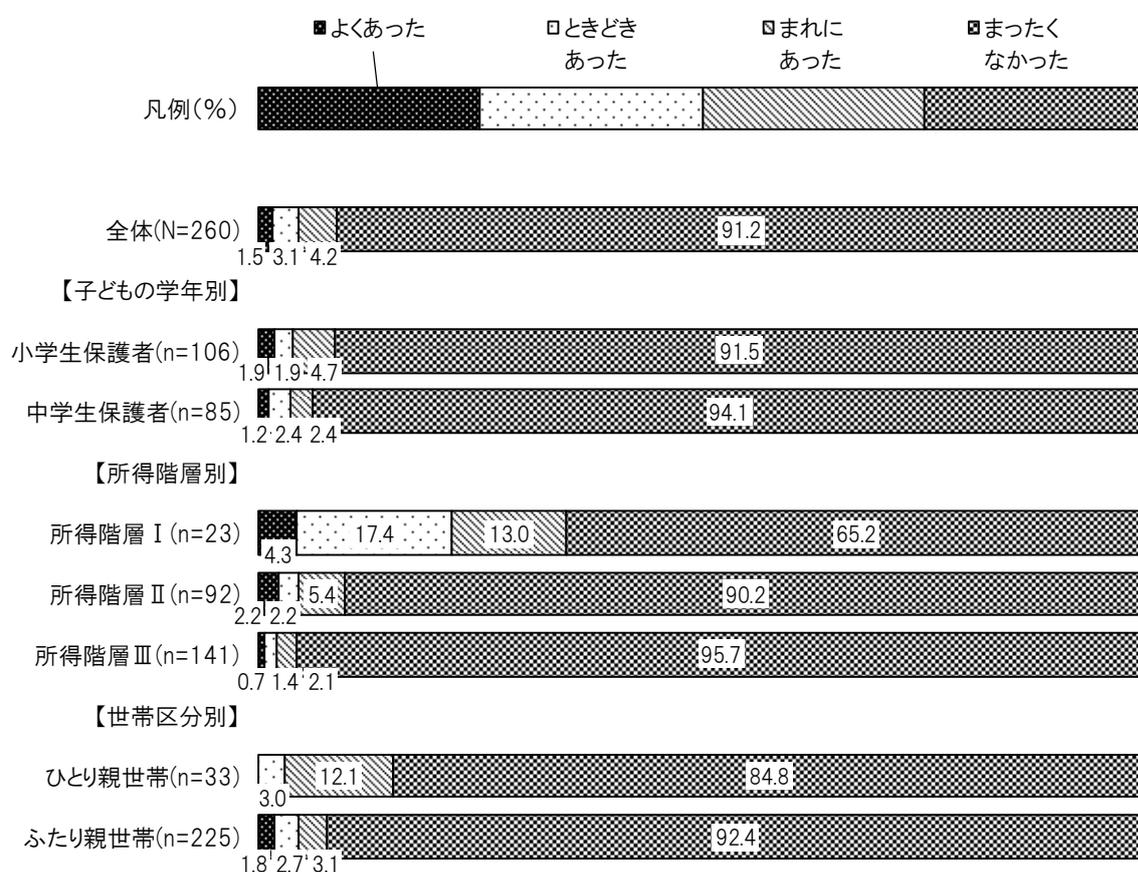
22 病院にかかれなかった経験

問 24 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りず家族が病気（むし歯の治療を含む）やけがをしたときに病院にかかれなかったことがありましたか。
 （回答は1つ）

病院にかかれなかった経験については、大半（91.2%）が「まったくなかった」と回答しており、『あった』（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計）の割合は1割未満（8.8%）となっている。

子どもの学年別では大きな差はみられないが、所得階層別では所得階層Ⅰで『あった（合計）』の割合が他の階層を大きく上回っている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「まれにあった」の割合が高くなっている。



23 孤立感

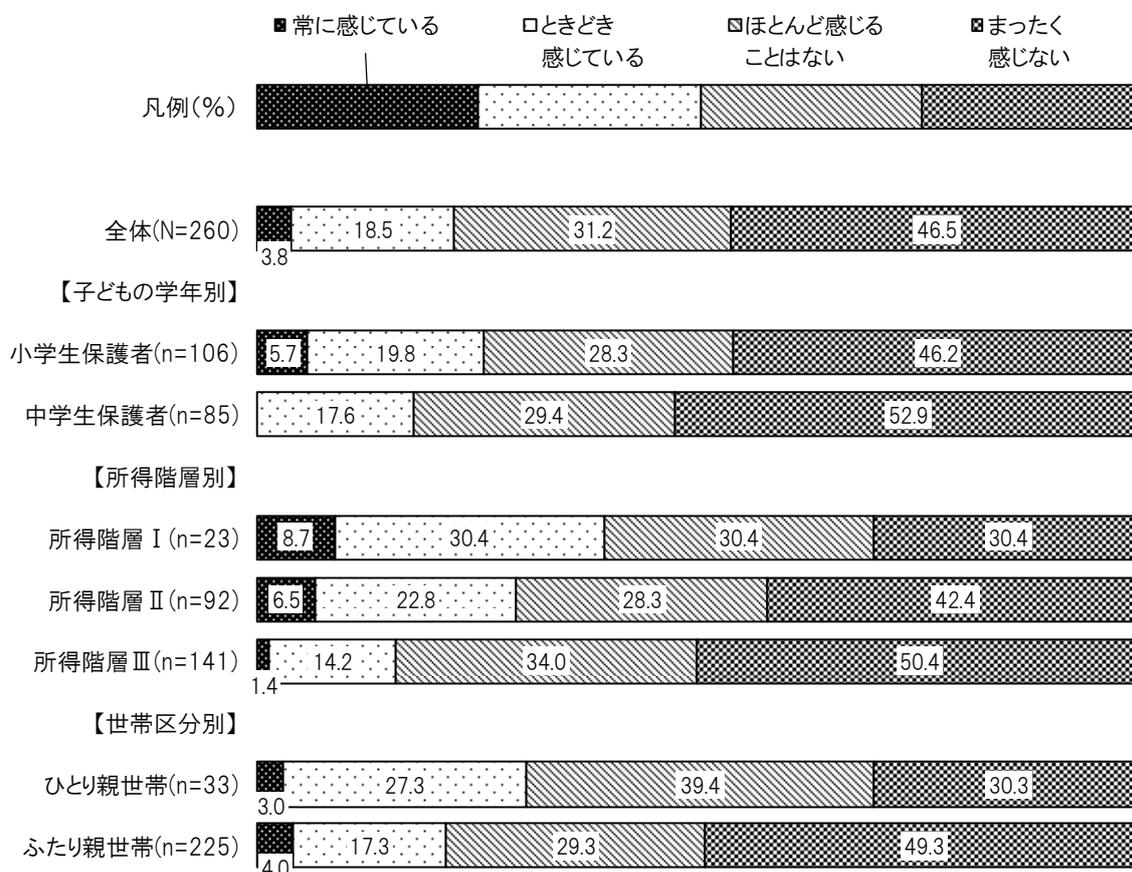
問 25 あなたは「自分は孤立している」と感じることはありませんか。（回答は1つ）

孤立感については、『感じている』（「常に感じている」「ときどき感じている」の合計）の割合は22.3%、『感じない』（「まったく感じない」「ほとんど感じることはない」の合計）の割合は77.7%となっている。

子どもの学年別では、小学生保護者は中学生保護者に比べて『感じている（合計）』の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層が低いほど『感じている（合計）』の割合が高くなっている。

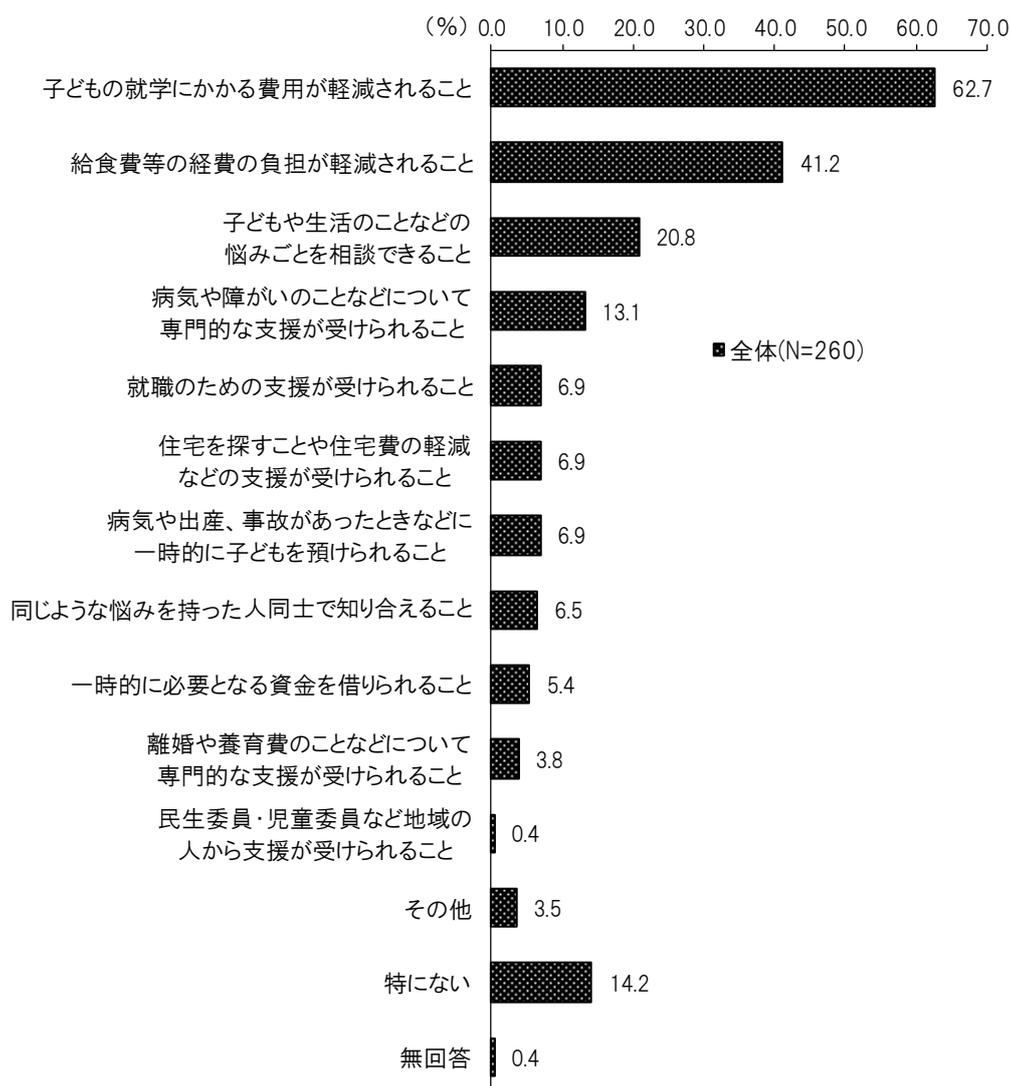
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「ときどき感じている」の割合が高くなっている。



24 必要としている支援

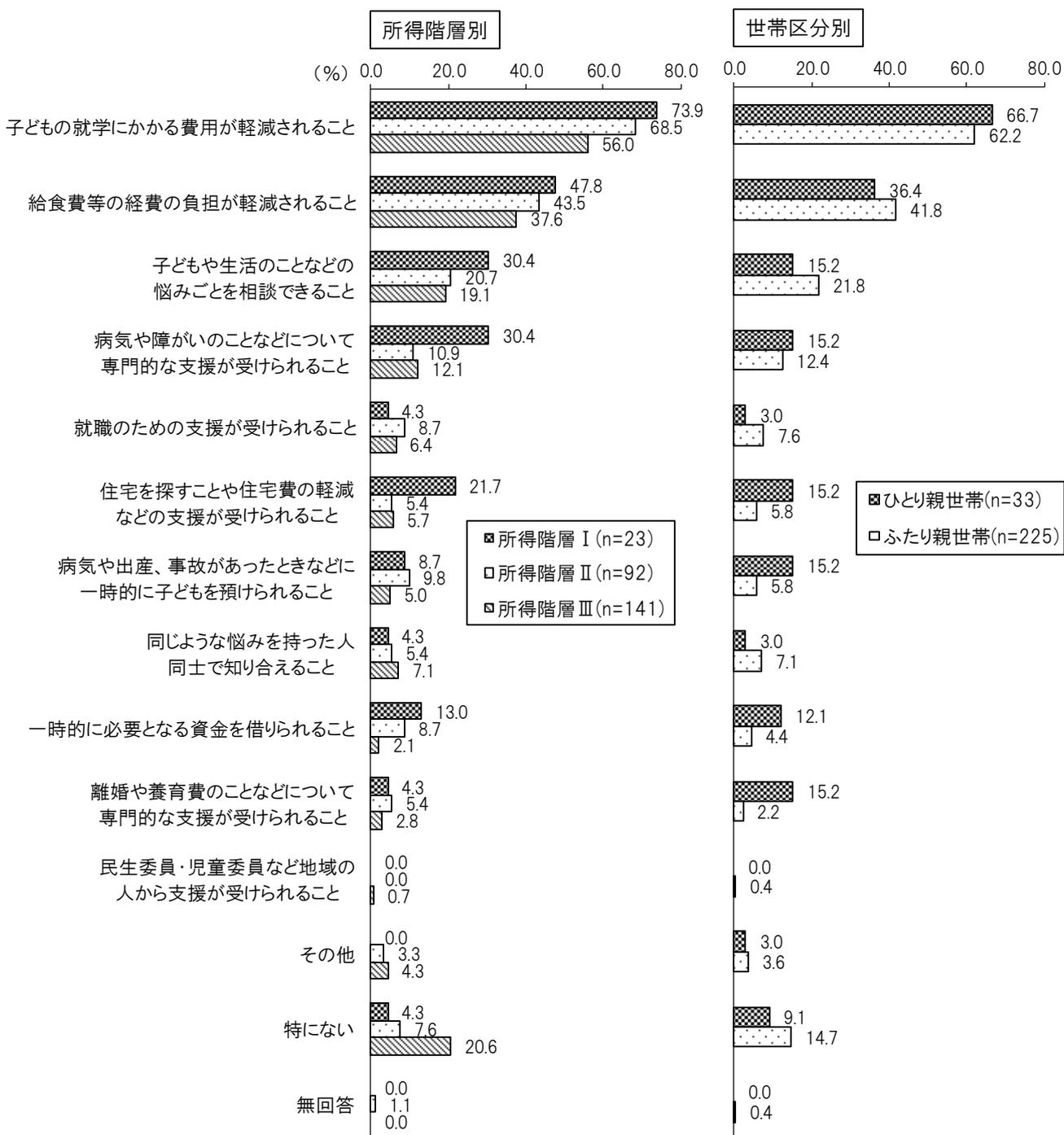
問 26 あなたの世帯にとって現在必要としている、又は重要だと思うのはどのような支援ですか。（回答は3つまで）

必要としている支援については、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「給食費等の経費の負担が軽減されること」（41.2%）、「子どもや生活のことなどの悩みごとを相談できること」（20.8%）、「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」（13.1%）の順となっている。



所得階層別では、所得階層が低いほど「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」「給食費等の経費の負担が軽減されること」などの割合が高くなっている。また、所得階層Ⅰで「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」「住宅を探すことや住宅費の軽減などの支援が受けられること」などの割合が他の階層に比べて高くなっている。

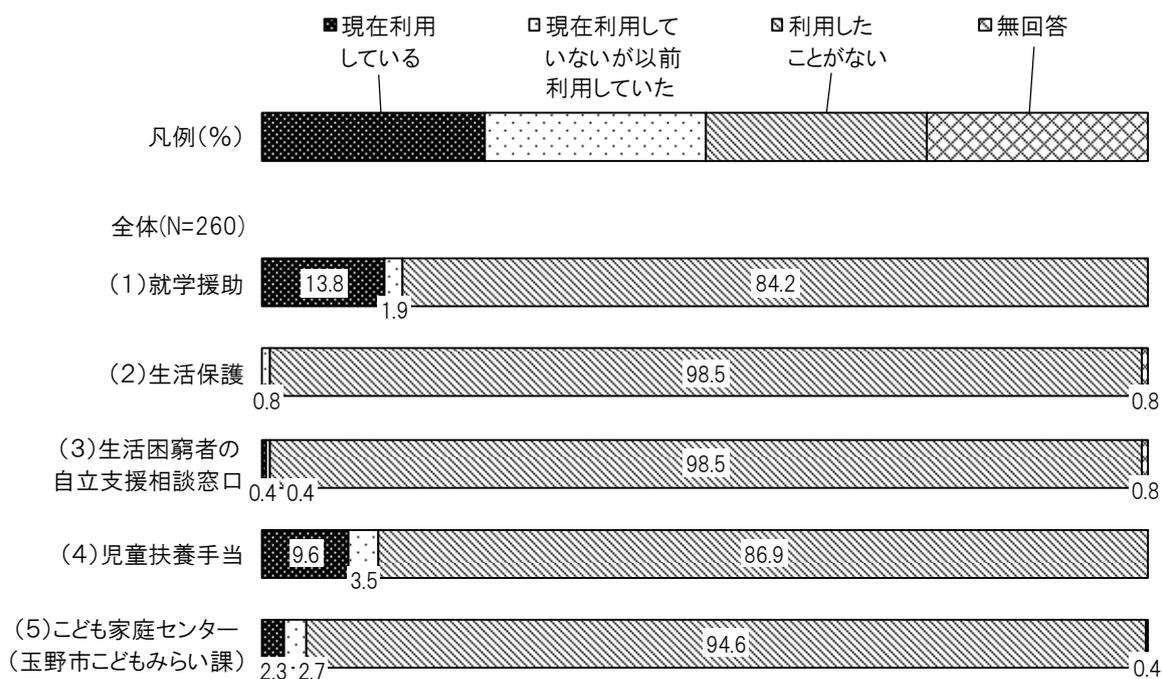
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「住宅を探すことや住宅費の軽減などの支援が受けられること」「病気や出産、事故があったときなどに一時的に子どもを預けられること」などの割合が高くなっている。



25 支援制度や相談窓口の利用状況

問 27 あなたのご家庭では、以下の支援制度や相談窓口をこれまでに利用したことがありますか。（回答は1つずつ）

支援制度や相談窓口の利用状況については、「現在利用している」の割合は「(1) 就学援助」で13.8%、「(4) 児童扶養手当」で9.6%となっている。

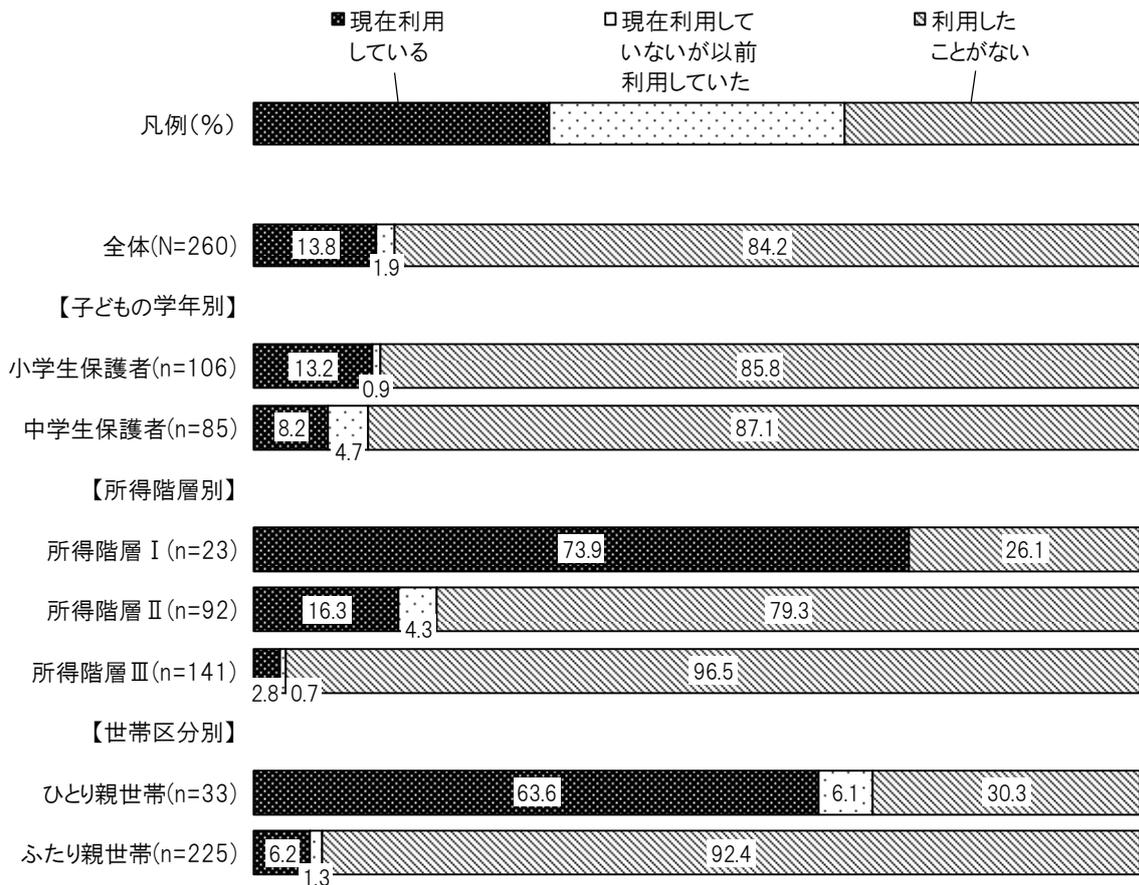


(1) 就学援助

就学援助については、「現在利用している」の割合は13.8%となっている。

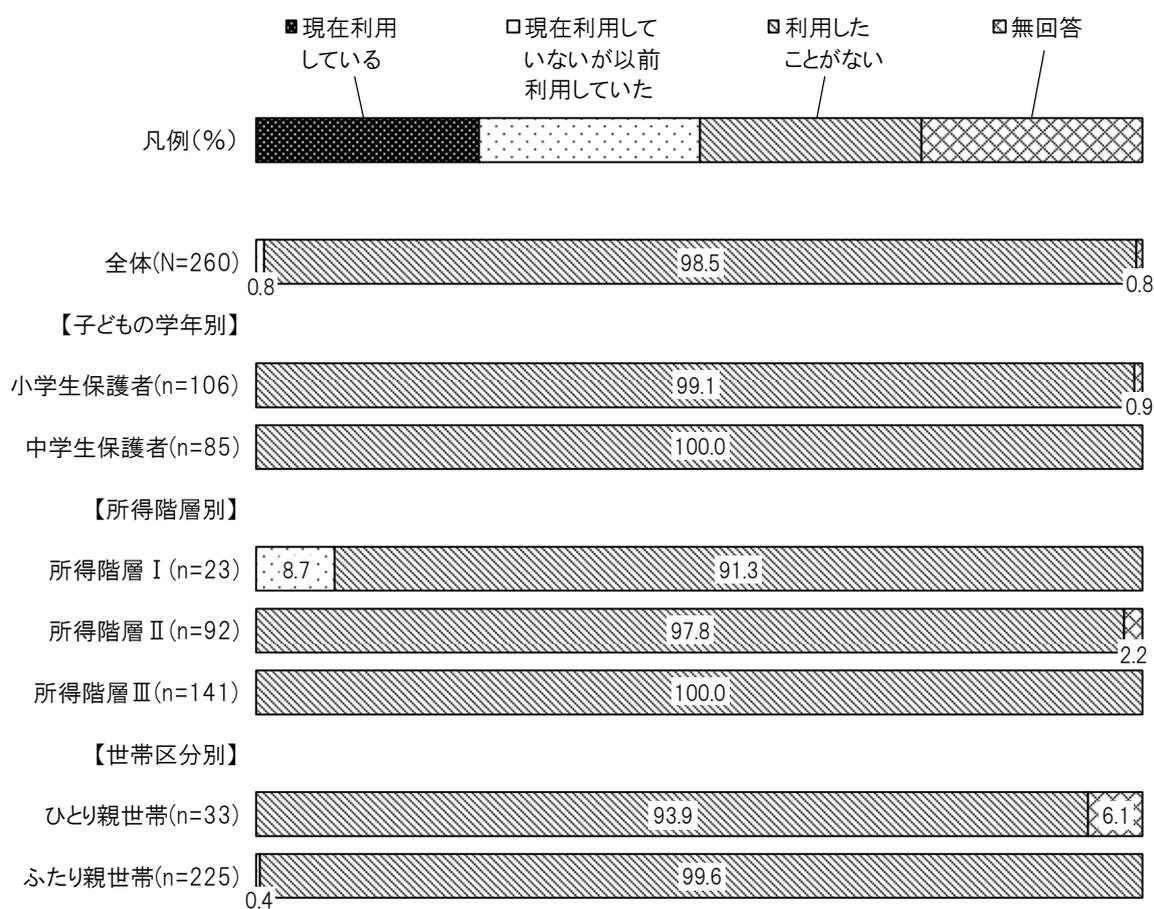
子どもの学年別では、小学生保護者は中学生保護者に比べて「現在利用している」の割合が高くなっている。

所得階層別では所得階層Ⅰで、世帯区分別ではひとり親世帯で「現在利用している」の割合が高くなっている。



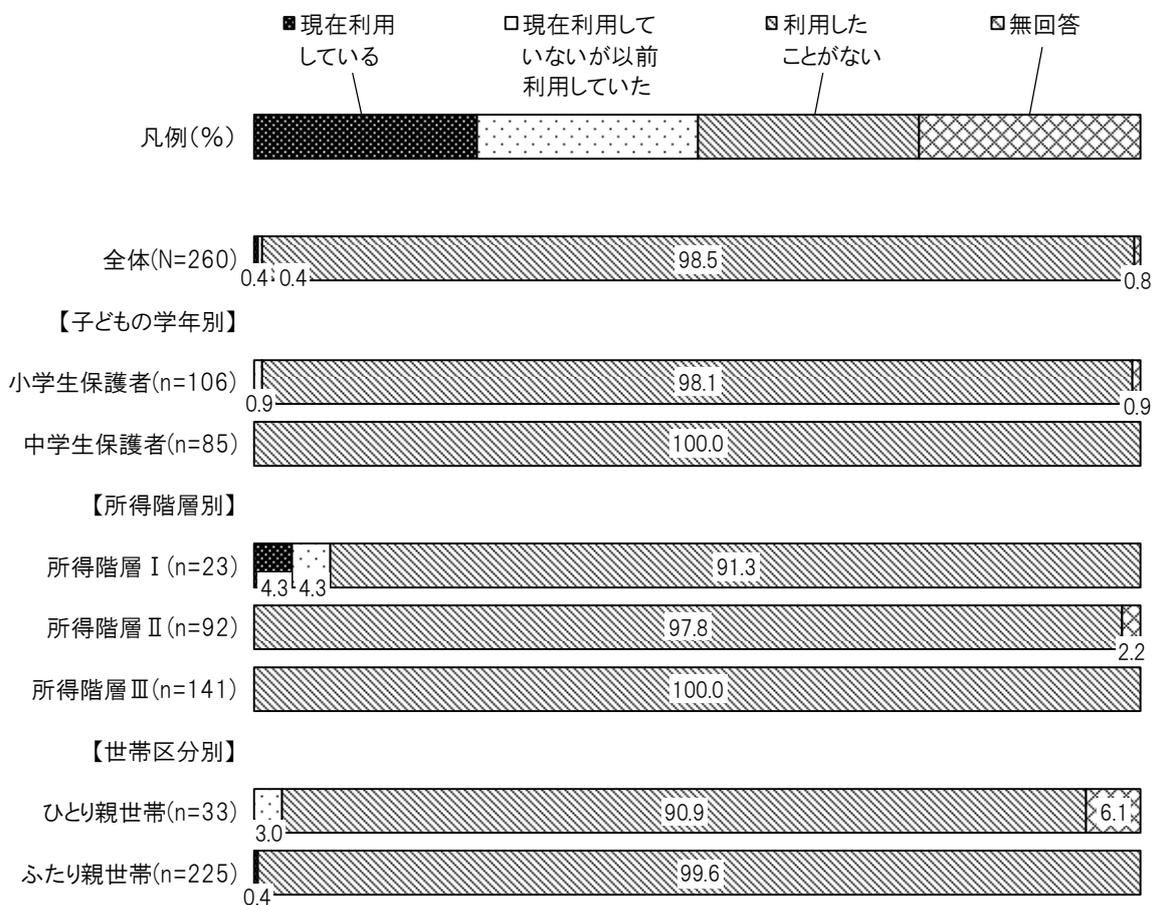
(2) 生活保護

生活保護については、大半（98.5%）が「利用したことがない」と回答している。



(3) 生活困窮者の自立支援相談窓口

生活困窮者の自立支援相談窓口については、大半（98.5%）が「利用したことがない」と回答している。

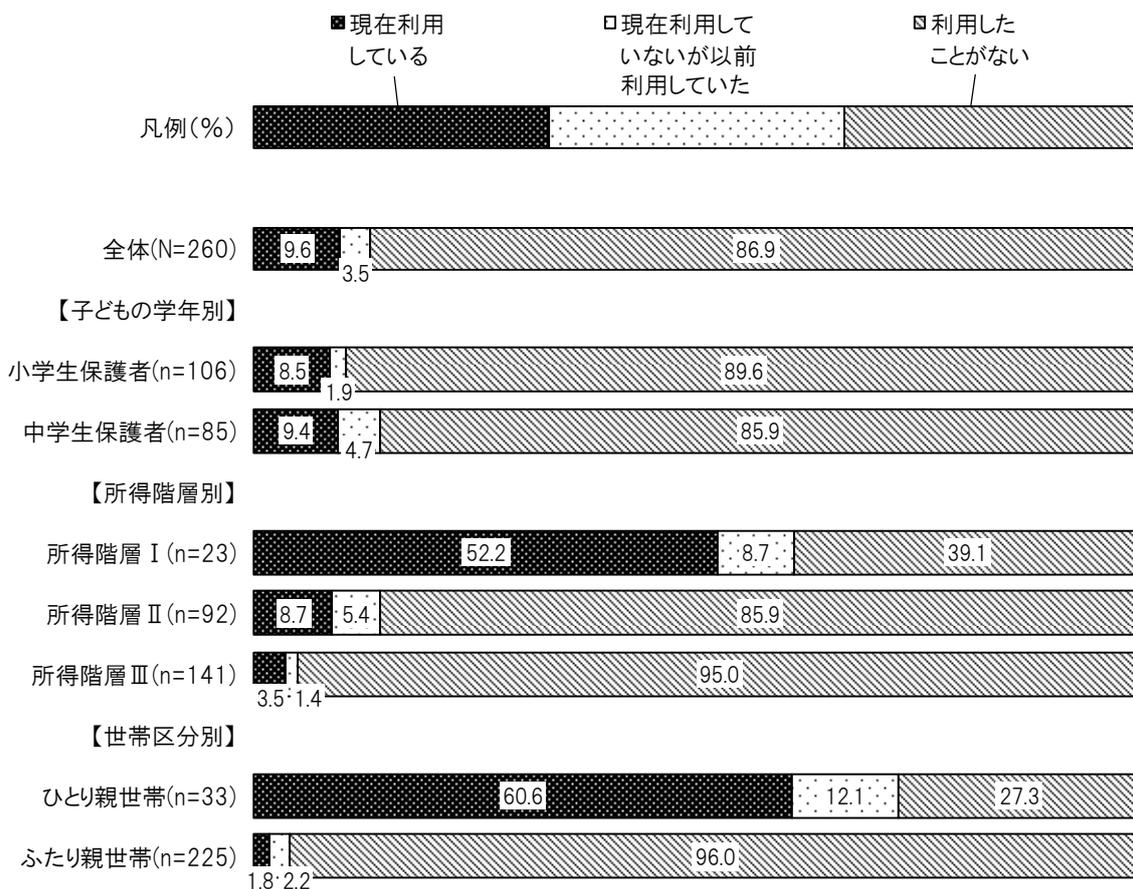


(4) 児童扶養手当

児童扶養手当については、「現在利用している」の割合は9.6%となっている。

子どもの学年別では、大きな差はみられない。

所得階層別では所得階層Ⅰで、世帯区分別ではひとり親世帯で「現在利用している」の割合が高くなっている。

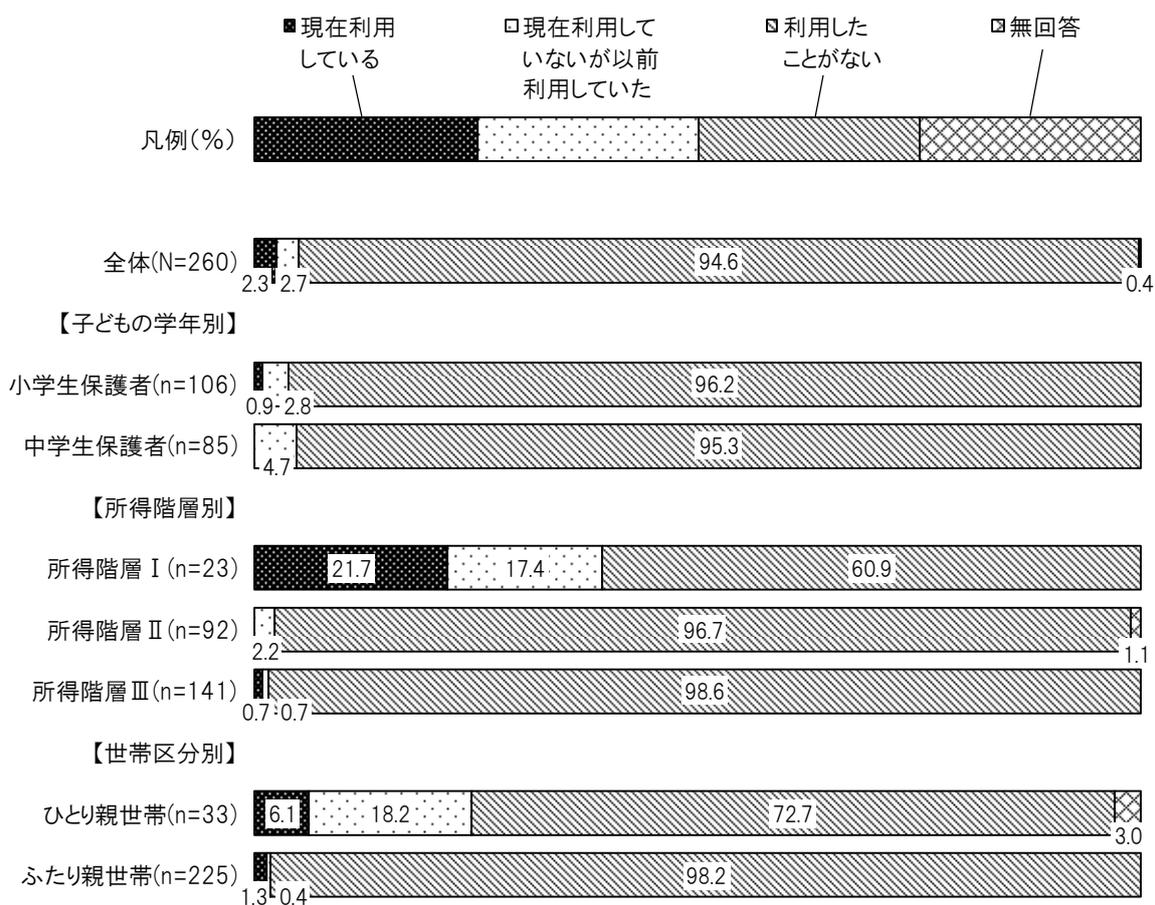


(5) こども家庭センター（玉野市こどもみらい課）

こども家庭センターについては、大半（94.6%）が「利用したことがない」と回答している。

子どもの学年別では、大きな差はみられない。

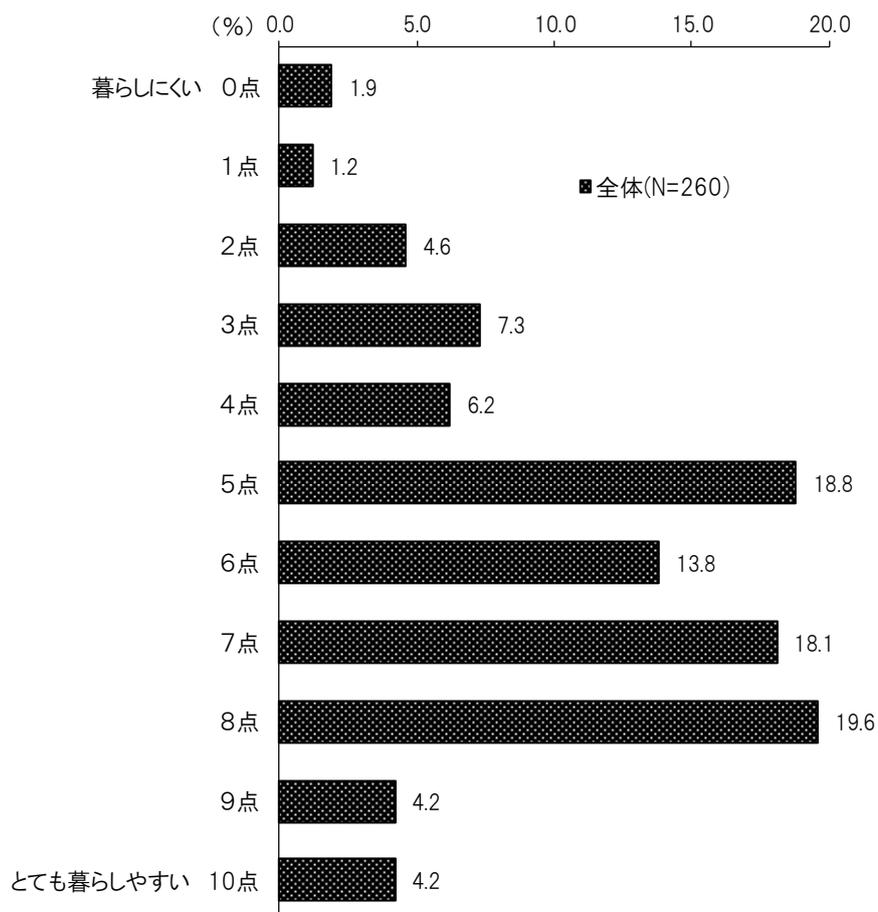
所得階層別では所得階層Ⅰで、世帯区分別ではひとり親世帯で「現在利用している」「現在利用していないが以前利用していた」の割合が高くなっている。



26 暮らしやすさ

問 28 あなたにとって、玉野市は暮らしやすいまちだと思いますか。「とても暮らしやすい」を10点、「暮らしにくい」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
(回答は1つ)

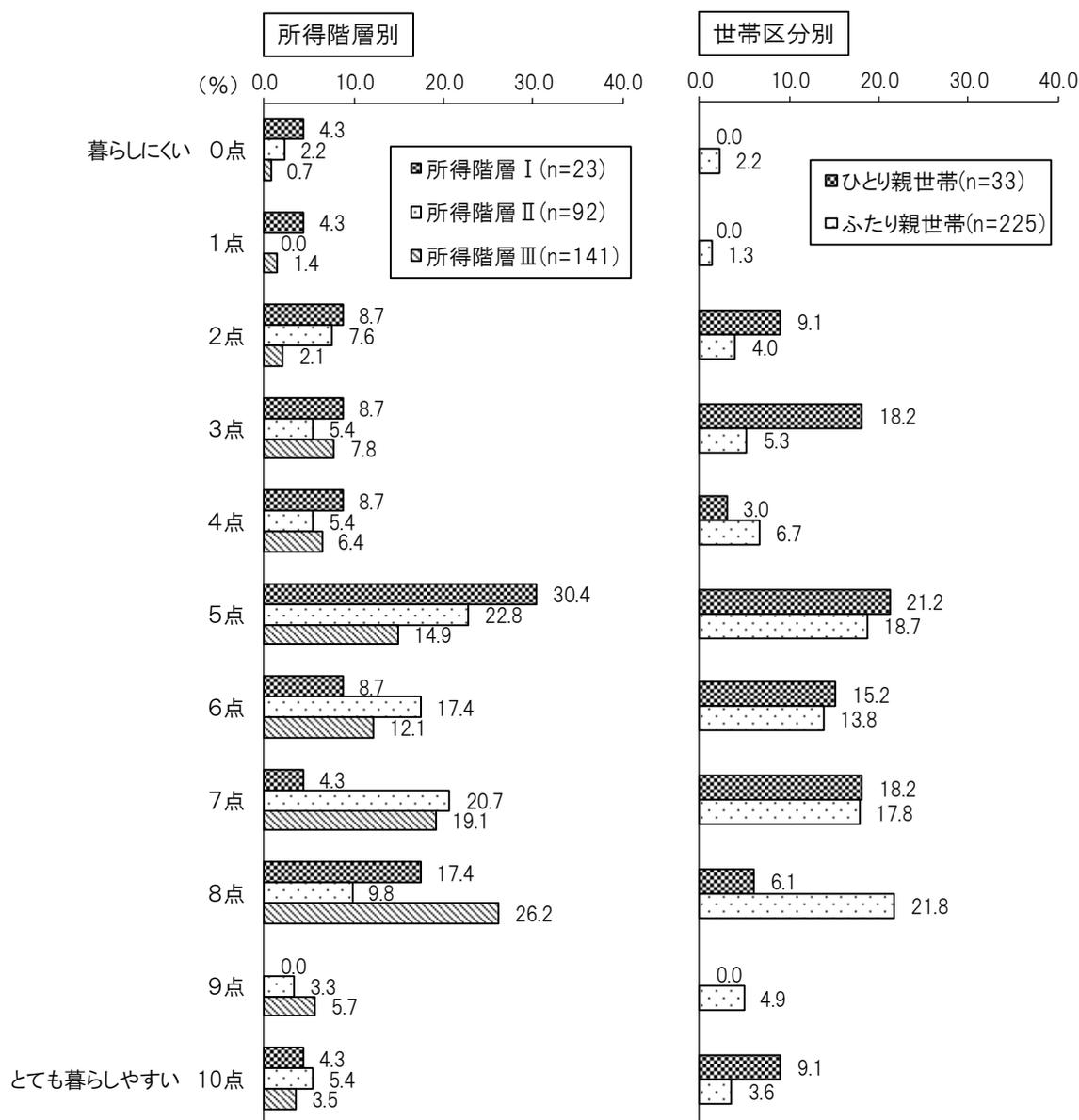
暮らしやすさについては、「8点」の割合が19.6%と最も高く、次いで「5点」(18.8%)、「7点」(18.1%)の順となっており、平均点数は6.0点となっている。



	平均(点)
全体(N=260)	6.0

所得階層別では、所得階層Ⅰで「5点」、所得階層Ⅱで「6点」、所得階層Ⅲで「8点」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「2点」「3点」「10点」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「8点」の割合が高くなっている。



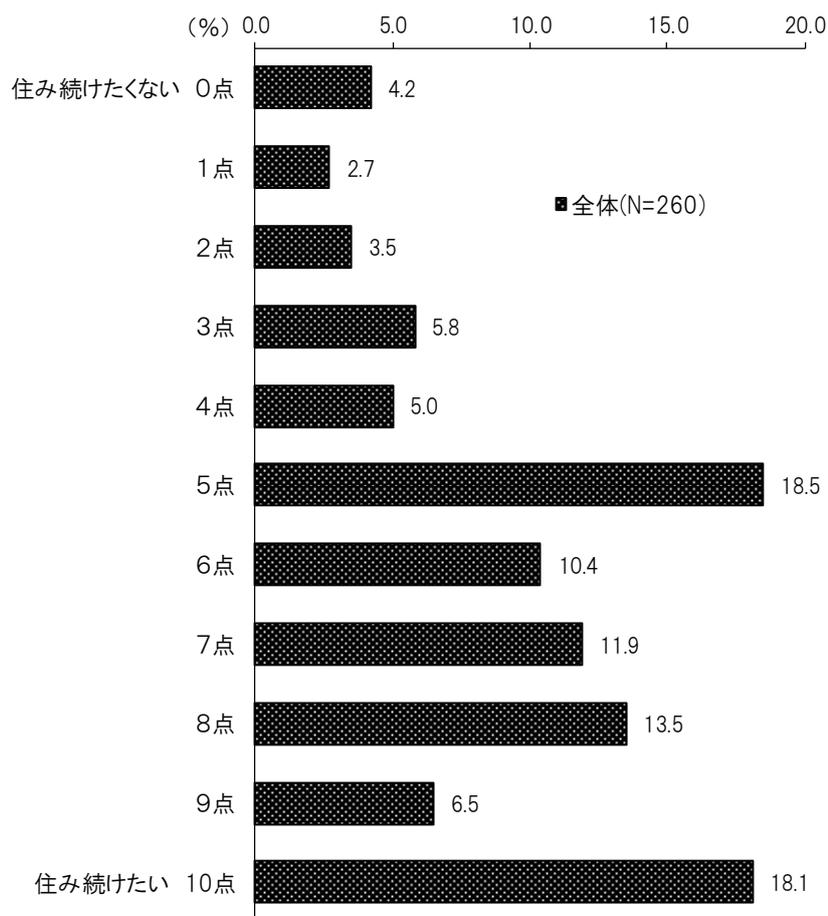
所得階層別	平均(点)
所得階層Ⅰ (n=23)	5.0
所得階層Ⅱ (n=92)	5.8
所得階層Ⅲ (n=141)	6.3

世帯区分別	平均(点)
ひとり親世帯 (n=33)	5.5
ふたり親世帯 (n=225)	6.1

27 永住意向

問 29 あなたは、これからも玉野市に住み続けたいと思いますか。「住み続けたい」を10点、「住み続けたくない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
(回答は1つ)

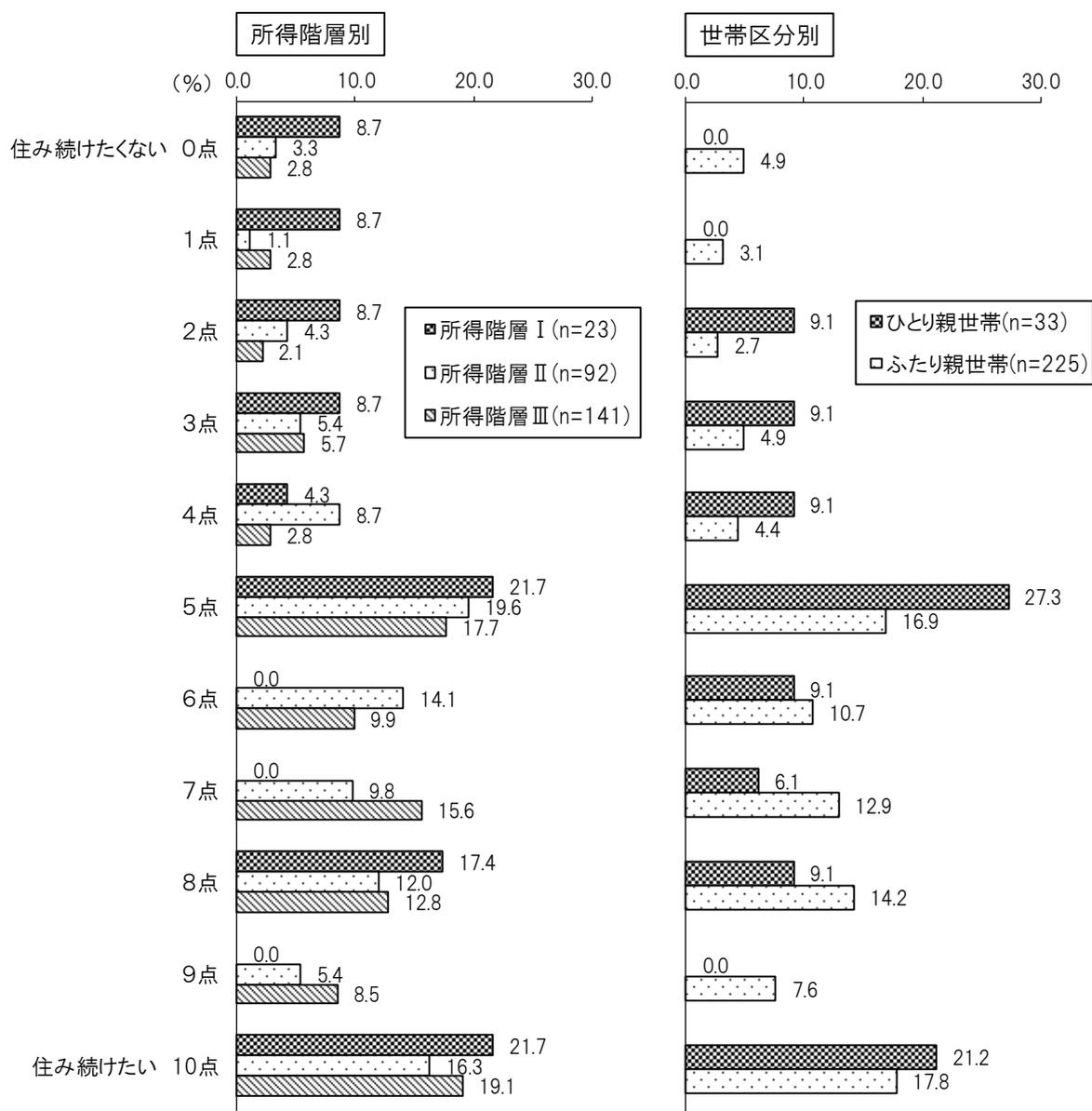
永住意向については、「5点」の割合が18.5%と最も高く、次いで「10点」(18.1%)、「8点」(13.5%)の順となっており、平均点数は6.3点となっている。



	平均(点)
全体(N=260)	6.3

所得階層別では、所得階層Ⅰで「0点」「1点」「2点」「8点」、所得階層ⅡやⅢで「6点」「7点」「9点」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「5点」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「7点」「8点」「9点」の割合が高くなっている。



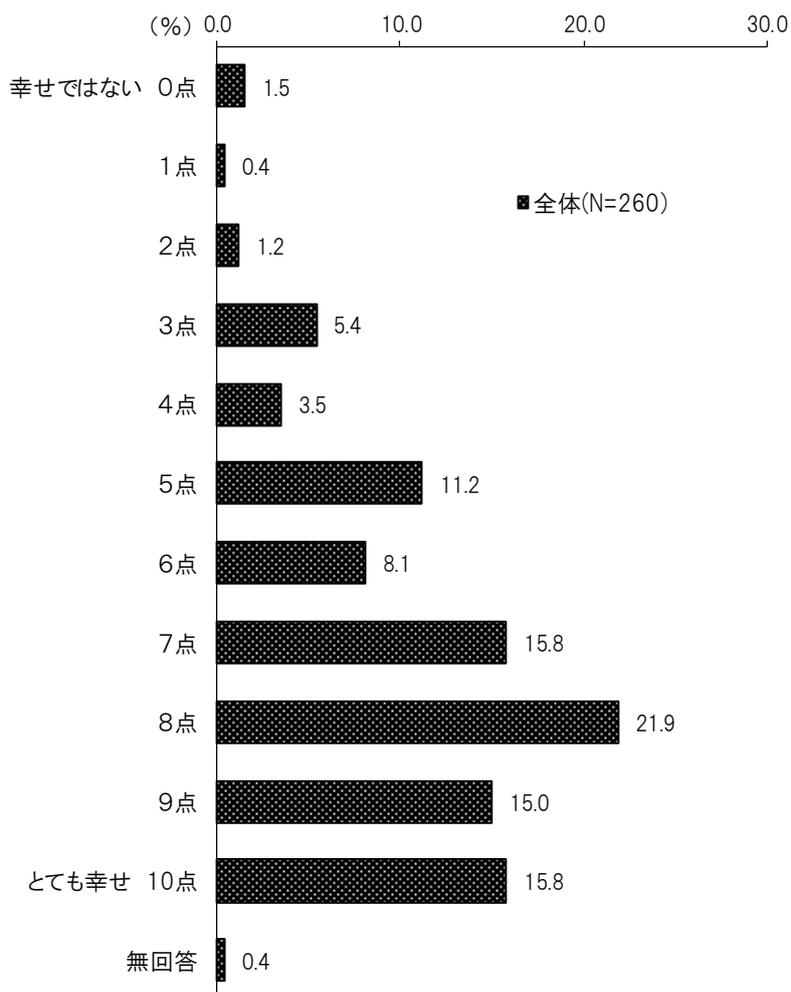
所得階層別	平均(点)
所得階層Ⅰ(n=23)	5.4
所得階層Ⅱ(n=92)	6.2
所得階層Ⅲ(n=141)	6.6

世帯区分別	平均(点)
ひとり親世帯(n=33)	6.0
ふたり親世帯(n=225)	6.4

28 幸福度

問 30 あなたは、今の暮らしを、どの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「幸せではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
(回答は1つ)

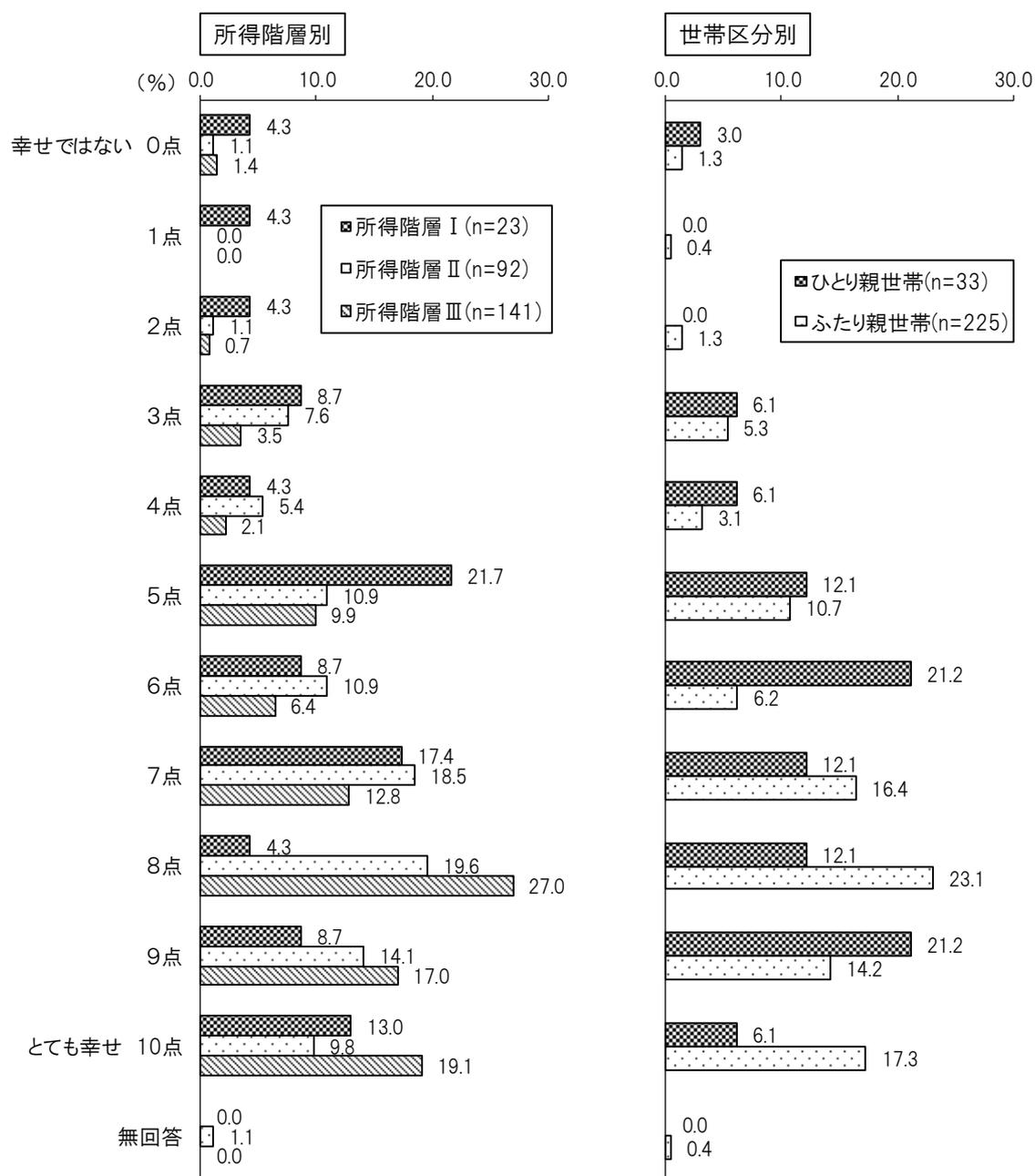
幸福度については、「8点」の割合が21.9%と最も高く、次いで「7点」「10点」(各15.8%)、「9点」(15.0%)の順となっており、平均点数は7.2点となっている。



	平均(点)
全体(N=260)	7.2

所得階層別では、所得階層Ⅰで「5点」、所得階層ⅡやⅢで「8点」「9点」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「6点」「9点」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「8点」「10点」の割合が高くなっている。



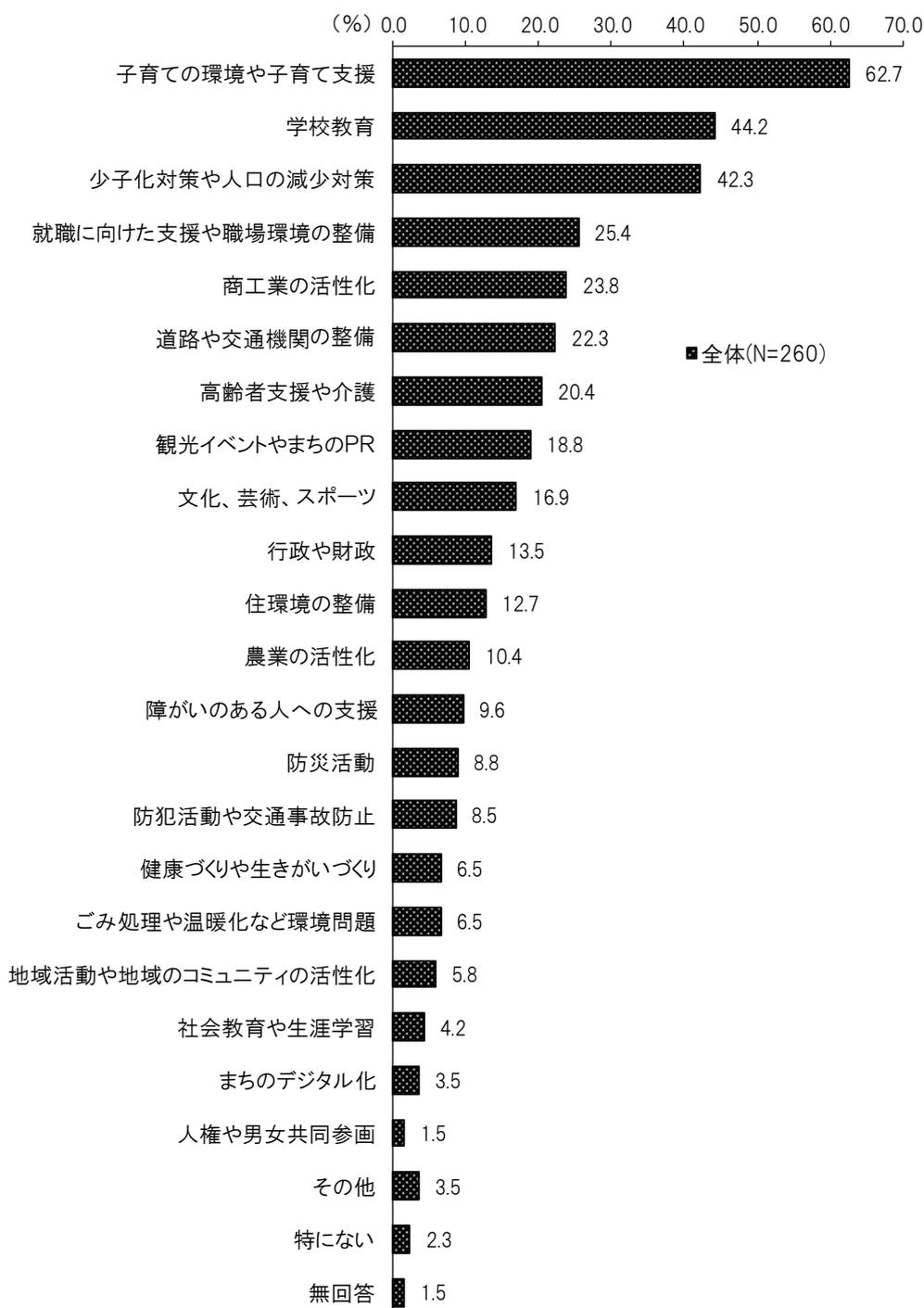
所得階層別	平均(点)
所得階層Ⅰ (n=23)	5.8
所得階層Ⅱ (n=92)	6.9
所得階層Ⅲ (n=141)	7.6

世帯区分別	平均(点)
ひとり親世帯 (n=33)	6.6
ふたり親世帯 (n=225)	7.3

29 市が力を入れて取り組むべきこと

問 31 子どもや若者にとって、夢や希望が持てる玉野市となるために、玉野市が今後、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思えますか。（回答は5つまで）

市が力を入れて取り組むべきことについては、「子育ての環境や子育て支援」の割合が62.7%と最も高く、次いで「学校教育」(44.2%)、「少子化対策や人口の減少対策」(42.3%)、「就職に向けた支援や職場環境の整備」(25.4%)、「商工業の活性化」(23.8%)の順となっている。

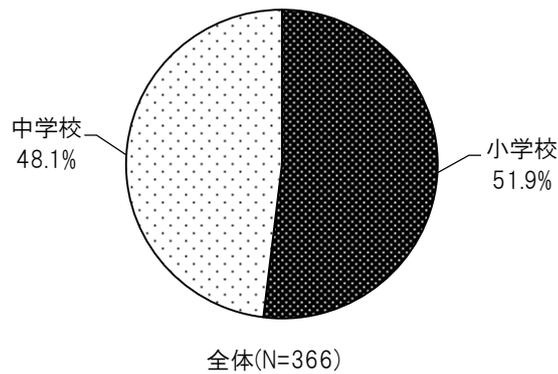


Ⅲ 調査結果（小中学生）

1 通学先

問1 あなたが通っている学校はどこですか。（回答は1つ）

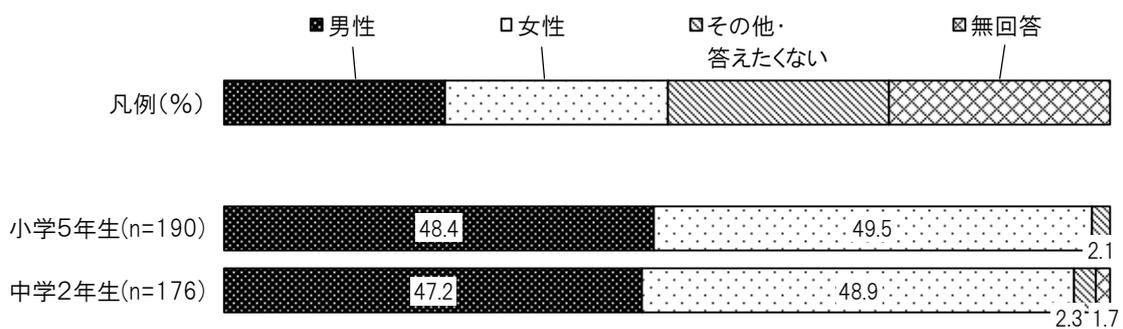
通学先については、「小学校」が51.9%、「中学校」が48.1%となっている。



2 性別

問3 あなたの性別をお答えください。（回答は1つ）

性別については、小学5年生、中学2年生共に、男女の割合はほぼ同割合となっている。



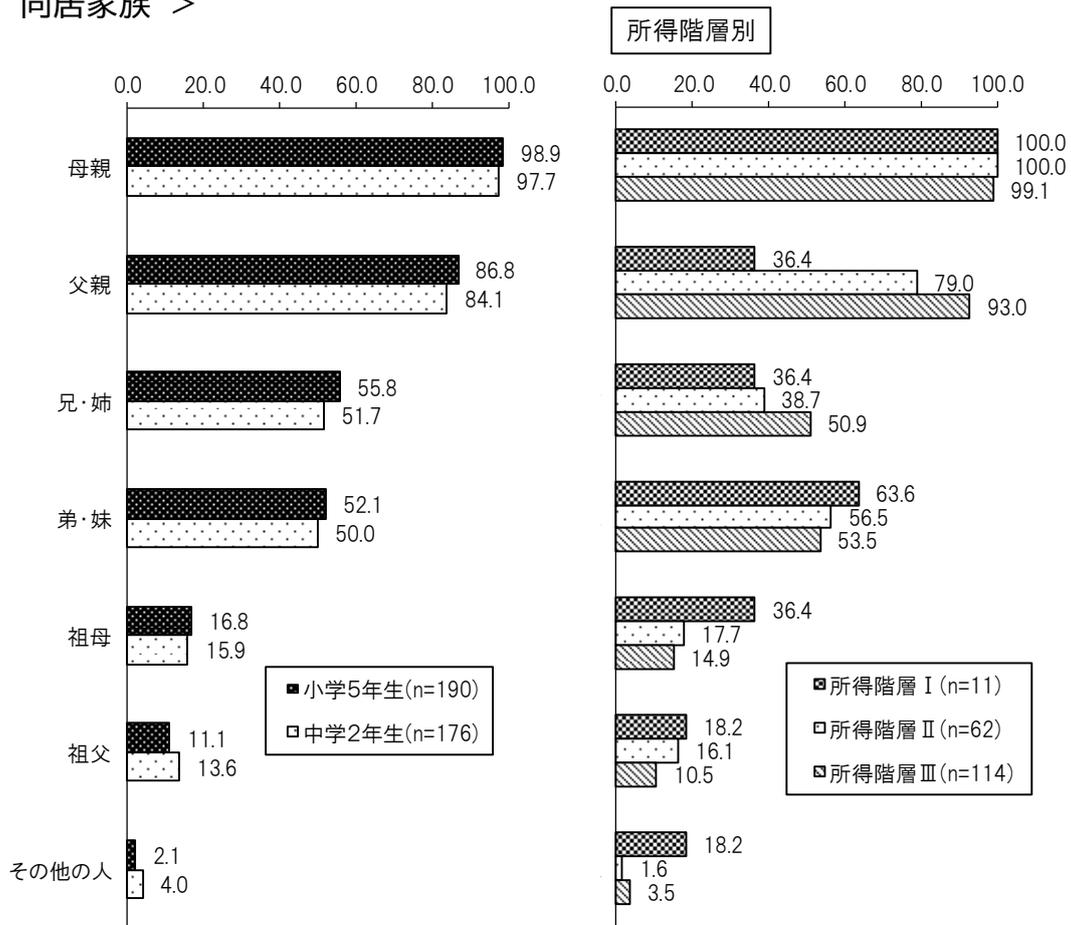
3 同居家族

問4 あなたは、誰と一緒に住んでいますか。（回答はあてはまるもの全て）

同居家族については、小学5年生、中学2年生共に「母親」の割合が最も高く、次いで「父親」「兄・姉」「弟・妹」「祖母」「祖父」の順となっている。

所得階層別では、所得階層が高いほど「父親」「兄・姉」の割合が高く、所得階層Ⅰで「祖母」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

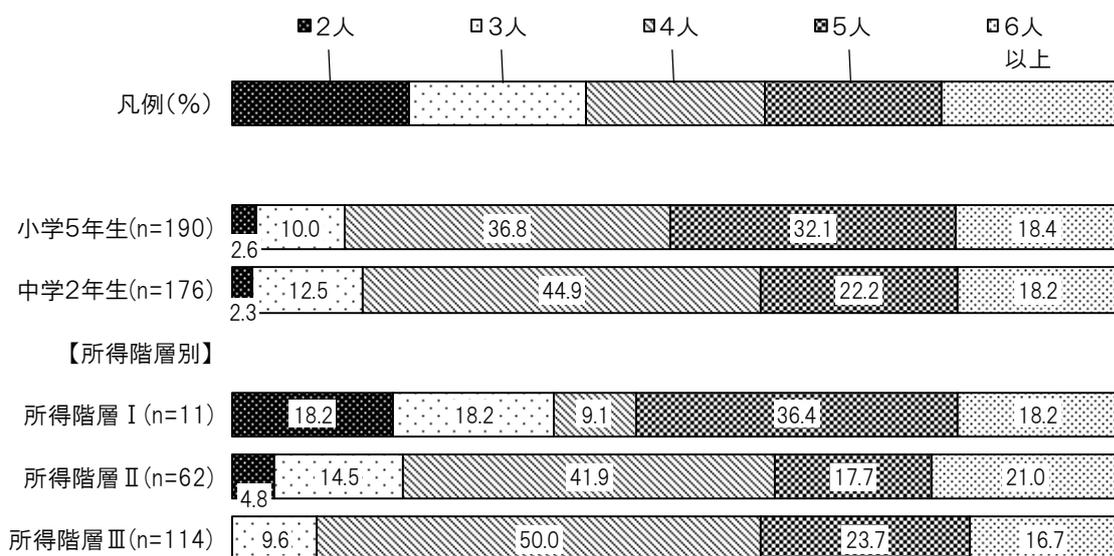
< 同居家族 >



家族の人数については、小学5年生、中学2年生共に「4人」の割合が最も高く、次いで「5人」「6人以上」の順となっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「2人」「3人」「5人」、所得階層Ⅲで「4人」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

< 家族の人数 >



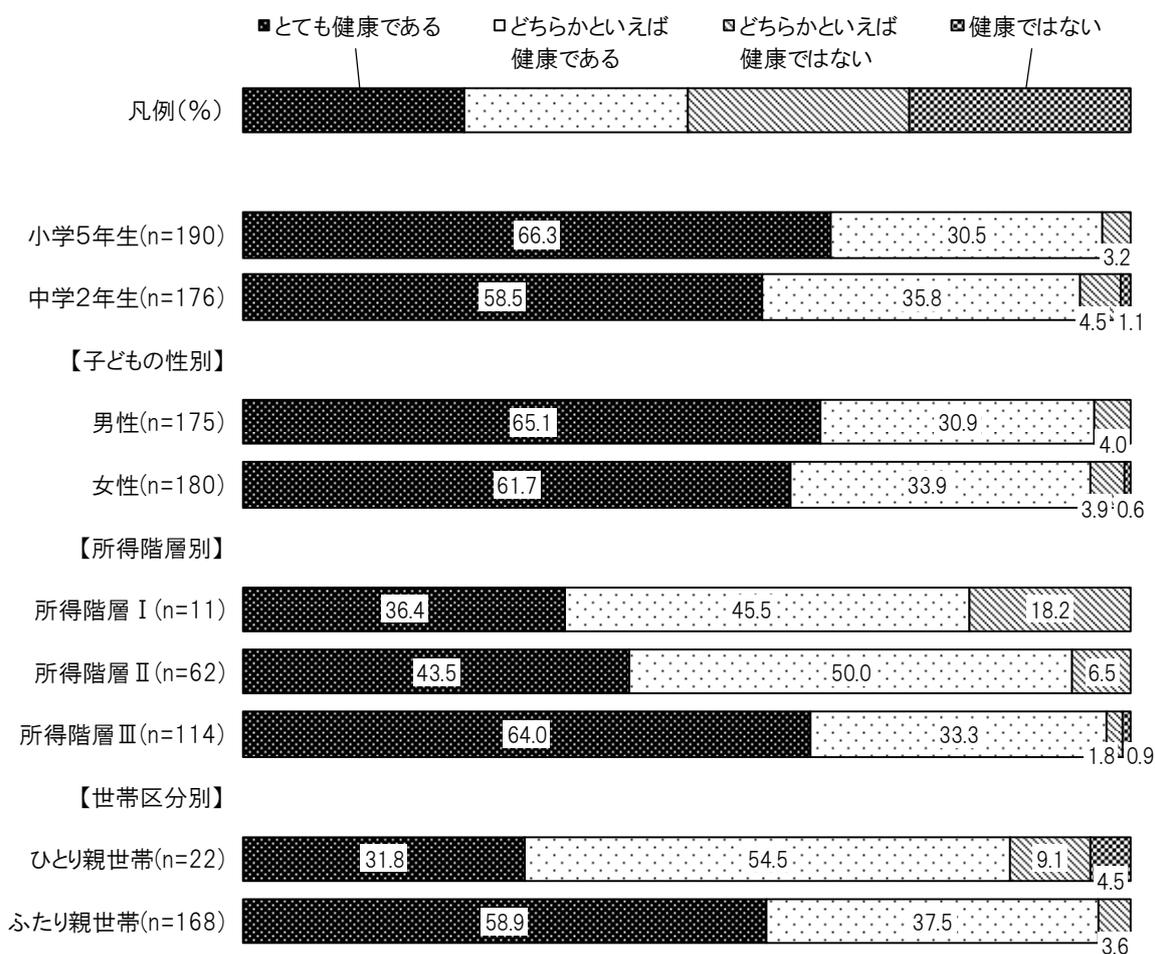
4 健康状態

問5 あなたは今、健康ですか。（回答は1つ）

健康状態については、大半が『健康である』（「とても健康である」「どちらかといえば健康である」の合計）と回答している。

子どもの性別では大きな差はみられないが、所得階層別では所得階層Ⅰで「どちらかといえば健康ではない」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて『健康ではない』（「健康ではない」「どちらかといえば健康ではない」の合計）の割合が高くなっている。



5 学校生活の楽しさ

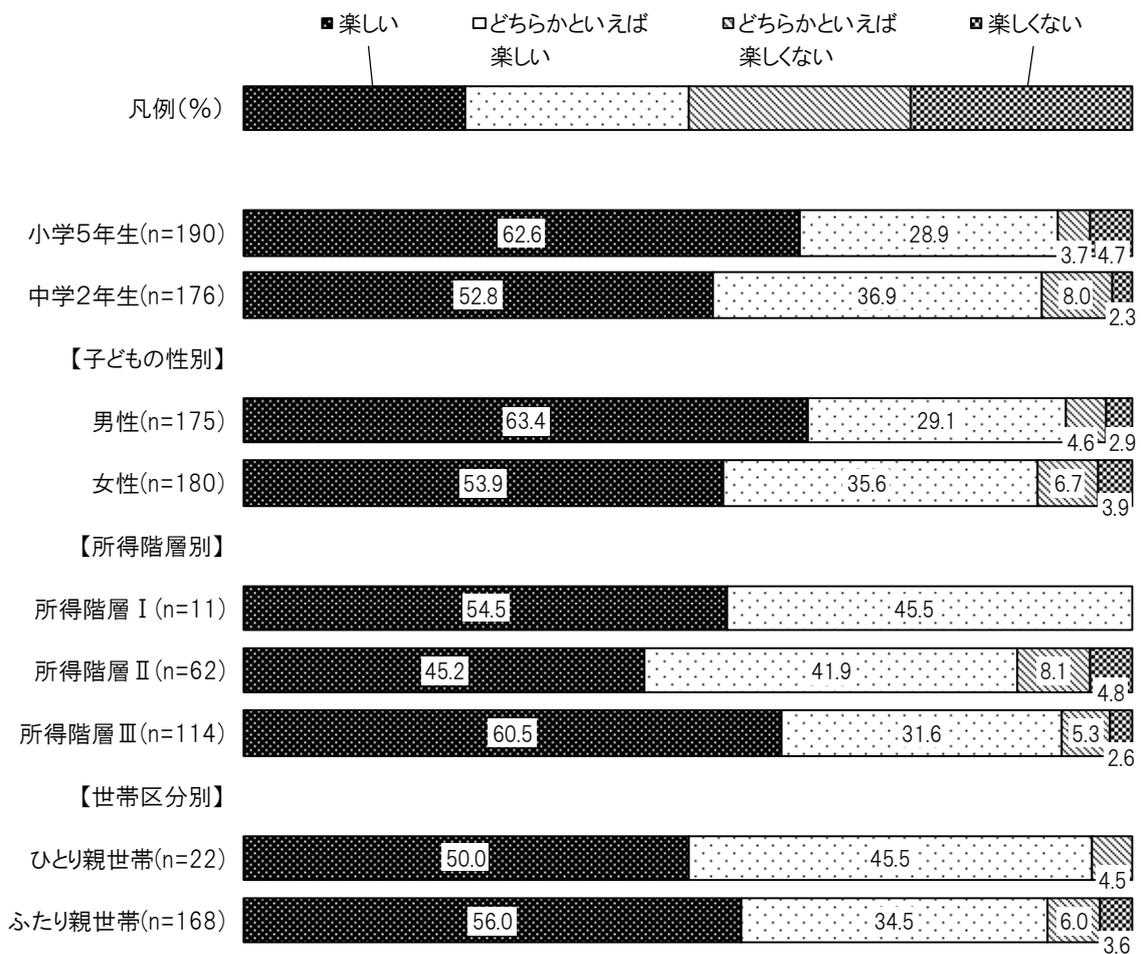
問6 あなたは、学校での生活は楽しいですか。（回答は1つ）

学校生活の楽しさについては、大半が『楽しい』（「楽しい」「どちらかといえば楽しい」の合計）と回答している。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「楽しい」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層ⅡやⅢで『楽しくない』（「楽しくない」「どちらかといえば楽しくない」の合計）の割合が所得階層Ⅰに比べて高くなっている。

世帯区分別では、大きな差はみられない。



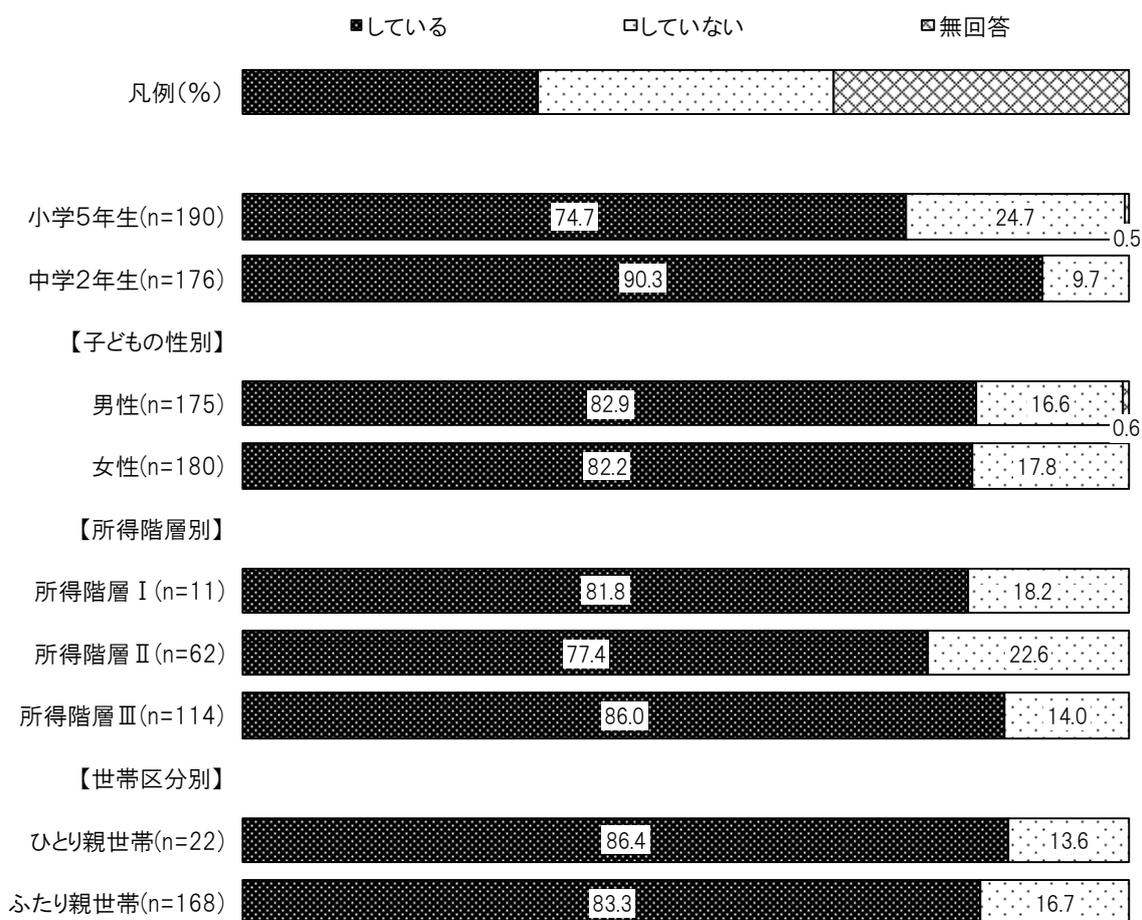
6 部活動や習いごとの状況

問7 あなたは、放課後に部活動や習いごとなどをしていますか。（回答は1つ）

部活動や習いごとの状況については、「している」の割合が小学5年生で74.7%、中学2年生で90.3%となっている。

子どもの性別では大きな差はみられないが、所得階層別では所得階層Ⅱで「していない」の割合が他の階層に比べてやや高くなっている。

世帯区分別では、大きな差はみられない。



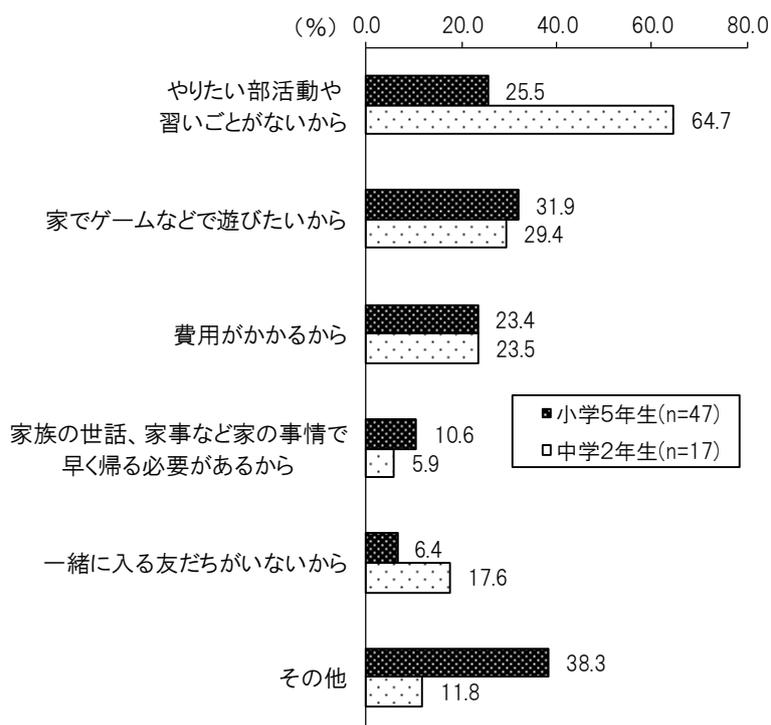
7 部活動や習いごとをしていない理由

【問7で「2 していない」と答えた方におたずねします。】

問8 放課後に部活動や習いごとなどをしていない理由は何ですか。

(回答はあてはまるもの全て)

部活動や習いごとをしていない理由については、中学2年生は小学5年生に比べて「やりたい部活動や習いごとがないから」「一緒に入る友だちがいないから」の割合が高くなっている。



子どもの性別では、男性は女性に比べて「家でゲームなどで遊びたいから」の割合が高く、女性は「費用がかかるから」「家族の世話、家事など家の事情で早く帰る必要があるから」「一緒に入る友だちがないから」の割合が男性を上回っている。

手伝いの頻度別（小中学生票問 19）では、ほぼ毎日で「家族の世話、家事など家の事情で早く帰る必要があるから」、週に3～5日で「費用がかかるから」、週に1～2日で「やりたい部活動や習いごとがないから」、1か月に数日で「家でゲームなどで遊びたいから」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅱで「家でゲームなどで遊びたいから」、所得階層Ⅲで「やりたい部活動や習いごとがないから」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

単位 (%)	がや ない たい から 部 活 動 や 習 い ご と	か 家 ら で ゲ ー ム な ど で 遊 び た い	費 用 が か か る か ら	か 事 家 情 族 の で 早 く 帰 る 必 要 が あ る の	か 一 緒 に 入 る 友 だ ち が い ない	そ の 他
小学5年生(n=47)	25.5	31.9	23.4	10.6	6.4	38.3
中学2年生(n=17)	64.7	29.4	23.5	5.9	17.6	11.8
【子どもの性別】						
男性(n=29)	37.9	34.5	20.7	6.9	0.0	27.6
女性(n=32)	34.4	28.1	25.0	12.5	15.6	31.3
【手伝いの頻度別】						
ほぼ毎日(n=22)	22.7	9.1	18.2	18.2	0.0	36.4
週に3～5日(n=11)	27.3	18.2	45.5	9.1	18.2	63.6
週に1～2日(n=12)	50.0	50.0	33.3	0.0	25.0	25.0
1か月に数日(n=12)	41.7	58.3	16.7	8.3	8.3	8.3
【所得階層別】						
所得階層Ⅰ(n=2)	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0
所得階層Ⅱ(n=14)	21.4	35.7	21.4	7.1	14.3	42.9
所得階層Ⅲ(n=16)	50.0	12.5	18.8	6.3	6.3	37.5

注1：表中の「網掛け」は、各クロス集計（子どもの性別など）において最も高い割合を示している。
 但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）
 注2：所得階層別の所得階層Ⅰについては、件数（n）が少ないため参考値として参照

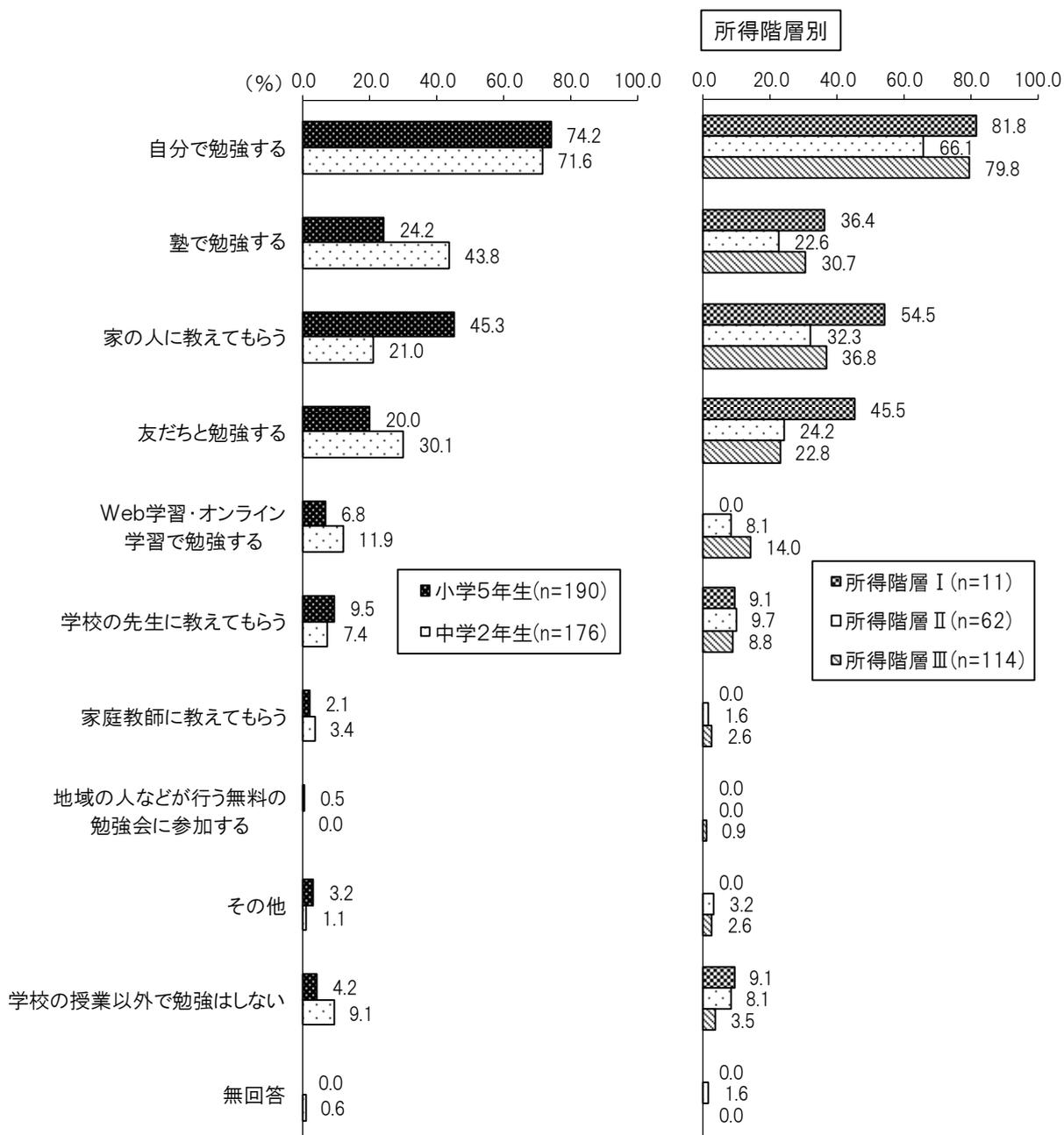
8 授業以外の勉強方法

問9 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※ 勉強には学校の宿題も含みます。(回答はあてはまるもの全て)

授業以外の勉強方法については、小学5年生、中学2年生共に「自分で勉強する」が7割以上となっており、次いで小学5年生で「家の人に教えてもらう」、中学2年生で「塾で勉強する」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「家の人に教えてもらう」「友だちと勉強する」の割合が他の階層に比べて高くなっている。



子どもの性別では、女性は男性に比べて「自分で勉強する」「友だちと勉強する」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「友だちと勉強する」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「自分で勉強する」「塾で勉強する」の割合が高くなっている。

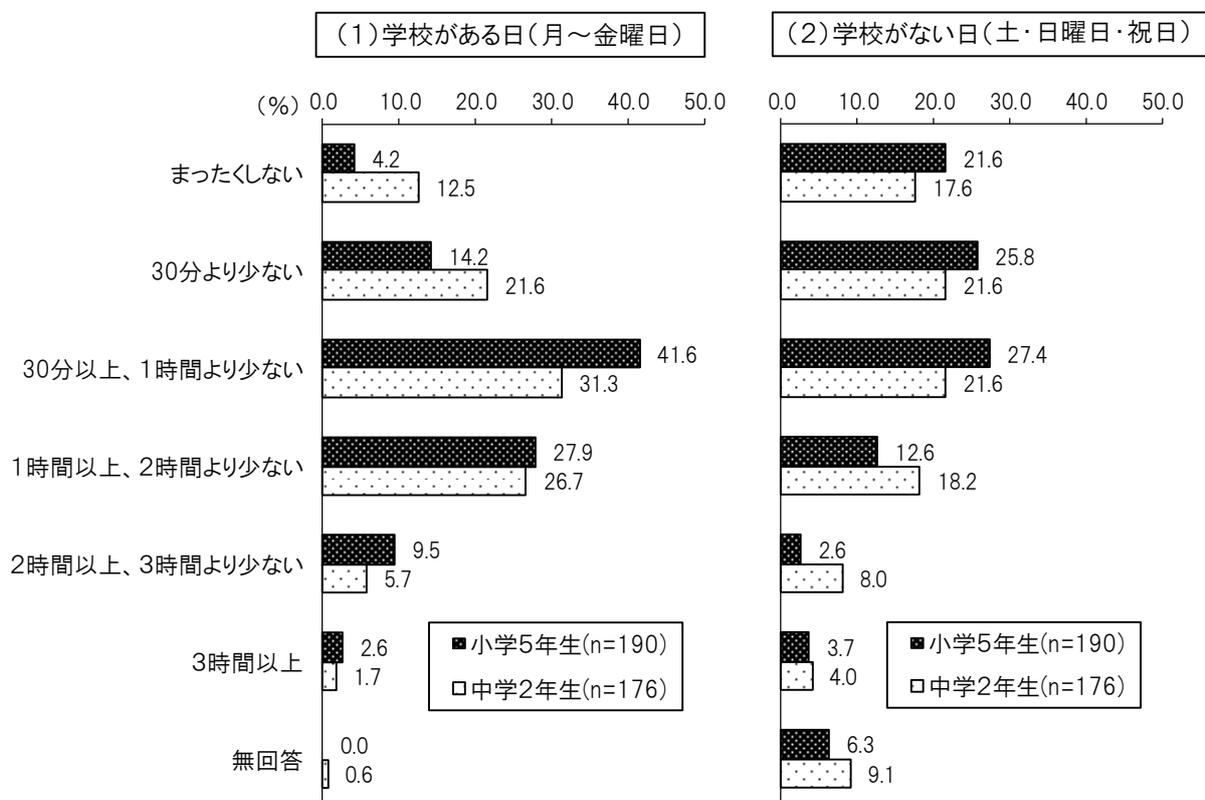
単位 (%)	自分で勉強する	塾で勉強する	家の人に教えてもらう	友だちと勉強する	Web学習・オンライン学習で勉強する	学校の先生に教えてもらう	家庭教師に教えてもらう	地域の人が行う無料の勉強会に参加する	その他	学校の授業以外で勉強はしない
小学5年生(n=190)	74.2	24.2	45.3	20.0	6.8	9.5	2.1	0.5	3.2	4.2
中学2年生(n=176)	71.6	43.8	21.0	30.1	11.9	7.4	3.4	0.0	1.1	9.1
【子どもの性別】										
男性(n=175)	69.7	34.3	33.7	21.1	9.7	9.7	1.7	0.0	1.1	8.6
女性(n=180)	76.7	33.3	33.3	28.9	8.9	6.7	3.3	0.6	2.8	4.4
【世帯区分別】										
ひとり親世帯(n=22)	59.1	18.2	36.4	36.4	9.1	13.6	0.0	0.0	0.0	13.6
ふたり親世帯(n=168)	77.4	29.8	37.5	23.2	11.9	8.3	3.0	0.6	2.4	4.2

9 授業以外の1日あたりの勉強時間

問 10 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。次の(1)(2)それぞれについてお答えください。(回答は1つずつ)
 ※ 学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間も含まれます。

学校がある日(月～金曜日)の授業以外の勉強時間については、小学5年生、中学2年生共に「30分以上、1時間より少ない」の割合が最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」「30分より少ない」の順となっている。

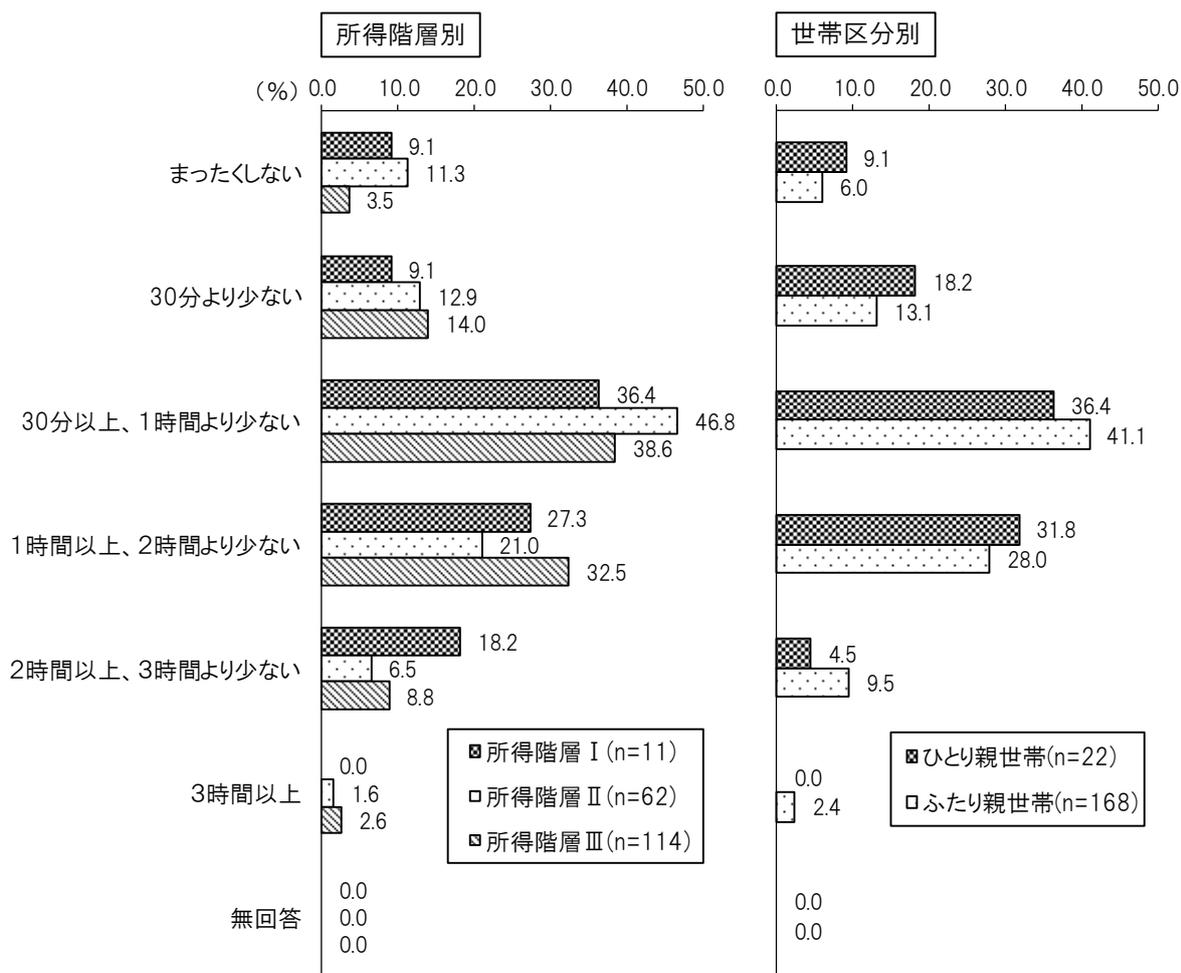
学校がない日(土・日曜日・祝日)については、小学5年生、中学2年生共に「30分以上、1時間より少ない」「30分より少ない」の割合が高くなっている。



(1) 学校がある日（月～金曜日）

所得階層別では、所得階層Ⅰで「2時間以上、3時間より少ない」、所得階層Ⅱで「30分以上、1時間より少ない」、所得階層Ⅲで「1時間以上、2時間より少ない」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

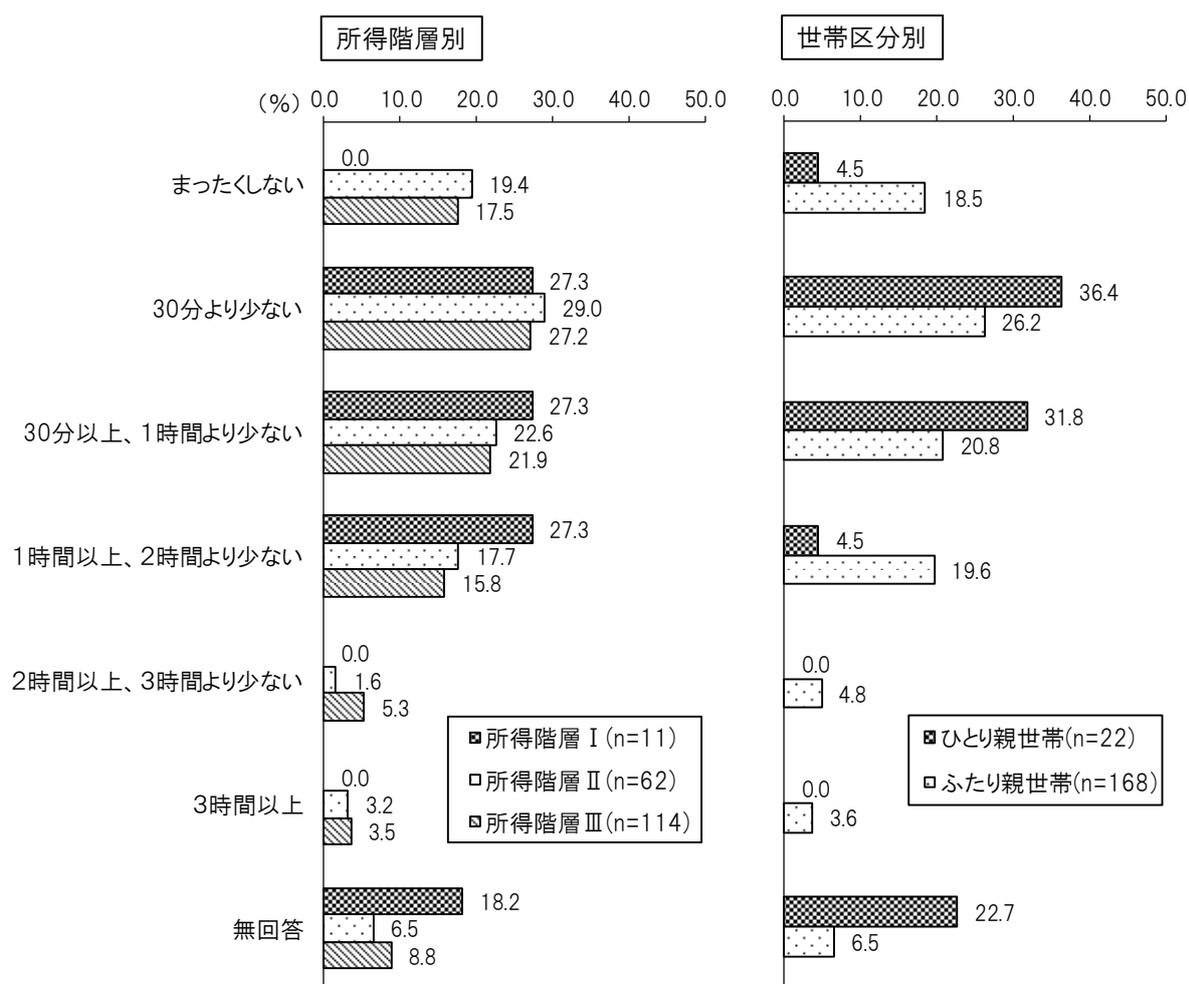
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「30分より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「30分以上、1時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」の割合が高くなっている。



(2) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

所得階層別では、所得階層Ⅰで「30分以上、1時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「まったくしない」「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高くなっている。

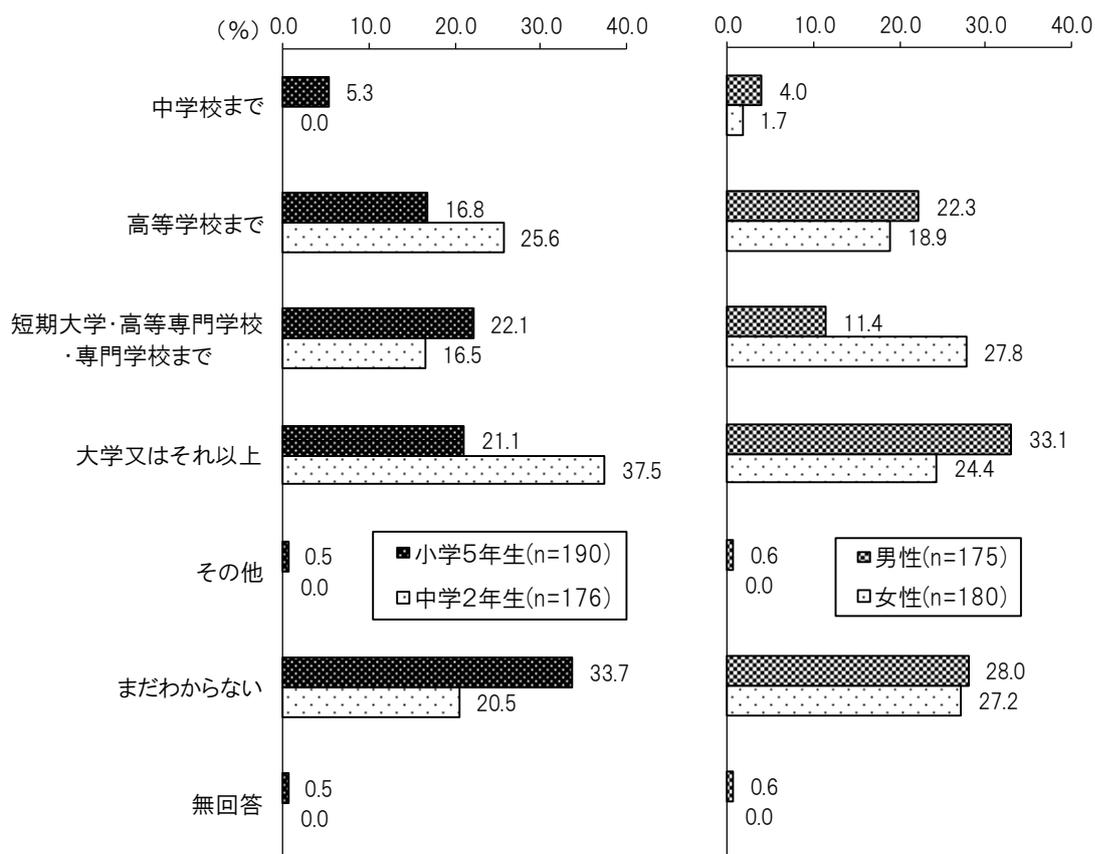


10 希望する進学先

問 11 あなたは、将来、どこまで進学したいですか。（回答は1つ）

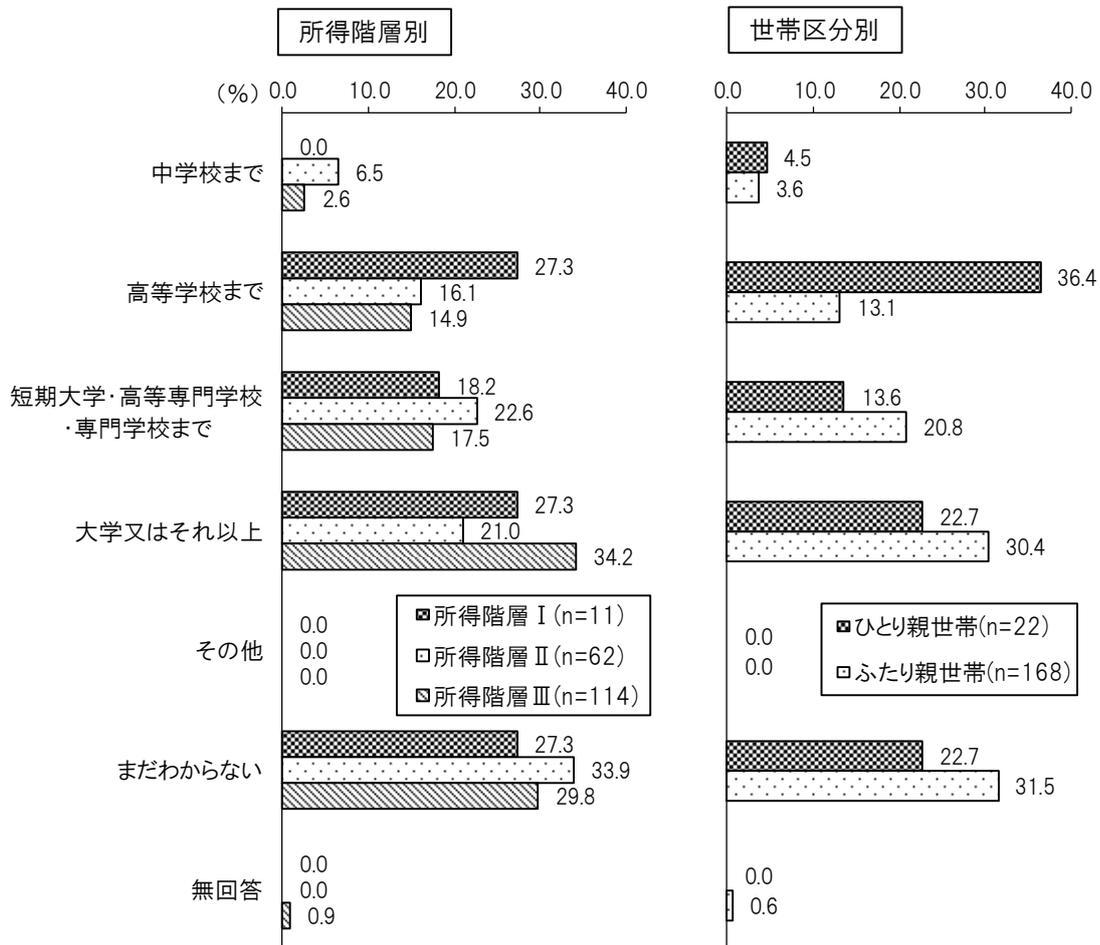
希望する進学先について、小学5年生では「まだわからない」の割合が最も高くなって
いる。中学2年生では「大学又はそれ以上」の割合が最も高く、次いで「高等学校まで」
が続いている。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「大学又はそれ以上」の割合が高く、女性は「短
期大学・高等専門学校・専門学校まで」の割合が男性を大きく上回っている。

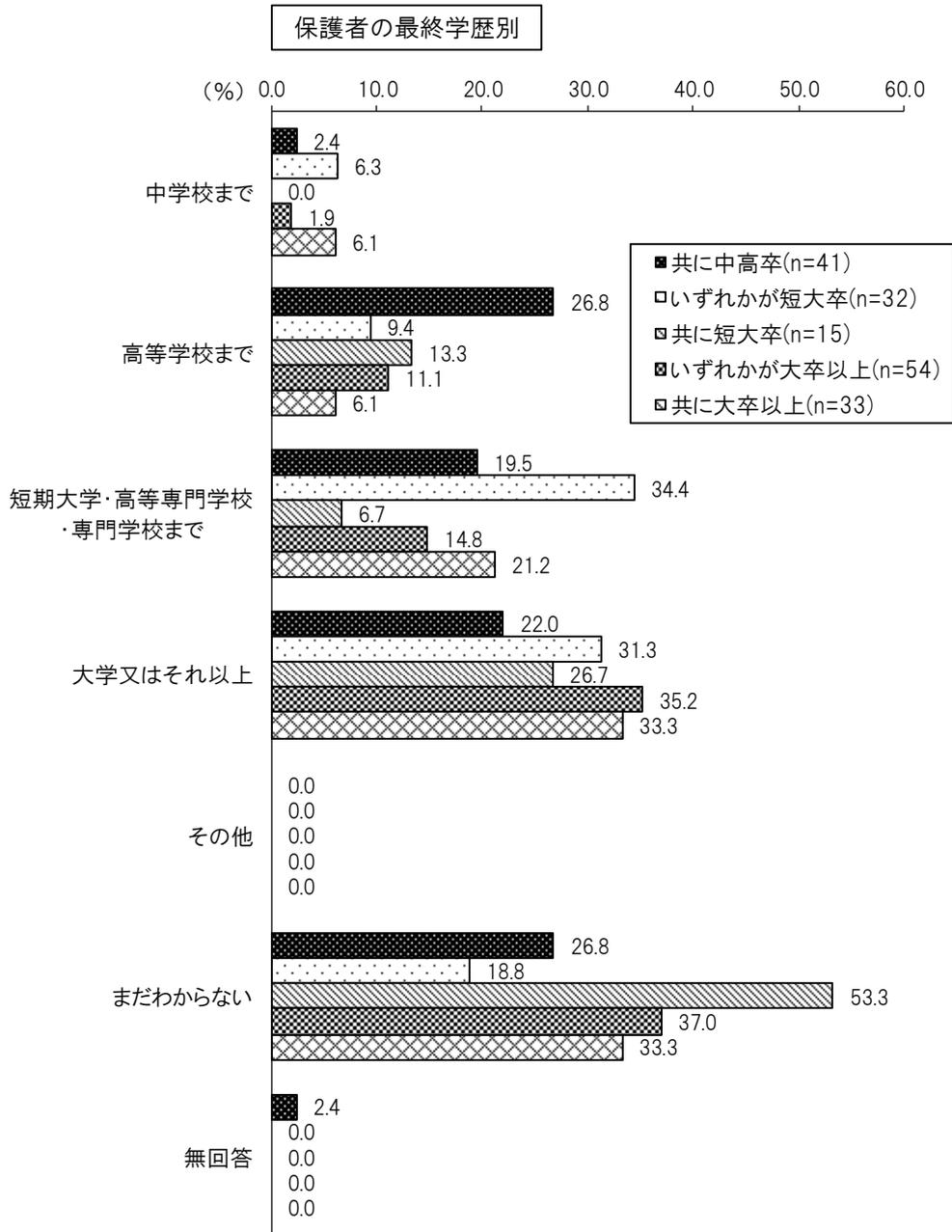


所得階層別では、所得階層Ⅰで「高等学校まで」、所得階層Ⅲで「大学又はそれ以上」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「高等学校まで」の割合が高くなっている。



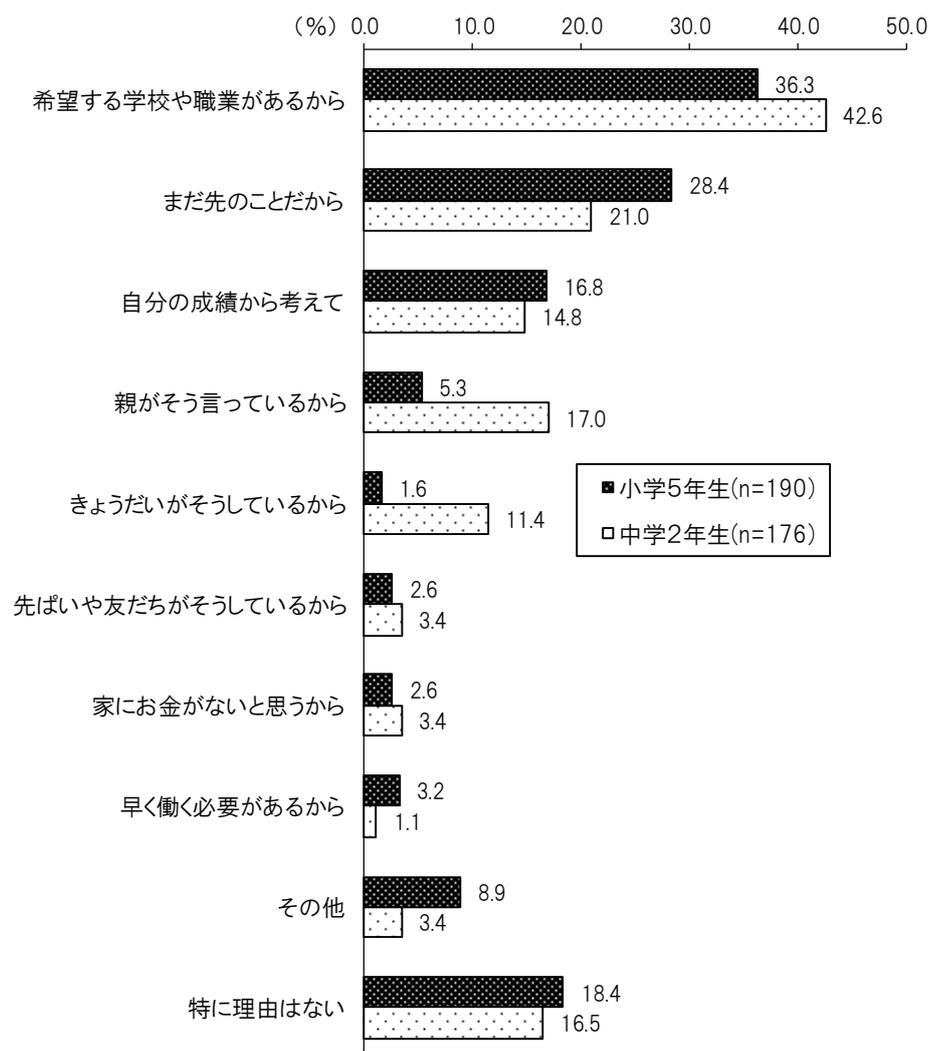
保護者の最終学歴別（保護者票問 10）では、共に中高卒で「高等学校まで」、いずれかが短大卒で「短期大学・高等専門学校・専門学校まで」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



11 進学先を選んだ理由

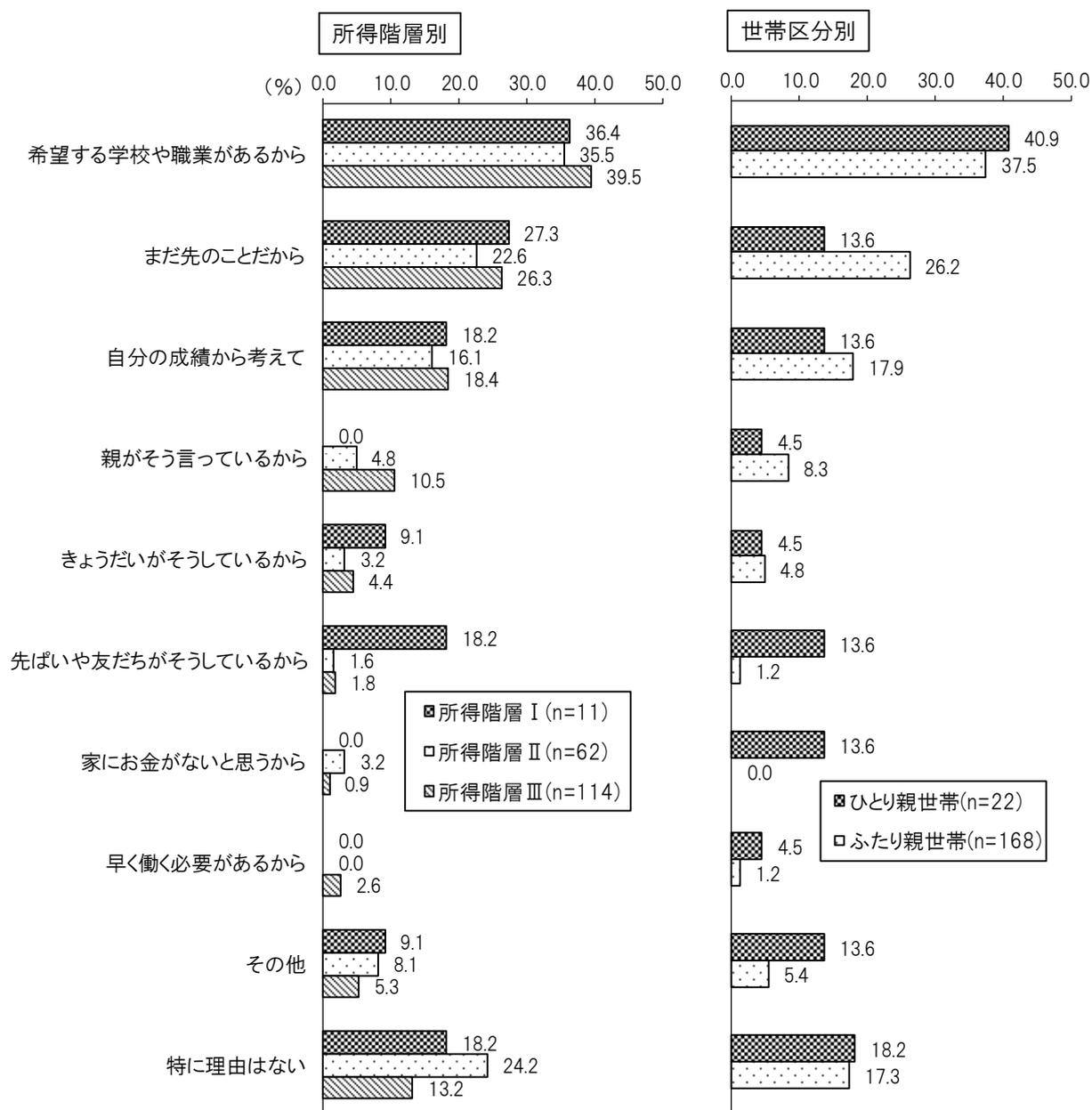
問 12 前問でその回答を選んだ理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

進学先を選んだ理由については、小学5年生、中学2年生共に「希望する学校や職業があるから」の割合が最も高くなっている。また、小学5年生は中学2年生に比べて「まだ先のことだから」の割合が高く、中学2年生は小学5年生に比べて「親がそう言っているから」「きょうだいがそうしているから」の割合が高くなっている。



所得階層別では、所得階層Ⅰで「先ばいや友だちがそうしているから」、所得階層Ⅲで「親がそう言っているから」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「先ばいや友だちがそうしているから」「家にお金がないと思うから」の割合が高くなっている。



12 欠席する頻度

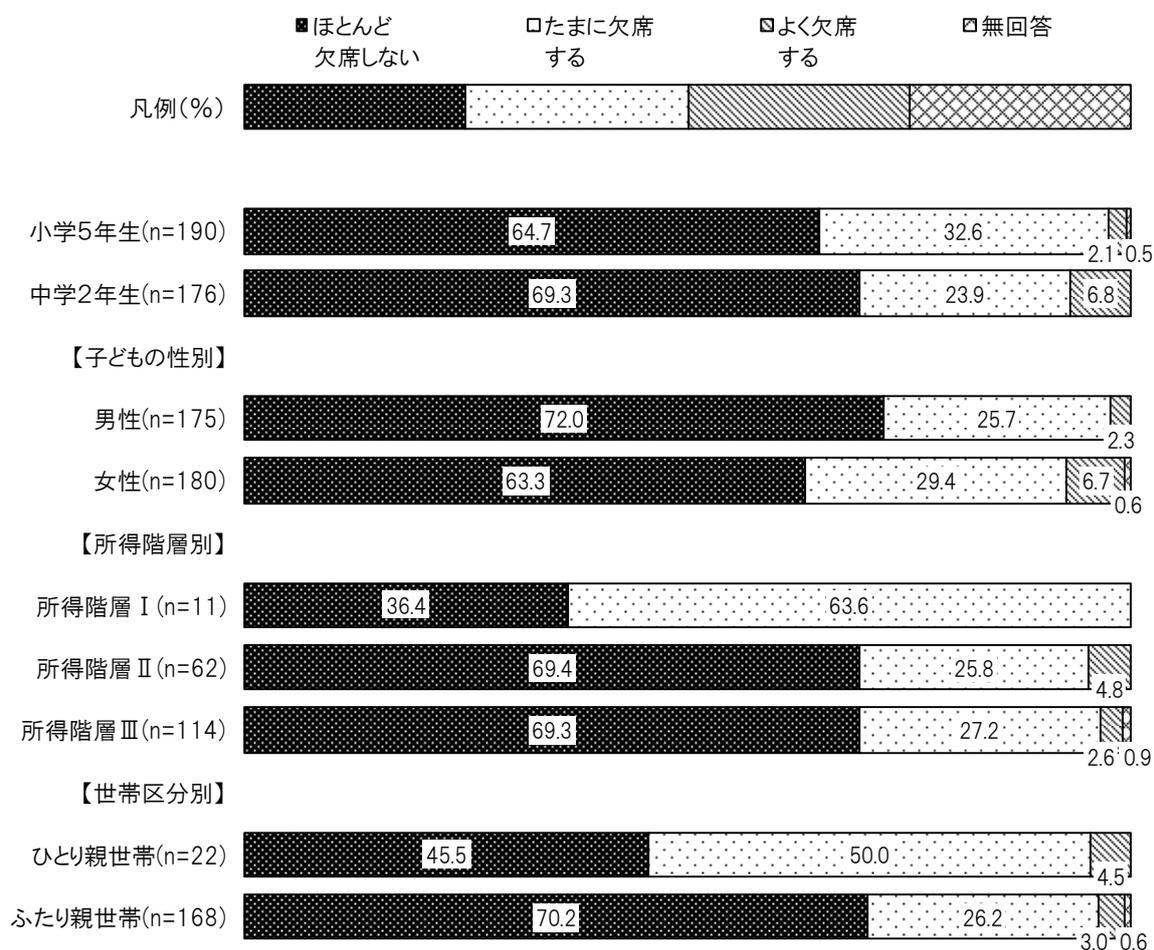
問 13 あなたは、学校を欠席することがありますか。（回答は1つ）

欠席する頻度については、小学5年生は中学2年生に比べて「たまに欠席する」の割合が高く32.6%となっている。また、中学2年生は「よく欠席する」の割合が6.8%となっている。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「ほとんど欠席しない」の割合が高く、女性は「たまに欠席する」「よく欠席する」の割合が男性をやや上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「たまに欠席する」の割合が他の階層を大きく上回っている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「たまに欠席する」の割合が高くなっている。



13 遅刻や早退をする頻度

問 14 あなたは、遅刻や早退をすることがありますか。（回答は1つ）

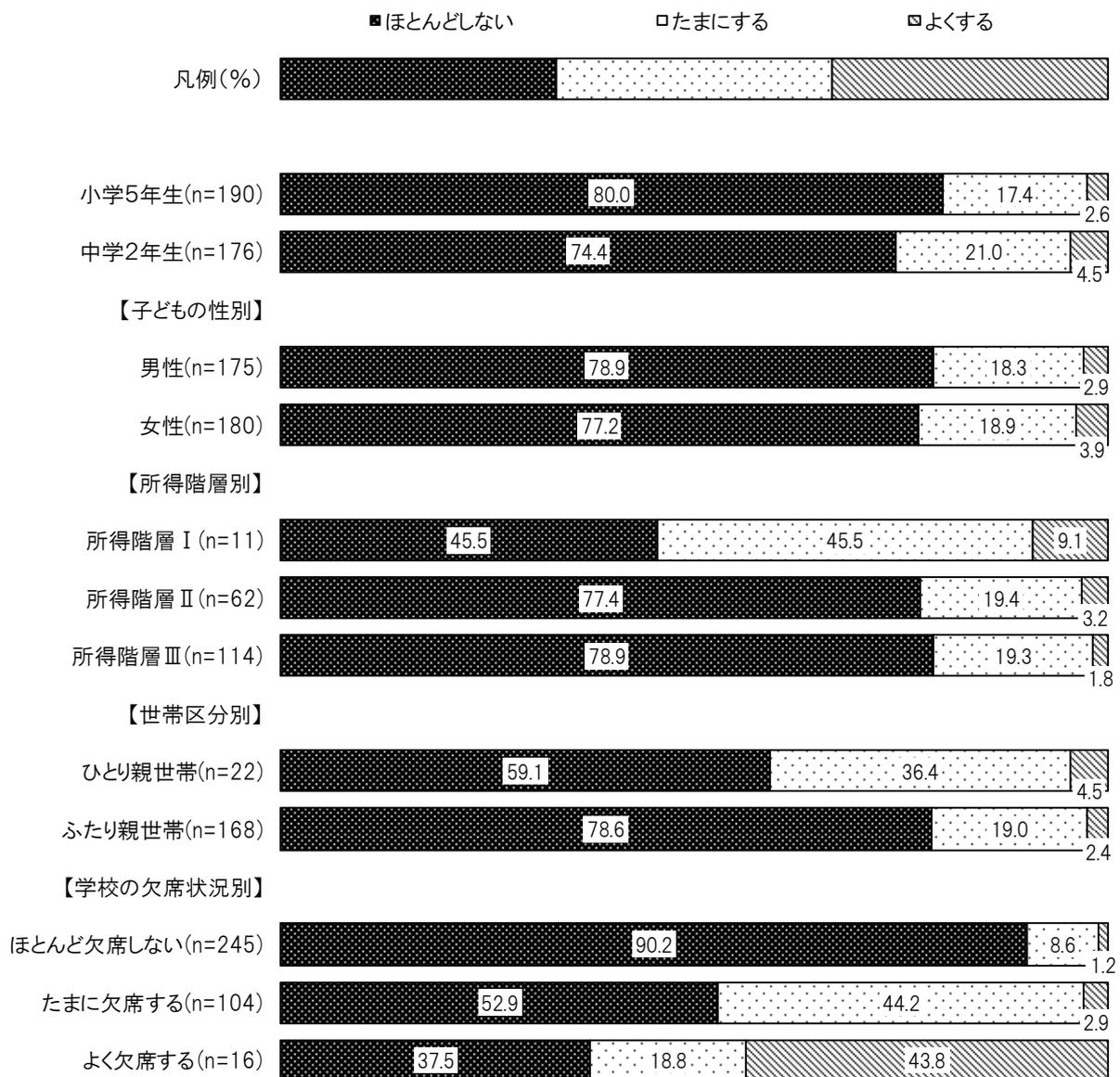
遅刻や早退をする頻度については、小学5年生、中学2年生共に7割以上が「ほとんどしない」と回答しており、「たまにする」は2割程度となっている。

子どもの性別では、大きな差はみられない。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「たまにする」の割合が他の階層を大きく上回っている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「たまにする」の割合が高くなっている。

学校の欠席状況別（小中学生票問13）では、たまに欠席すると回答した層で「たまにする」、「よく欠席すると回答した層で「よくする」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

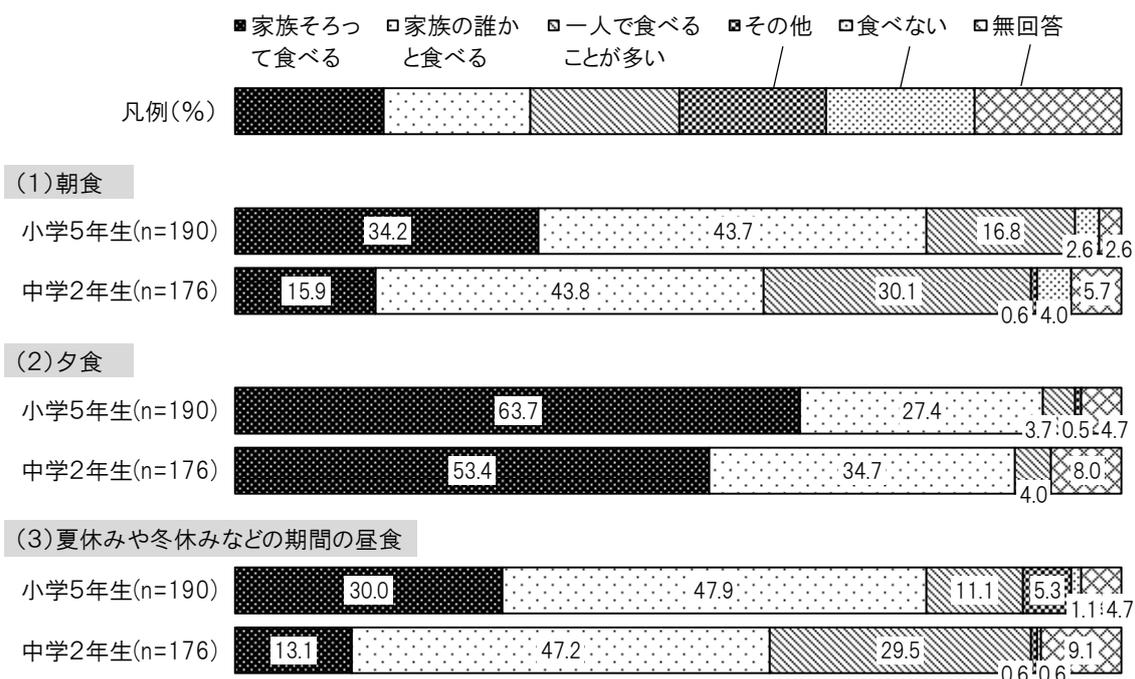


14 家族と一緒に食事をするについて

問 15 あなたは、ふだん、家族と一緒に食事をしていますか。（回答は1つずつ）

「(1)朝食」及び「(3)夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について、「家族そろって食べる」「家族の誰かと食べる」の合計割合は、小学5年生で約8割、中学2年生で約6割となっており、中学2年生の約3割が「一人で食べることが多い」と回答している。

「(2)夕食」については、小学5年生、中学2年生共に半数以上が「家族そろって食べる」、3割程度が「家族の誰かと食べる」と回答している。

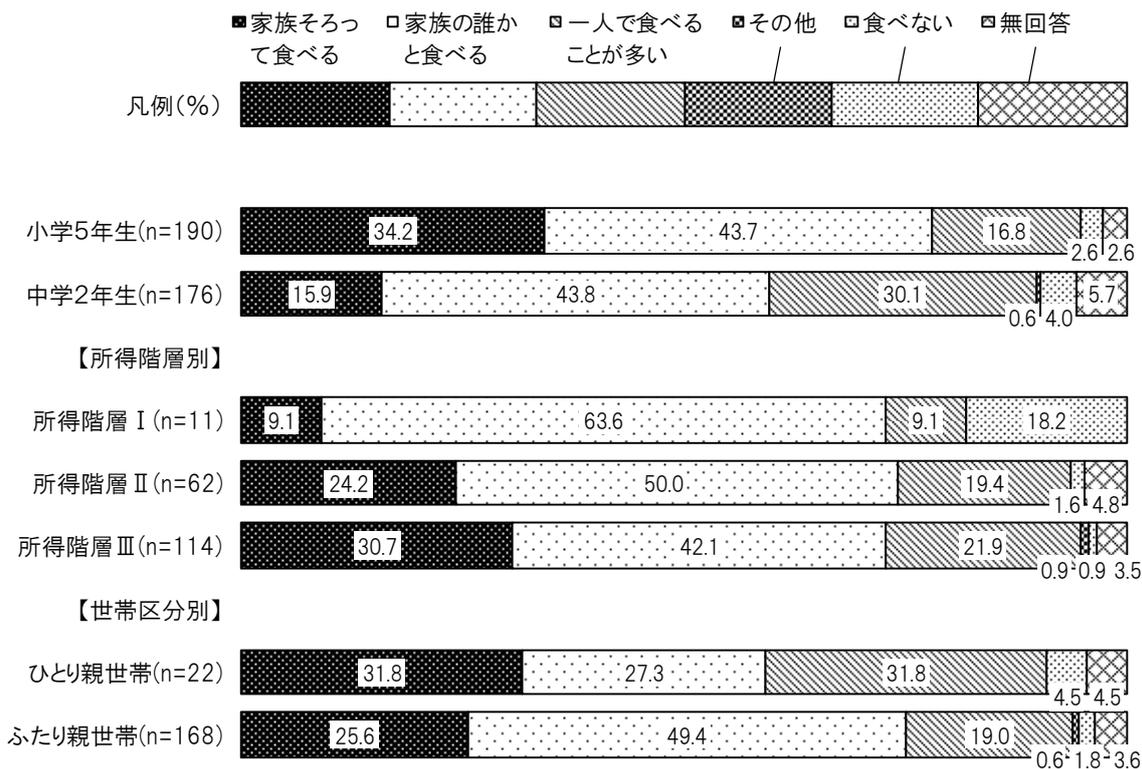


(1) 朝食

朝食については、小学5年生は中学2年生に比べて「家族そろって食べる」の割合が高く、中学2年生は「一人で食べることが多い」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「家族の誰かと食べる」「食べない」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「一人で食べるが多い」の割合が高くなっている。

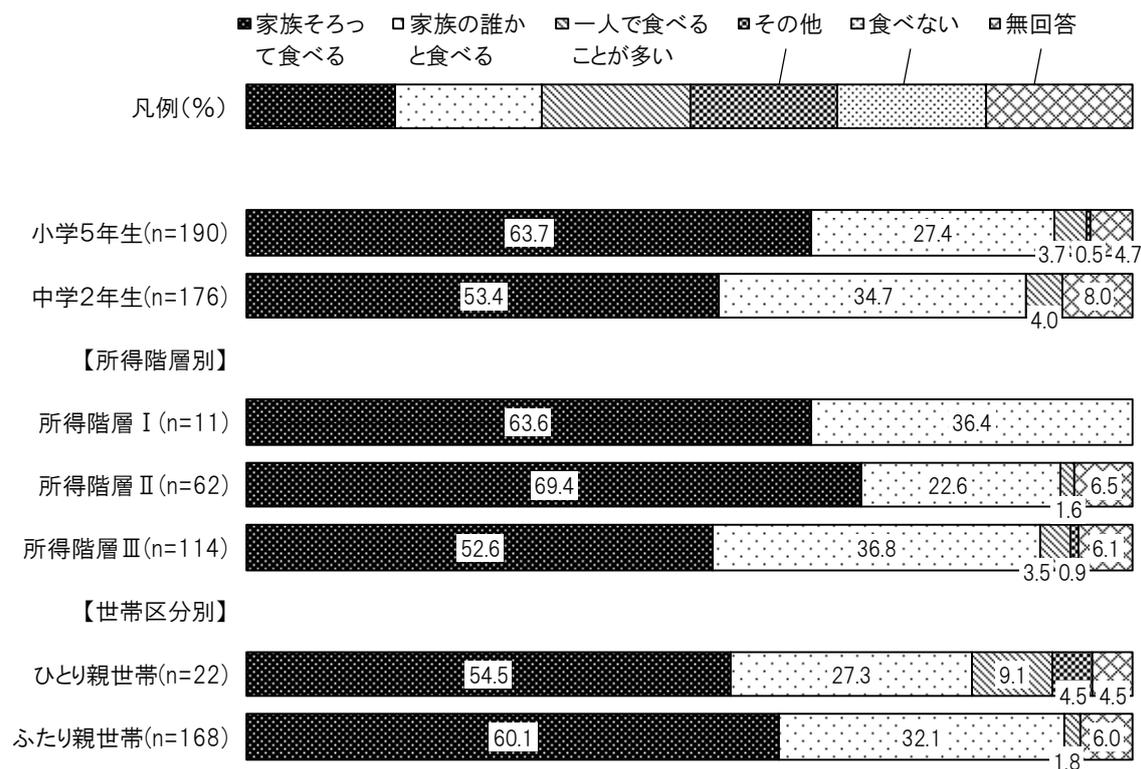


(2) 夕食

夕食については、小学5年生は中学2年生に比べて「家族そろって食べる」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅲで「家族そろって食べる」の割合が他の階層に比べて低くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「一人で食べることが多い」の割合が高くなっている。

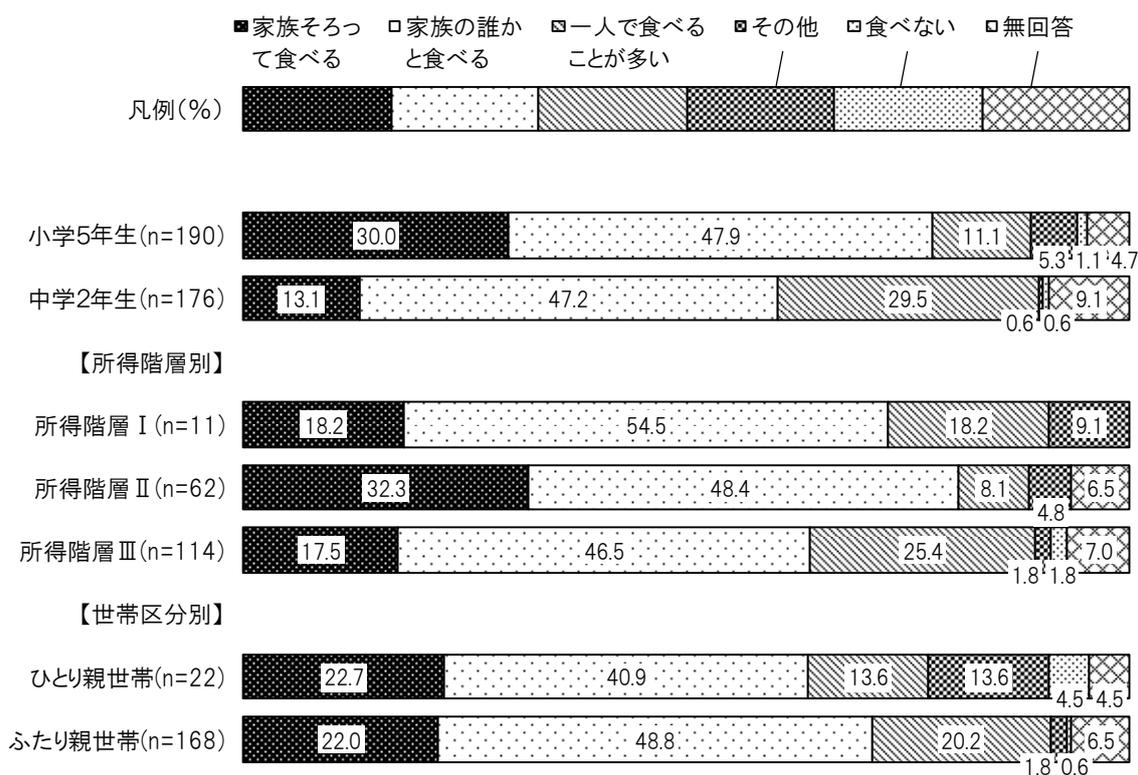


(3) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

夏休みや冬休みなどの期間の昼食については、小学5年生は中学2年生に比べて「家族そろって食べる」の割合が高く、中学2年生は「一人で食べることが多い」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅱで「家族そろって食べる」、所得階層Ⅲで「一人で食べるが多い」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

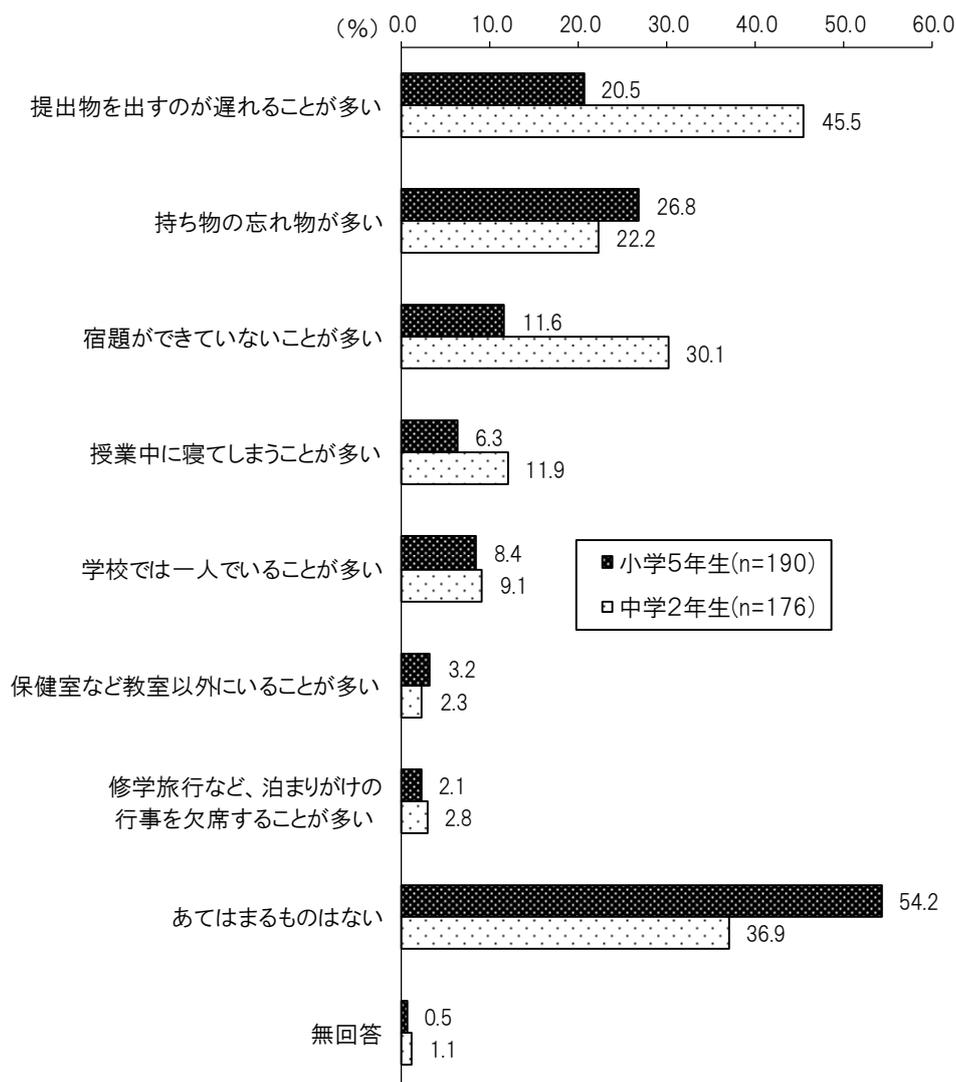
世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「家族の誰かと食べる」「一人で食べるが多い」の割合が高くなっている。



15 ふだんの学校生活について

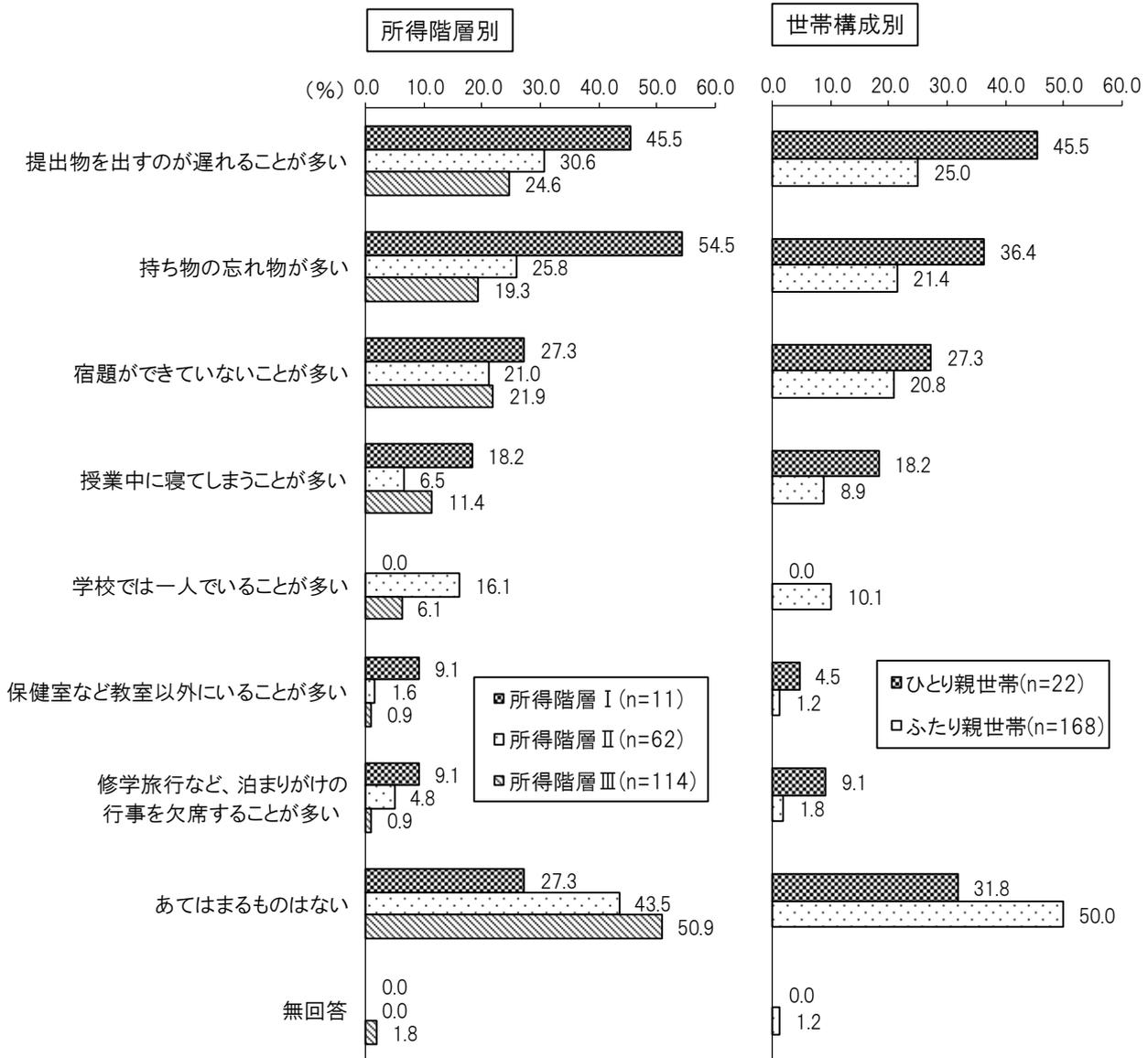
問 16 あなたは、ふだんの学校生活において、次の中であてはまることがありますか。
 (回答はあてはまるもの全て)

ふだんの学校生活については、小学5年生は中学2年生に比べて「あてはまるものはない」の割合が高く、中学2年生は「提出物を出すのが遅れることが多い」「宿題ができていないことが多い」の割合が小学5年生を大きく上回っている。



所得階層別では、所得階層Ⅰで「提出物を出すのが遅れることが多い」「持ち物の忘れ物が多い」の割合が他の階層を大きく上回っている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「提出物を出すのが遅れることが多い」「持ち物の忘れ物が多い」などの割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「あてはまるものはない」の割合が高くなっている。



16 平日の就寝時間

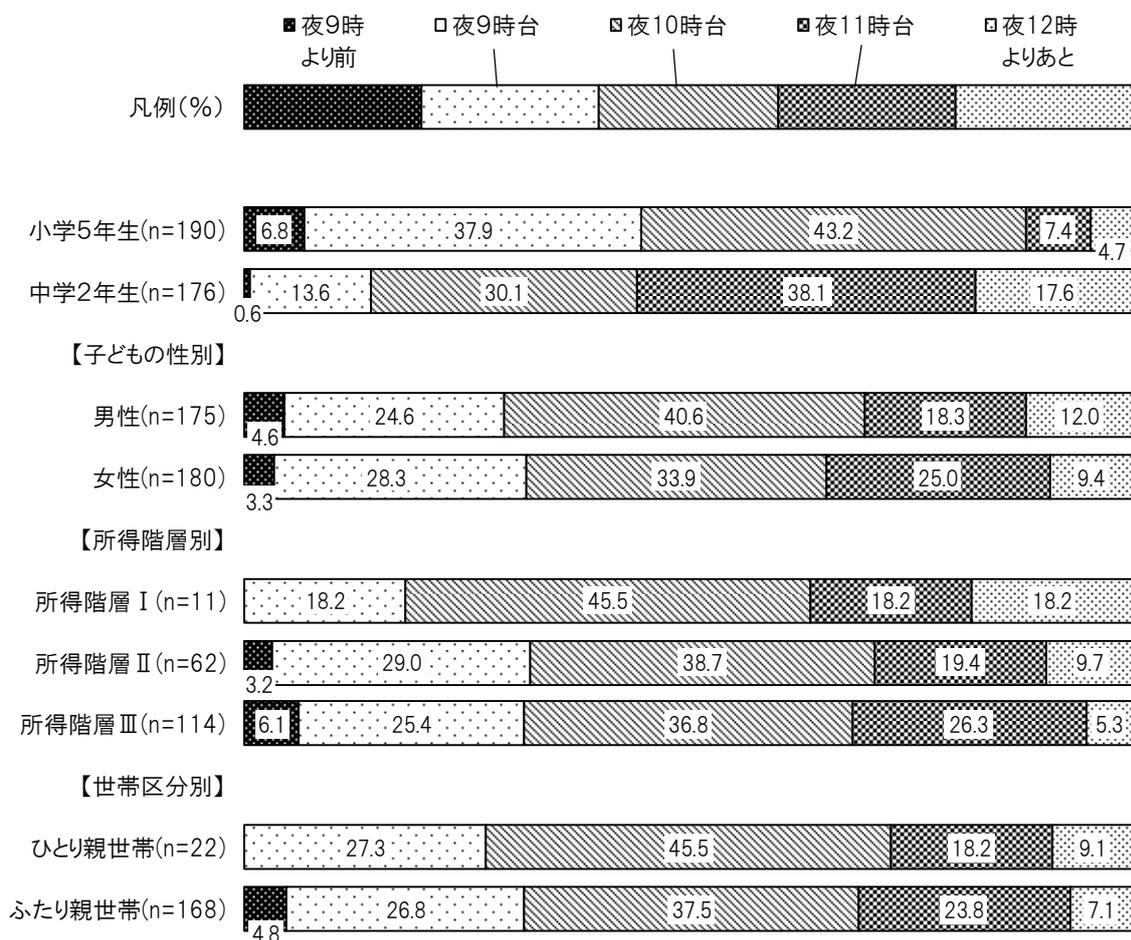
問 17 あなたは、平日（学校がある日）の夜は何時ごろに寝ますか。（回答は1つ）

平日の就寝時間について、小学5年生では「夜10時台」の割合が最も高く、次いで「夜9時台」が続いている。中学2年生では「夜11時台」の割合が最も高く、次いで「夜10時台」「夜12時よりあと」が続いている。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「夜10時台」の割合が高く、女性は「夜11時台」の割合が男性を上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「夜10時台」「夜12時よりあと」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「夜10時台」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「夜11時台」の割合が高くなっている。



17 スマートフォン等の使用時間

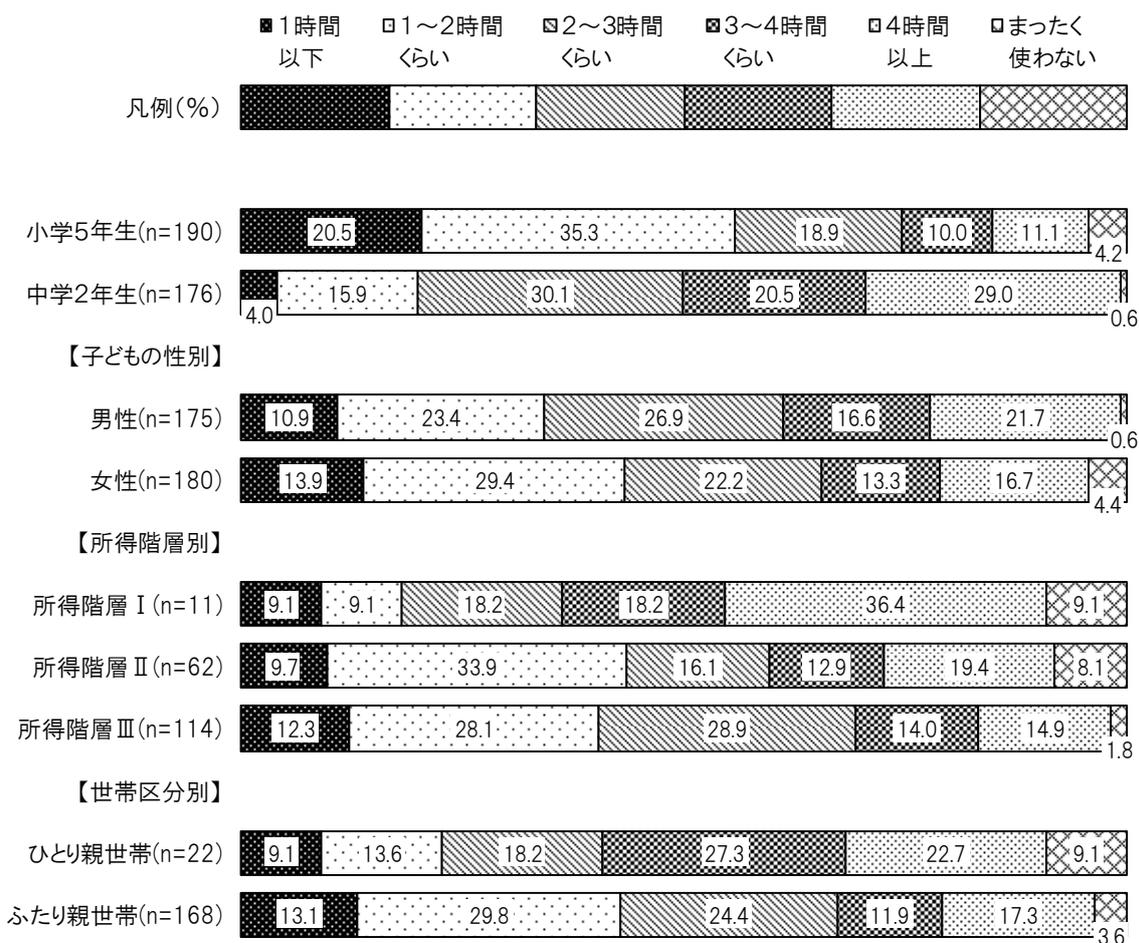
問 18 あなたは、平日（学校がある日）に、どのくらいスマートフォンやタブレット、ゲーム機を使いますか。SNSやゲーム、電話など全ての使用を含みます。（ただし、学校の授業や宿題での使用は含みません。）（回答は1つ）

スマートフォン等の使用時間について、小学5年生では「1～2時間くらい」の割合が最も高く、次いで「1時間以下」「2～3時間くらい」が続いている。中学2年生では「2～3時間くらい」の割合が最も高く、次いで「4時間以上」「3～4時間くらい」が続いている。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「2～3時間くらい」「4時間以上」の割合が高く、女性は「1～2時間くらい」の割合が男性を上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「4時間以上」、所得階層Ⅲで「2～3時間くらい」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「3～4時間くらい」「4時間以上」の割合が高く、ふたり親世帯では「1～2時間くらい」の割合が高くなっている。



18 家事の手伝いをする頻度

問 19 あなたは、ふだん、家事の手伝いをどのくらいしていますか。（回答は1つ）
 ※ 「家事」とは、食事のしたくや洗たく、そうじなどのほか、きょうだいや祖父、祖母などお年寄りの世話なども含みます。

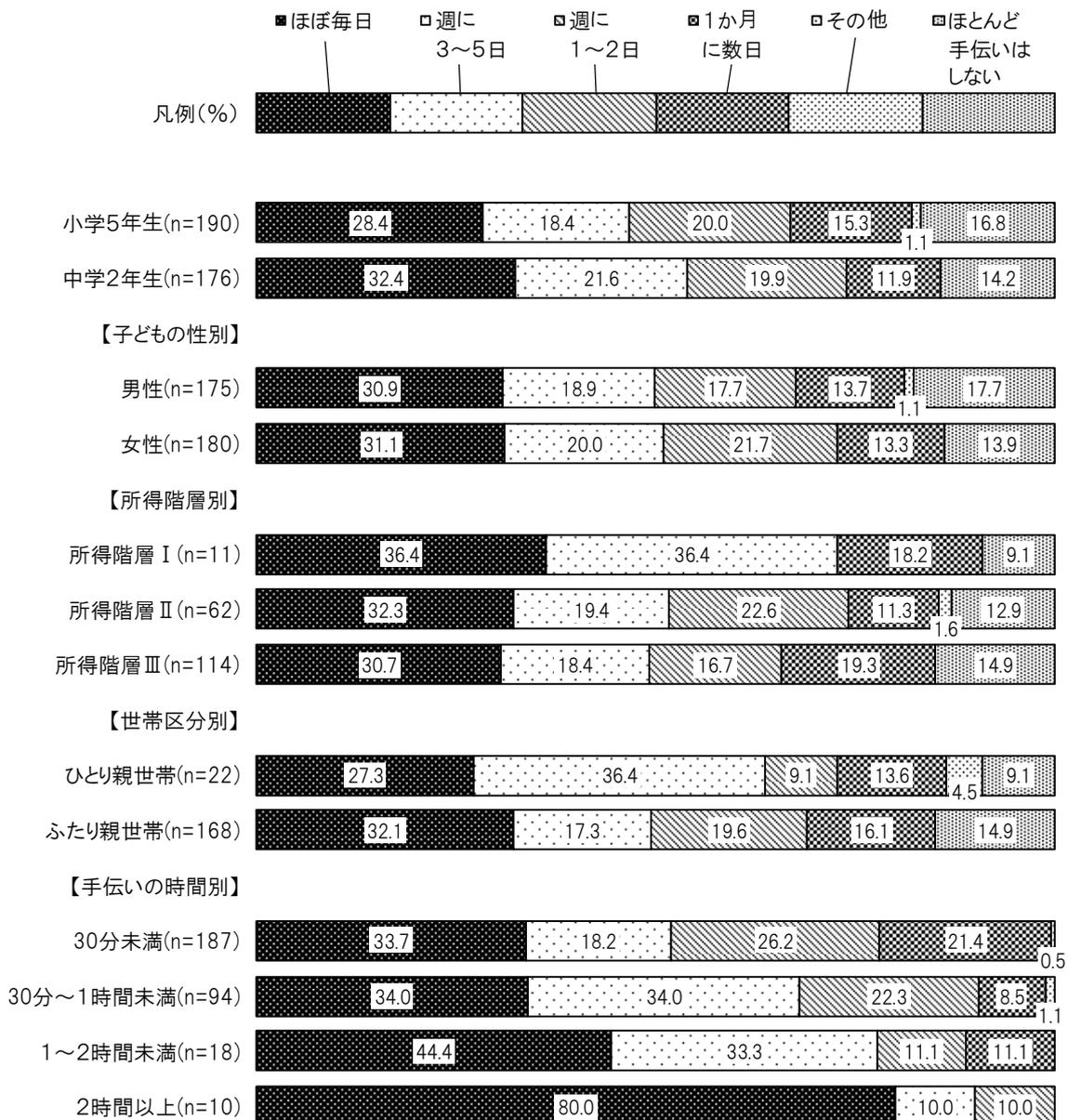
家事の手伝いをする頻度については、小学5年生、中学2年生共に約3割が「ほぼ毎日」と回答しており、1割程度が「ほとんど手伝いはしない」と回答している。

子どもの性別では、女性は男性に比べて「週に1～2日」の割合がやや高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「週に3～5日」の割合が他の階層を大きく上回っている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「週に3～5日」の割合が高くなっている。

手伝いの時間別（小中学生票問 20）では、2時間以上と回答した層で「ほぼ毎日」の割合が他の層を大きく上回っている。



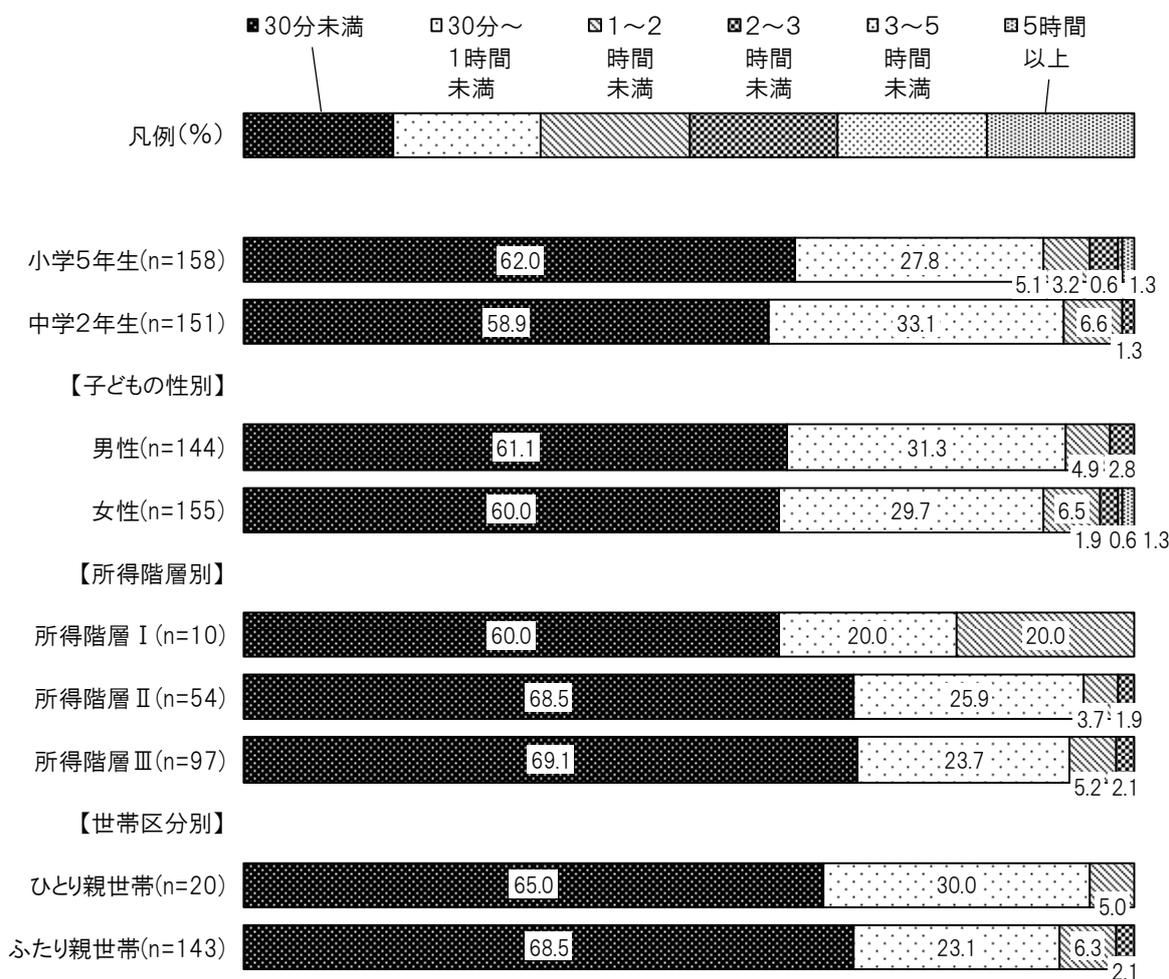
19 1日あたりの家事の手伝いをする時間

【問19で「1～5（手伝いをしている）」と答えた方におたずねします。】
 問20 あなたは、ふだん、家事の手伝いを1日にどのくらいしていますか。
 （回答は1つ）

1日あたりの家事の手伝いをする時間については、小学5年生、中学2年生共に「30分未満」が約6割、「30分～1時間未満」が約3割、『1時間以上（合計）』が1割程度となっている。

子どもの性別では大きな差はみられないが、所得階層別では所得階層Ⅰで「1～2時間未満」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「30分～1時間未満」の割合が高くなっている。



20 家事の手伝いをするに対する思い

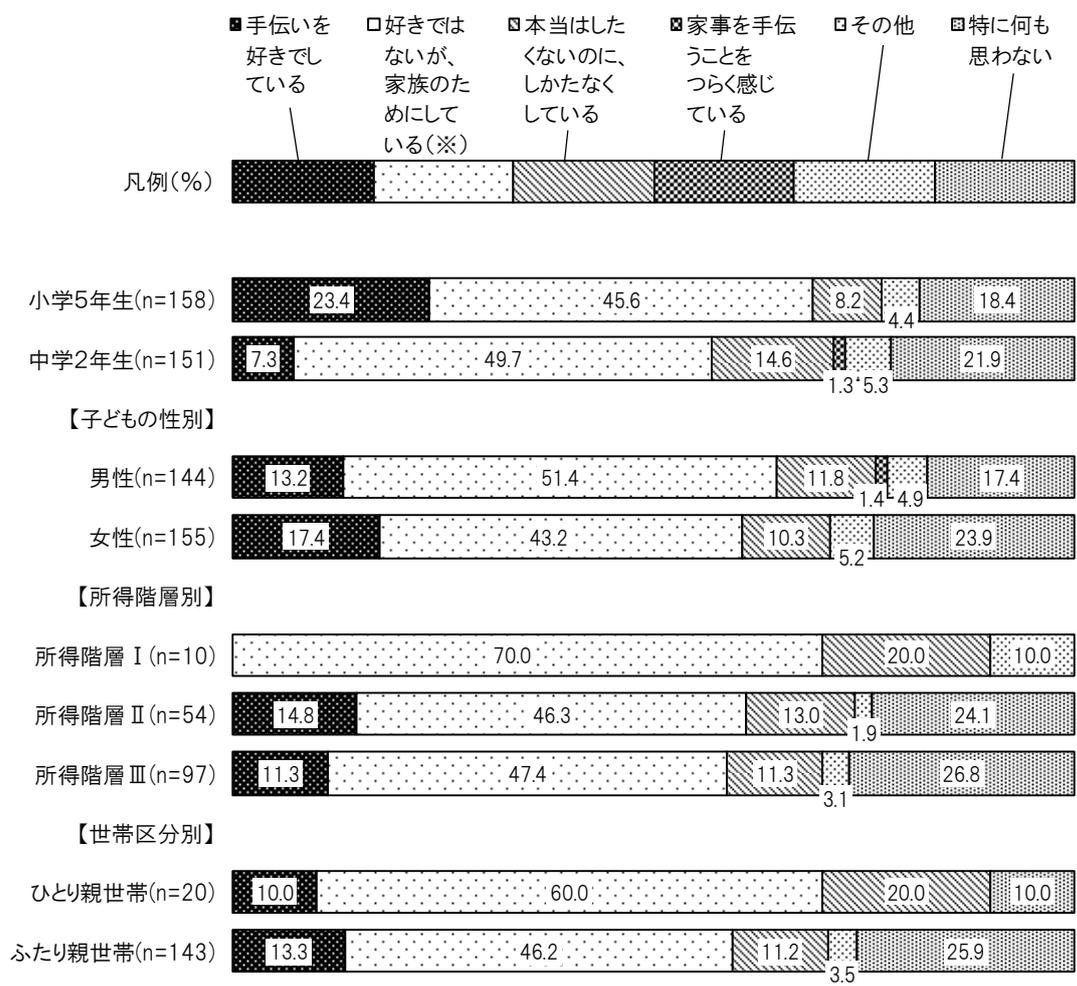
【問19で「1～5（手伝いをしている）」と答えた方におたずねします。】
 問21 あなたは、自分が家事の手伝いをしていることについて、どのように思っていますか。あなたの思いに最も近いものを選んでください。（回答は1つ）

家事の手伝いをするに対する思いについては、小学5年生、中学2年生共に「手伝いをするのは好きではないが、家族のためにがんばっている」の割合が半数近くを占めている。また、小学5年生は中学2年生に比べて「手伝いを好きでしている」の割合が高く、中学2年生は小学5年生に比べて「本当はしたくないのに、しかたなくしている」の割合が高くなっている。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「手伝いをするのは好きではないが、家族のためにがんばっている」の割合が高く、女性は「特に何も思わない」の割合が男性を上回っている。

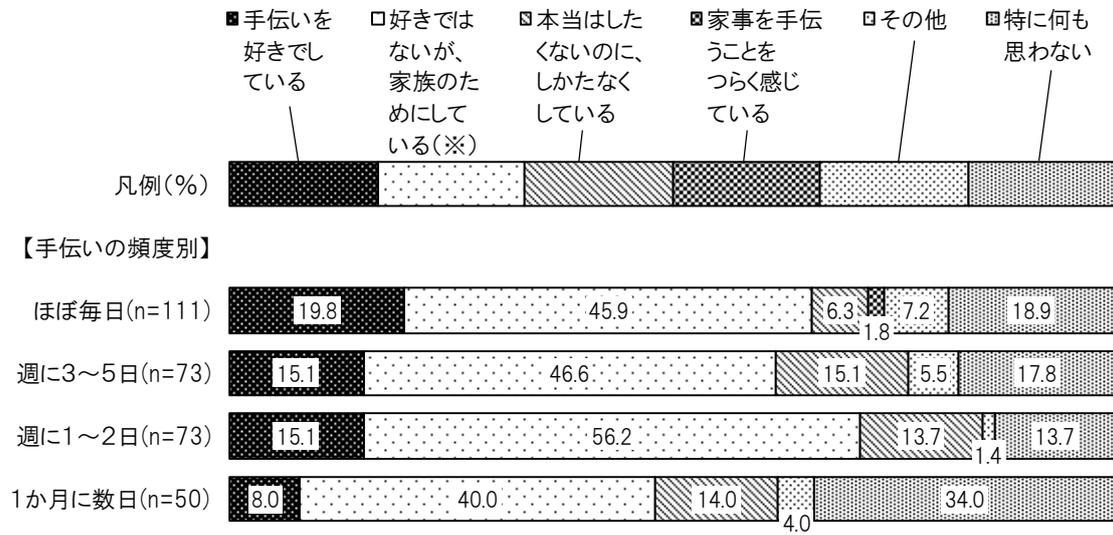
所得階層別では、所得階層Ⅰで「手伝いをするのは好きではないが、家族のためにがんばっている」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「手伝いをするのは好きではないが、家族のためにがんばっている」「本当はしたくないのに、しかたなくしている」の割合が高くなっている。



※ 手伝いをするのは好きではないが、家族のためにがんばっている

手伝いの頻度別では、ほぼ毎日と回答した層で「手伝いを好きでしている」の割合が他の層に比べて高くなっている。



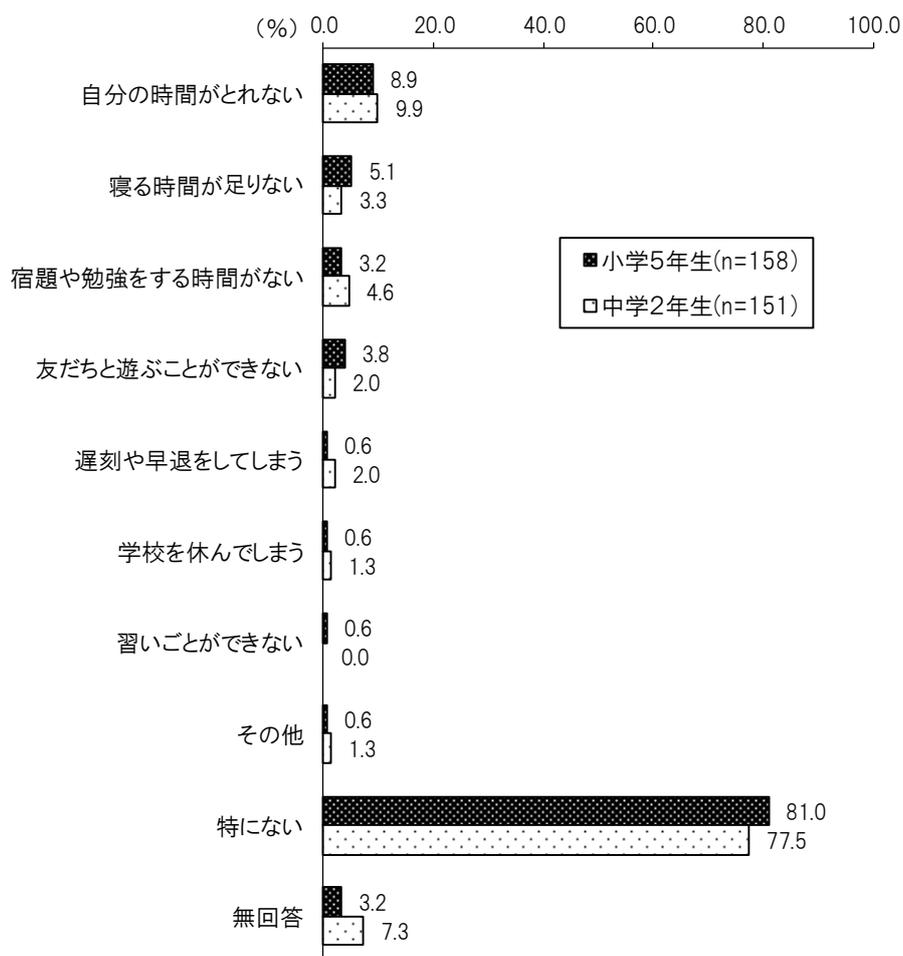
※ 手伝いをすることは好きではないが、家族のためにがんばっている

21 家事の手伝いをすることで起きる問題

【問19で「1～5（手伝いをしている）」と答えた方におたずねします。】

問22 あなたは、自分が家事の手伝いをしていることで、次のような経験をしたことはありますか。（回答はあてはまるもの全て）

家事の手伝いをすることで起きる問題については、小学5年生、中学2年生共に、約8割が「特にない」と回答しているが、起きる問題としては「自分の時間がとれない」「寝る時間が足りない」「宿題や勉強をする時間がない」などが上位に回答されている。



手伝いの時間別では、手伝いの時間が長くなるほど「自分の時間がとれない」の割合が高くなっている。

単位 (%)	自分の時間がとれない	寝る時間が足りない	宿題や勉強をする時間が少ない	友達と遊ぶことができない	遅刻や早退をしてしまう	学校を休んでしまう	習いごとができない	その他	特にない
小学5年生(n=158)	8.9	5.1	3.2	3.8	0.6	0.6	0.6	0.6	81.0
中学2年生(n=151)	9.9	3.3	4.6	2.0	2.0	1.3	0.0	1.3	77.5
【手伝いの時間別】									
30分未満(n=187)	7.5	3.2	2.7	1.6	1.6	1.1	0.0	0.5	85.6
30分～1時間未満(n=94)	8.5	5.3	4.3	5.3	0.0	1.1	1.1	2.1	75.5
1～2時間未満(n=18)	22.2	11.1	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	55.6
2時間以上(n=10)	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

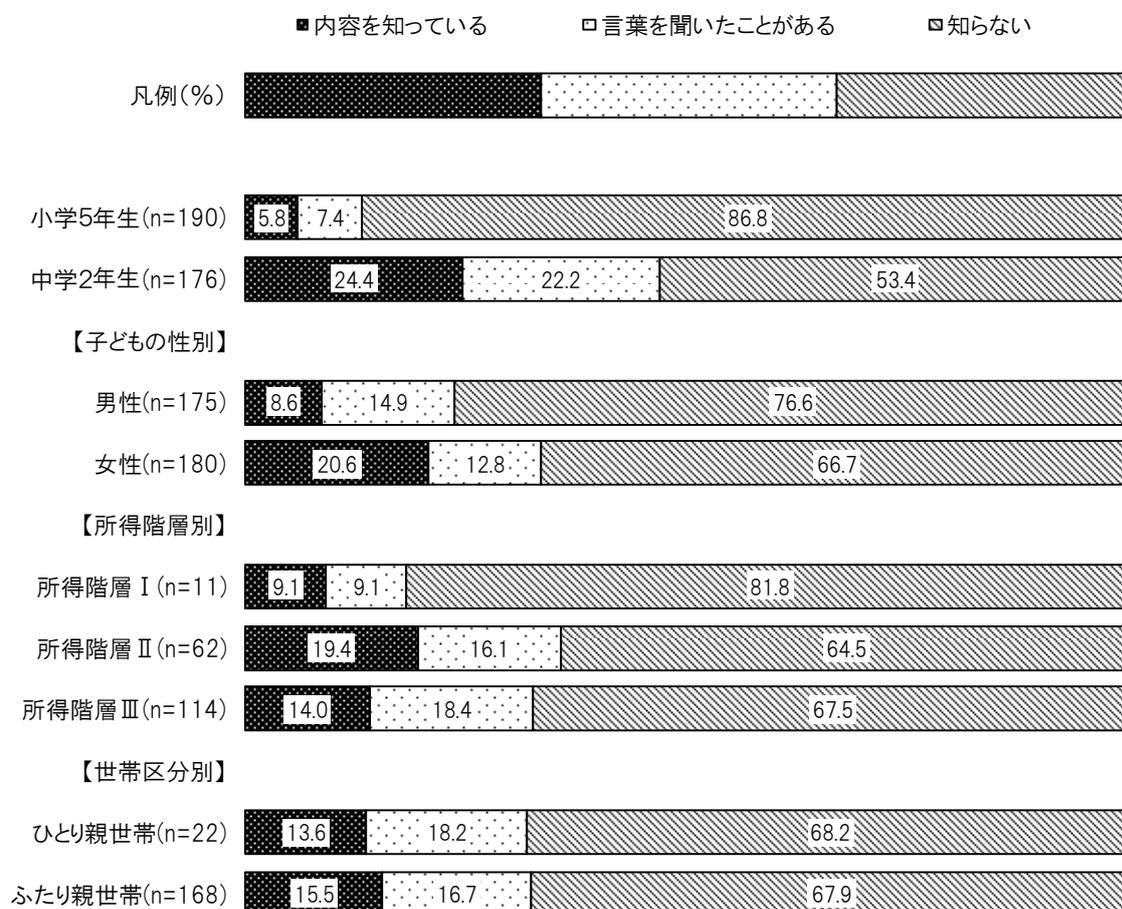
22 ヤングケアラーの認知状況

問 23 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（回答は1つ）

ヤングケアラーの認知状況について、「知らない」の割合は小学5年生で86.8%、中学2年生で53.4%となっている。また、中学2年生のおよそ4人に1人（24.4%）が「内容を知っている」と回答している。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「知らない」の割合が高く、女性は「内容を知っている」の割合が男性を大きく上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「知らない」の割合が他の階層に比べて高くなっている。世帯区分別では、大きな差はみられない。



23 自身のヤングケアラー該当状況

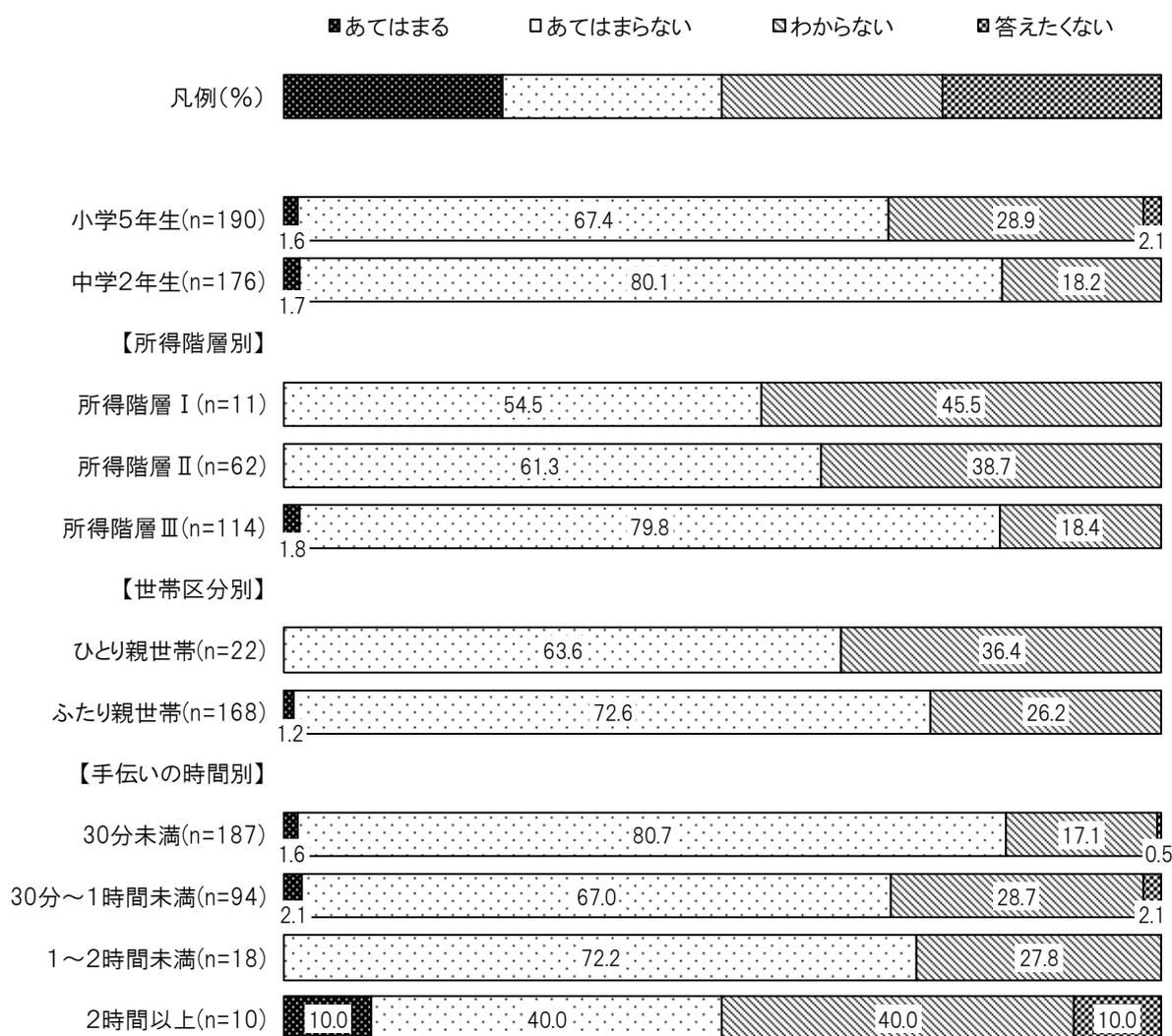
問 24 あなたは、自分のことが「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。
(回答は1つ)

自身のヤングケアラー該当状況について、小学5年生、中学2年生共に「あてはまる」への回答は僅かである。また、小学5年生の約3割(28.9%)が「わからない」と回答しているものの、大半が「あてはまらない」と回答している。

所得階層別では、所得階層が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「わからない」の割合が高くなっている。

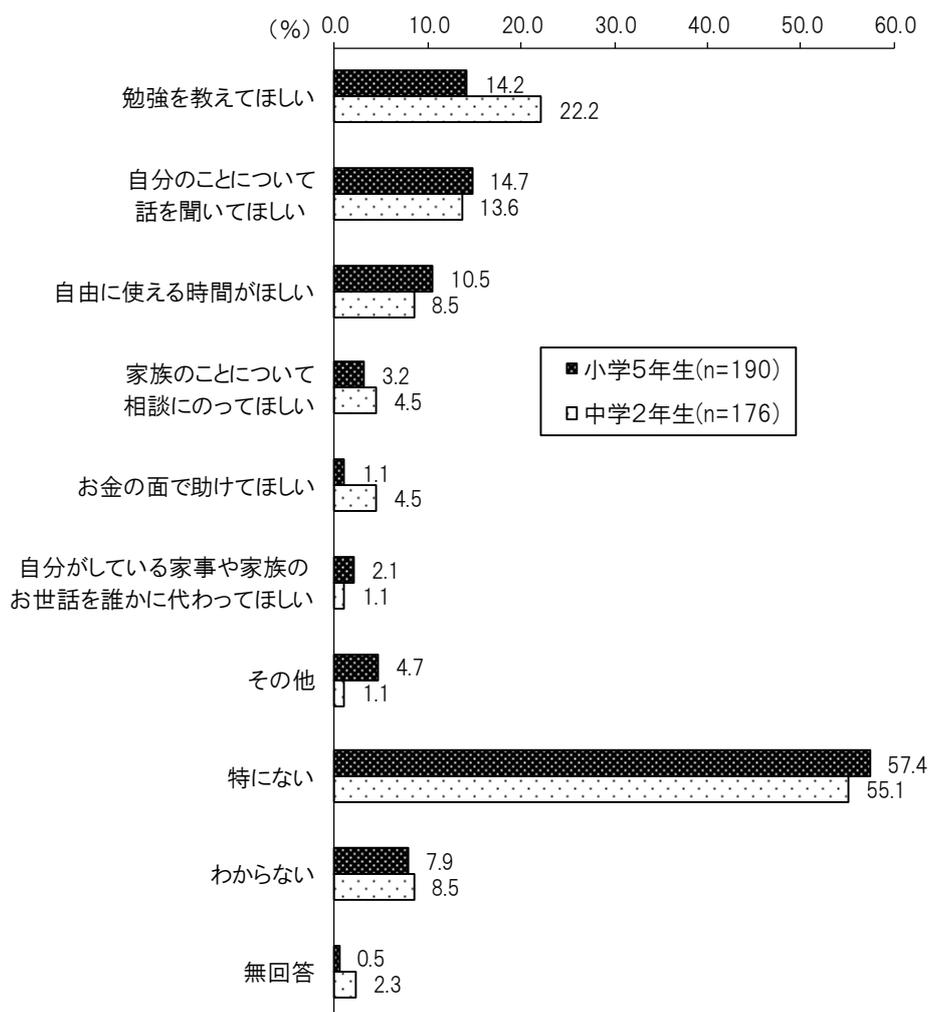
手伝いの時間別では、2時間以上と回答した層で「あてはまる」「わからない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



24 学校や大人に助けてほしいこと

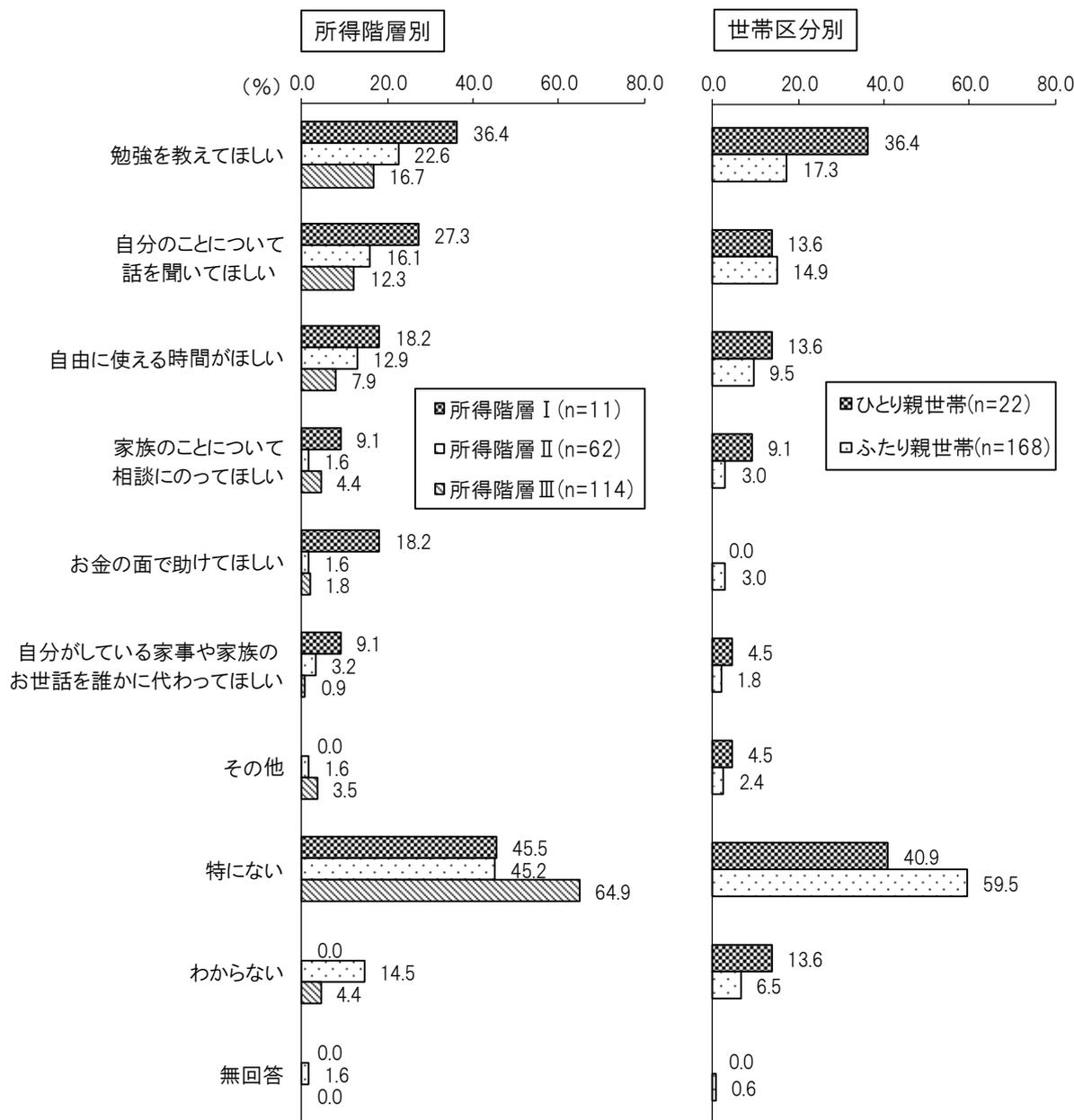
問 25 あなたが、学校やまわりの大人に助けてほしいことはありますか。
 (回答はあてはまるもの全て)

学校や大人に助けてほしいことについては、小学5年生、中学2年生共に6割近くが「特
 にない」と回答しているが、助けてほしいことでは「勉強を教えてほしい」「自分のこと
 について話を聞いてほしい」「自由に使える時間がほしい」が上位に回答されている。特
 に、中学2年生は小学5年生に比べて「勉強を教えてほしい」の割合が高くなっている。



所得階層別では、所得階層Ⅰで「勉強を教えてほしい」「自分のことについて話を聞いてほしい」「お金の面で助けてほしい」、所得階層Ⅲで「特にない」の割合がそれぞれ他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「勉強を教えてほしい」「家族のことについて相談にのってほしい」の割合が高くなっている。



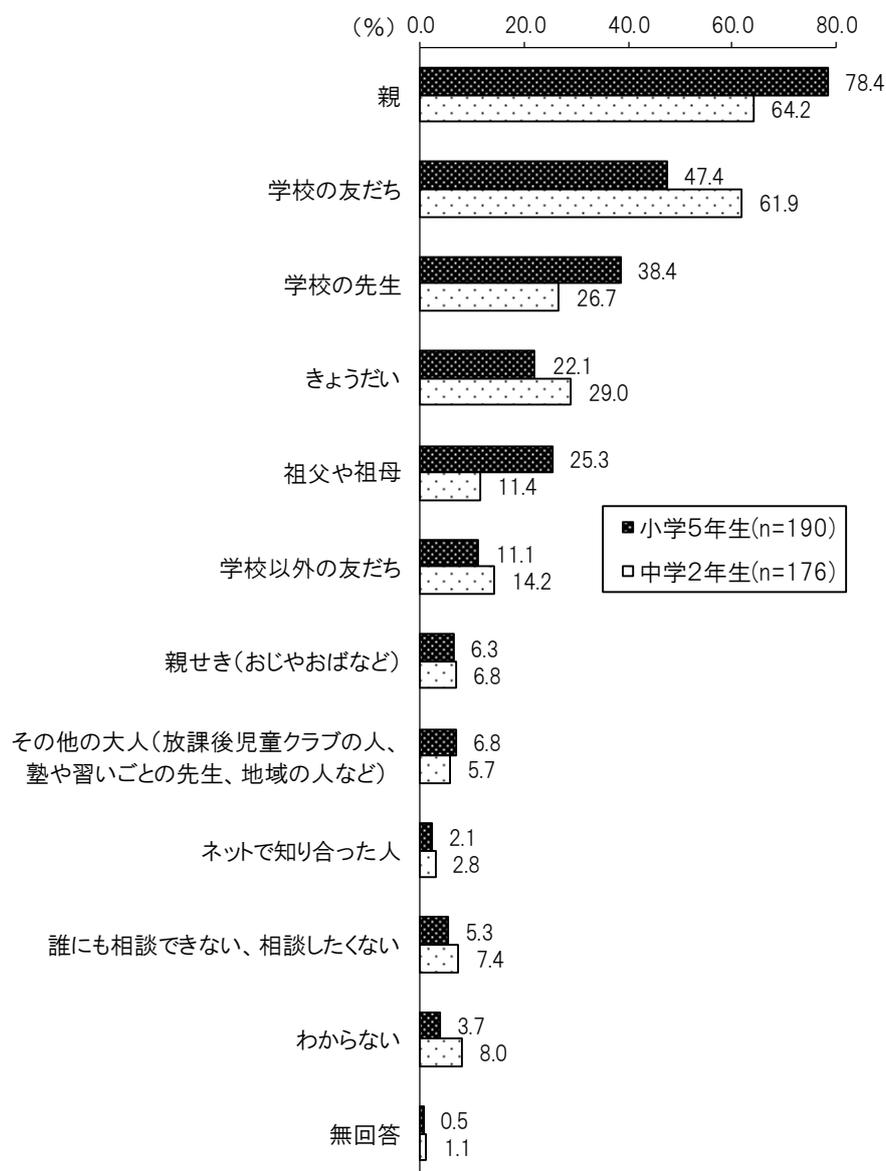
手伝いの時間別では、1～2時間未満と回答した層で「お金の面で助けてほしい」、2時間以上と回答した層で「家族のことについて相談にのってほしい」「自分がしている家事や家族のお世話を誰かに代わってほしい」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	勉強を教えてほしい	自分のことについて話を聞いてほしい	自由に使える時間がほしい	家族のことについて相談にのってほしい	お金の面で助けてほしい	お世話を誰かに代わってほしい	自分がしている家事や家族の	その他	特にない	わからない
小学5年生(n=190)	14.2	14.7	10.5	3.2	1.1	2.1	4.7	57.4	7.9	
中学2年生(n=176)	22.2	13.6	8.5	4.5	4.5	1.1	1.1	55.1	8.5	
【手伝いの時間別】										
30分未満(n=187)	20.3	10.7	9.6	1.1	2.1	1.1	2.1	59.4	7.5	
30分～1時間未満(n=94)	17.0	20.2	6.4	6.4	2.1	3.2	4.3	53.2	7.4	
1～2時間未満(n=18)	16.7	16.7	11.1	5.6	16.7	0.0	5.6	50.0	0.0	
2時間以上(n=10)	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	50.0	0.0	

25 困っていることや悩みごとの相談先

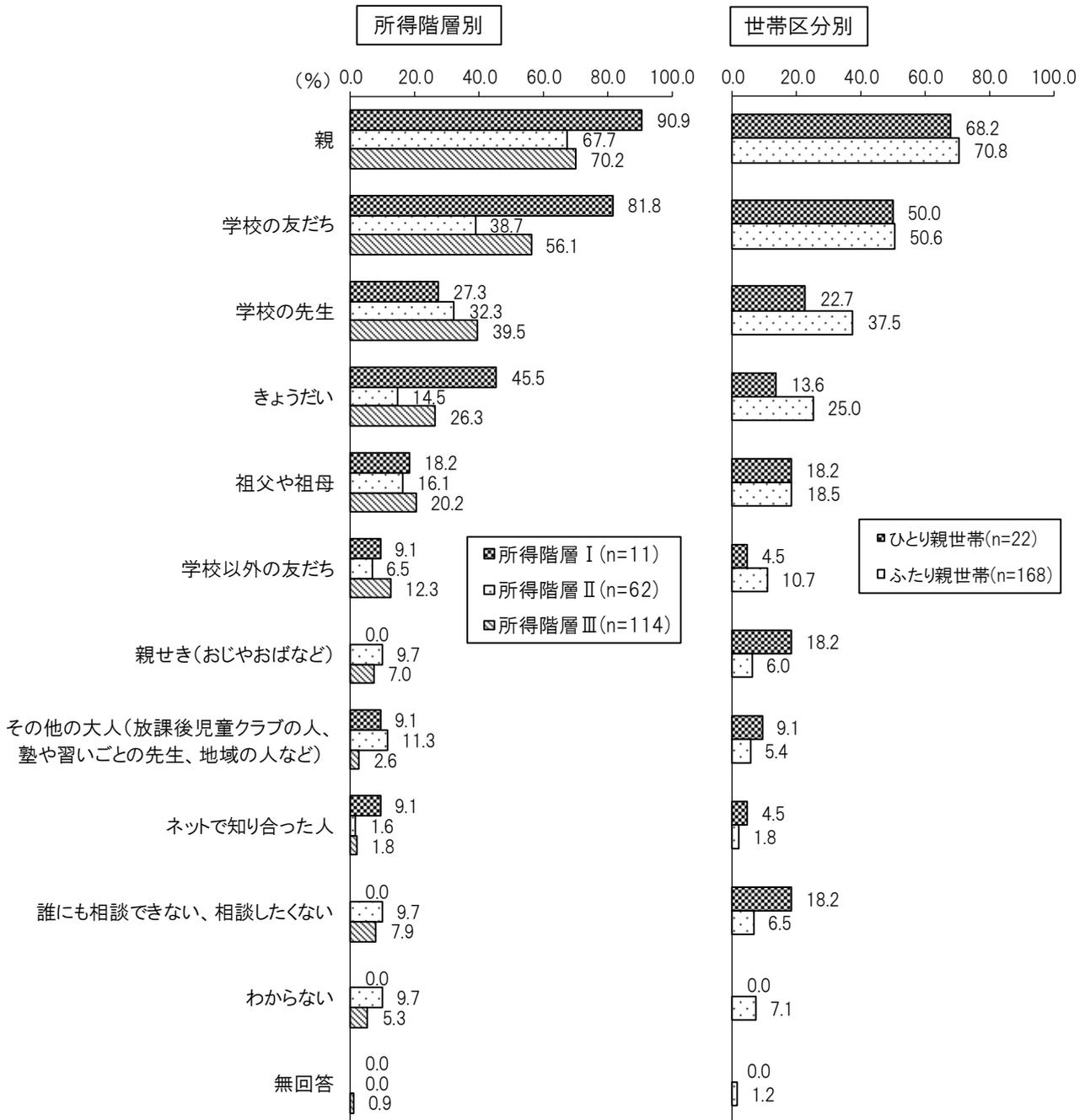
問 26 あなたに、困っていること、悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。（回答はあてはまるもの全て）

困っていることや悩みごとの相談先については、小学5年生、中学2年生共に「親」の割合が最も高く、次いで「学校の友だち」「学校の先生」「きょうだい」などが上位に回答されている。小学5年生は中学2年生に比べて「親」「学校の先生」「祖父や祖母」の割合が高く、中学2年生は小学5年生に比べて「学校の友だち」「きょうだい」の割合が高くなっている。



所得階層別では、所得階層Ⅰで「親」「学校の友だち」「きょうだい」の割合が他の階層に比べて高く、所得階層が高いほど「学校の先生」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「親せき（おじやおばなど）」「誰にも相談できない、相談したくない」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「学校の先生」「きょうだい」の割合が高くなっている。



手伝いの時間別では、1～2時間未満と回答した層で「きょうだい」「学校以外の友だち」、2時間以上で「親」「祖父や祖母」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

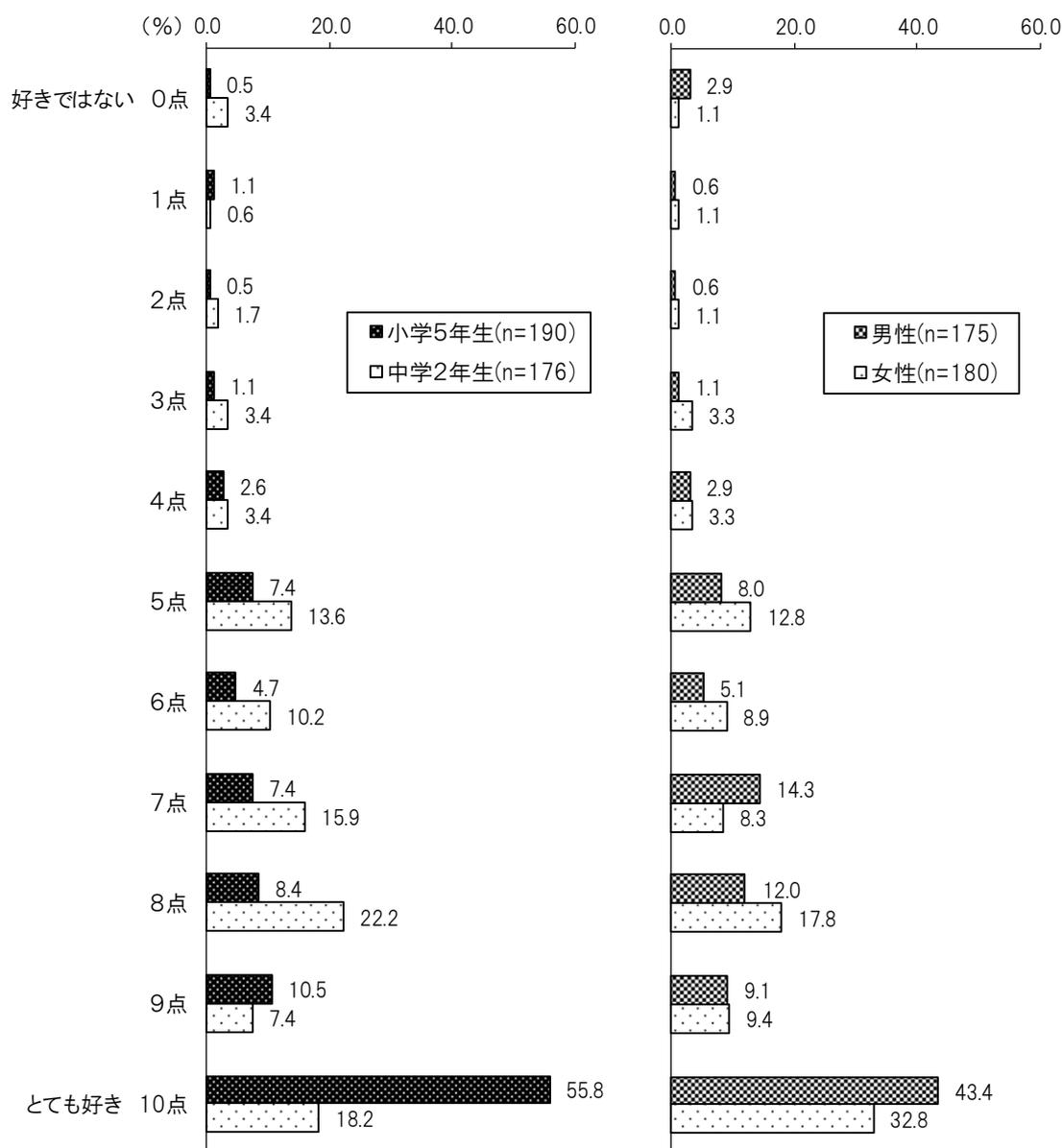
単位 (%)	親	学校の友だち	学校の先生	きょうだい	祖父や祖母	学校以外の友だち	親せき（おじやおばなど）	クラブの人、塾や習いごとの先生、地域の人もなど	その他の大人（放課後児童）	ネットで知り合った人	誰にも相談できない、相談したくない	わからない
小学5年生(n=190)	78.4	47.4	38.4	22.1	25.3	11.1	6.3	6.8	2.1	5.3	3.7	
中学2年生(n=176)	64.2	61.9	26.7	29.0	11.4	14.2	6.8	5.7	2.8	7.4	8.0	
【手伝いの時間別】												
30分未満(n=187)	74.3	54.5	36.4	26.7	15.5	10.2	6.4	5.9	3.2	5.3	5.9	
30分～1時間未満(n=94)	71.3	54.3	31.9	27.7	21.3	12.8	7.4	8.5	2.1	6.4	4.3	
1～2時間未満(n=18)	66.7	61.1	33.3	44.4	22.2	33.3	11.1	5.6	0.0	11.1	0.0	
2時間以上(n=10)	80.0	60.0	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	

26 玉野市への愛着度

問 27 あなたは、玉野市のことが好きですか。「とても好き」を10点、「好きではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（回答は1つ）

玉野市への愛着度について、小学5年生では「10点」が半数以上（55.8%）と最も高くなっている。中学2年生では「8点」の割合が最も高く、次いで「10点」「7点」となっている。平均点数は、小学5年生で8.5点、中学2年生で6.9点となっている。

性別では、男性は女性に比べて「7点」「10点」の割合が高く、女性は「5点」「6点」「8点」の割合が男性を上回っている。

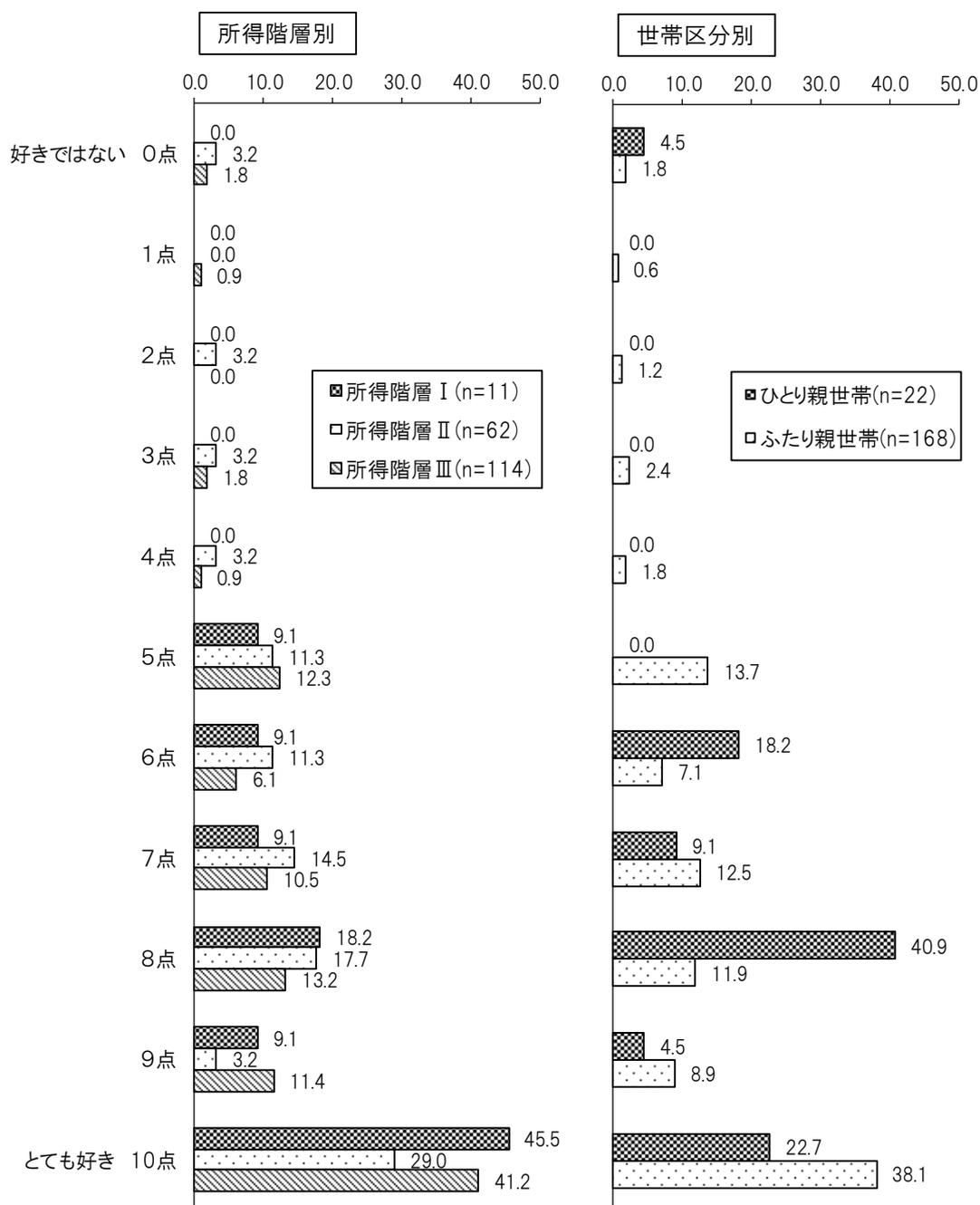


	平均(点)
小学5年生(n=190)	8.5
中学2年生(n=176)	6.9

	平均(点)
男性(n=175)	8.0
女性(n=180)	7.6

所得階層別では、所得階層ⅠやⅢで「10点」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「6点」「8点」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「5点」「10点」の割合が高くなっている。



所得階層別	平均(点)
所得階層Ⅰ (n=11)	8.5
所得階層Ⅱ (n=62)	7.2
所得階層Ⅲ (n=114)	8.0

世帯区分別	平均(点)
ひとり親世帯 (n=22)	7.7
ふたり親世帯 (n=168)	7.7

27 Uターン希望

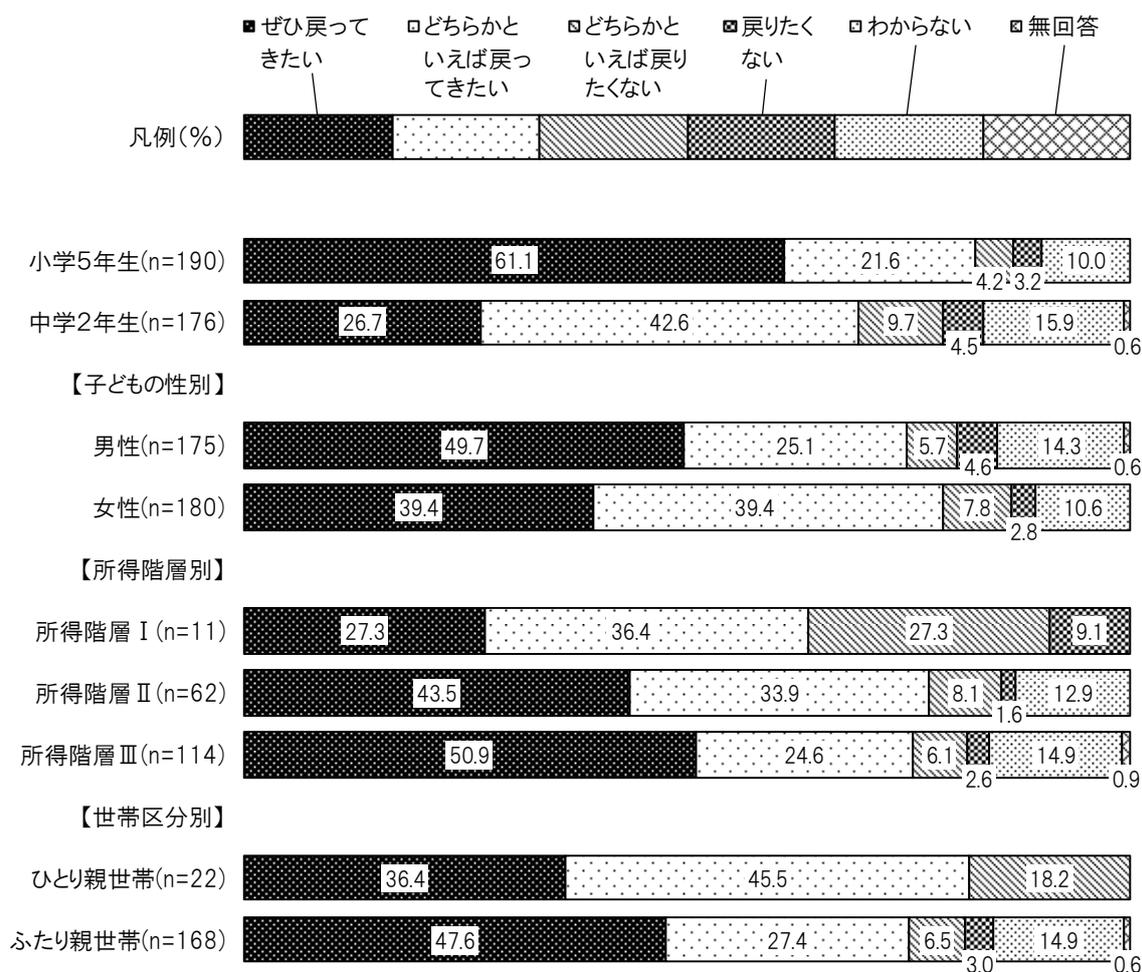
問 28 あなたは、将来、進学や就職で玉野市を出ることになった場合、また玉野市に戻ってきたいと思いますか。（回答は1つ）

Uターン希望について、『戻ってきたい』（「ぜひ戻ってきたい」「どちらかといえば戻ってきたい」の合計）の割合は、小学5年生で82.7%、中学2年生で69.3%となっている。一方、『戻りたくない』（「戻りたくない」「どちらかといえば戻りたくない」の合計）は1割程度となっている。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「ぜひ戻ってきたい」の割合が高くなっている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで『戻りたくない（合計）』の割合が他の階層を大きく上回っている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「どちらかといえば戻りたくない」の割合が高くなっている。

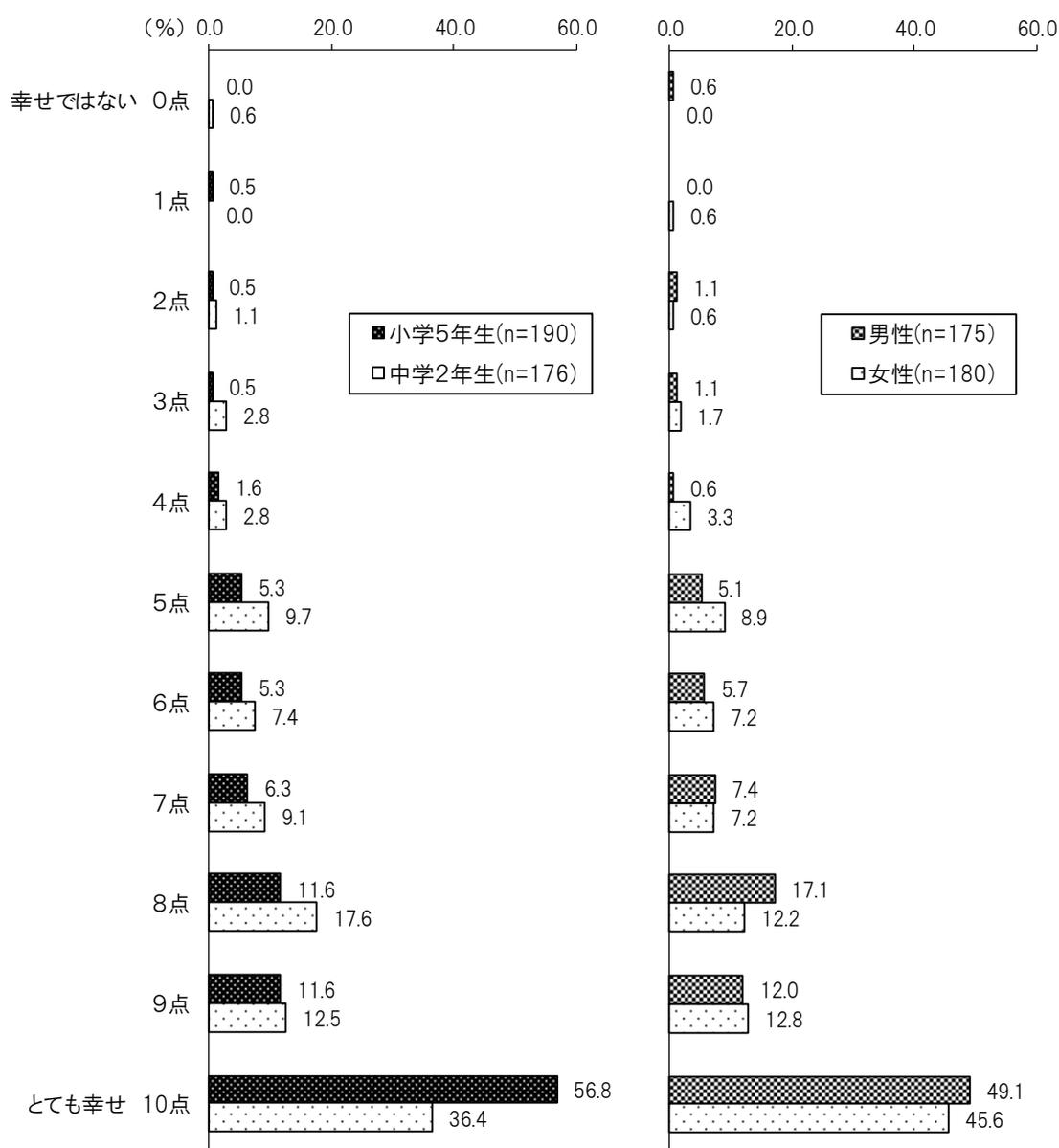


28 幸福度

問 29 あなたは、今の暮らしを、どの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「幸せではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
(回答は1つ)

幸福度については、小学5年生、中学2年生共に「10点」が最も高く、次いで「8点」「9点」の順となっている。平均点数は、小学5年生で8.8点、中学2年生で8.0点となっている。

性別では、男性は女性に比べて「8点」「10点」の割合が高く、女性は「5点」の割合が男性をやや上回っている。

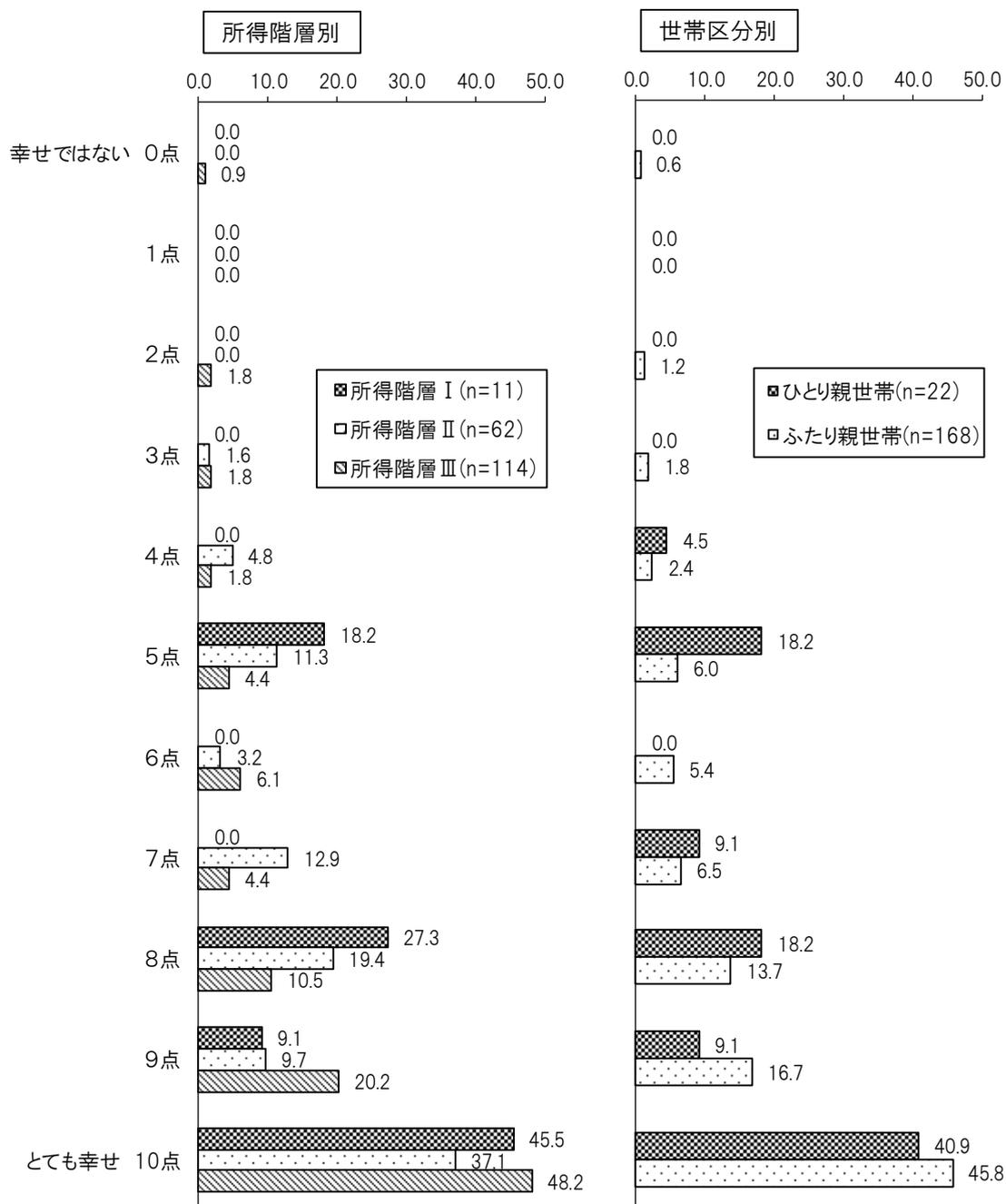


	平均(点)
小学5年生(n=190)	8.8
中学2年生(n=176)	8.0

	平均(点)
男性(n=175)	8.6
女性(n=180)	8.3

所得階層別では、所得階層が低いほど「5点」「8点」の割合が高く、所得階層Ⅲで「9点」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「5点」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「9点」の割合が高くなっている。



所得階層別	平均(点)
所得階層Ⅰ (n=11)	8.5
所得階層Ⅱ (n=62)	8.0
所得階層Ⅲ (n=114)	8.5

世帯区分別	平均(点)
ひとり親世帯 (n=22)	8.1
ふたり親世帯 (n=168)	8.4

29 将来の夢や目標の有無

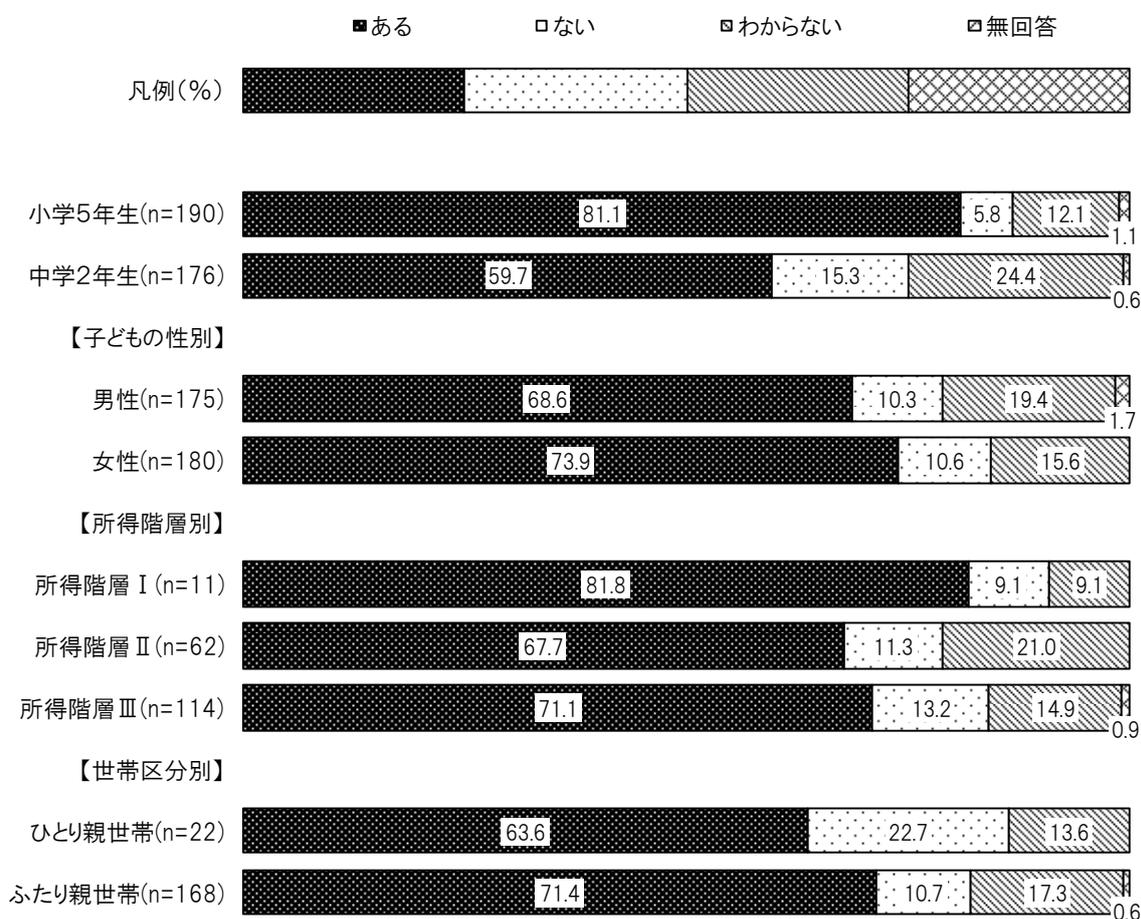
問 30 あなたは、将来の夢や目標を持っていますか。（回答は1つ）

将来の夢や目標の有無について、「ある」の割合は小学5年生で81.1%、中学2年生で59.7%となっている。また、中学2年生は小学5年生に比べて「ない」「わからない」の割合が高くなっている。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「わからない」の割合がやや高く、女性は「ある」の割合が男性を上回っている。

所得階層別では、所得階層Ⅰで「ある」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「ない」の割合が高くなっている。



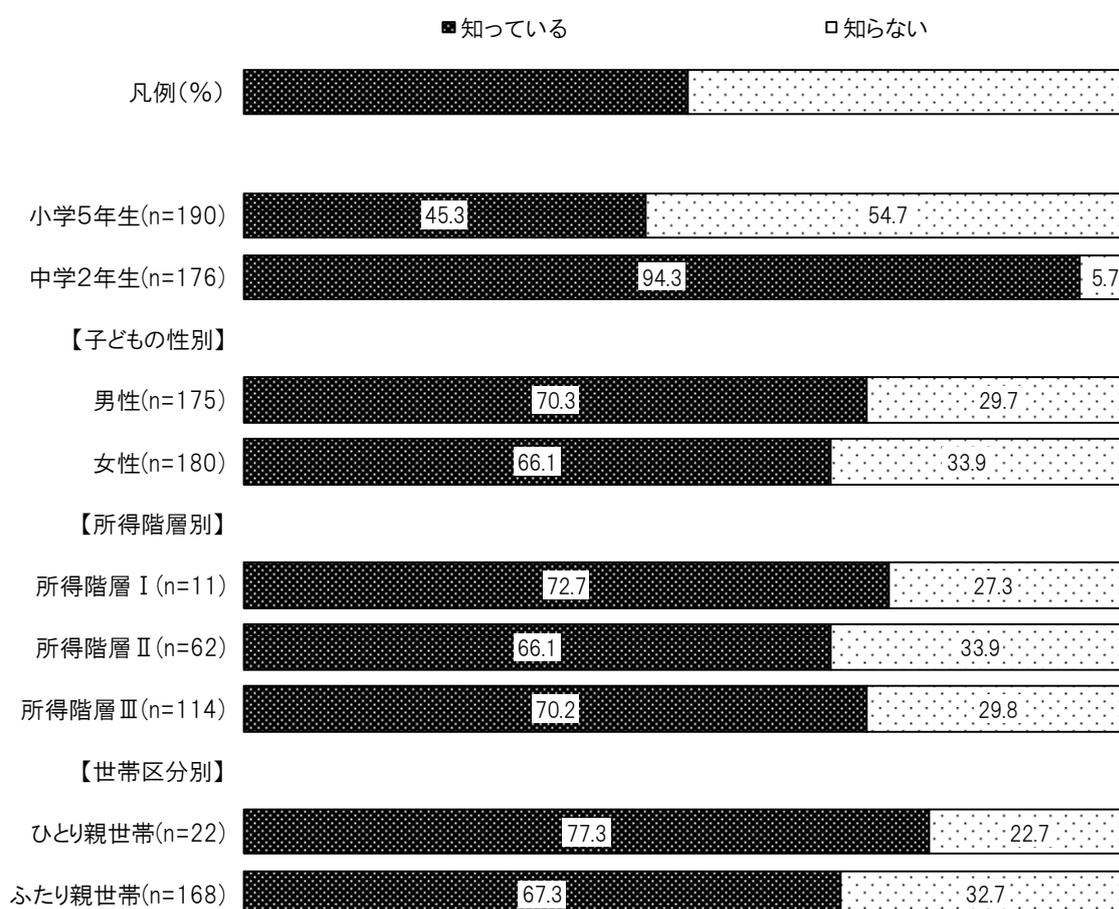
30 少子化の認知状況

問 31 現在、我が国では「少子化」が進んでいることを、あなたは知っていますか。
(回答は1つ)

少子化の認知状況について、「知っている」の割合は小学5年生で45.3%、中学2年生で94.3%となっており、小学5年生の半数以上(54.7%)が「知らない」と回答している。

子どもの性別では、男性は女性に比べて「知っている」の割合がやや高くなっている。所得階層別では、所得階層Ⅱで「知らない」の割合が他の階層に比べてやや高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「知っている」の割合が高くなっている。

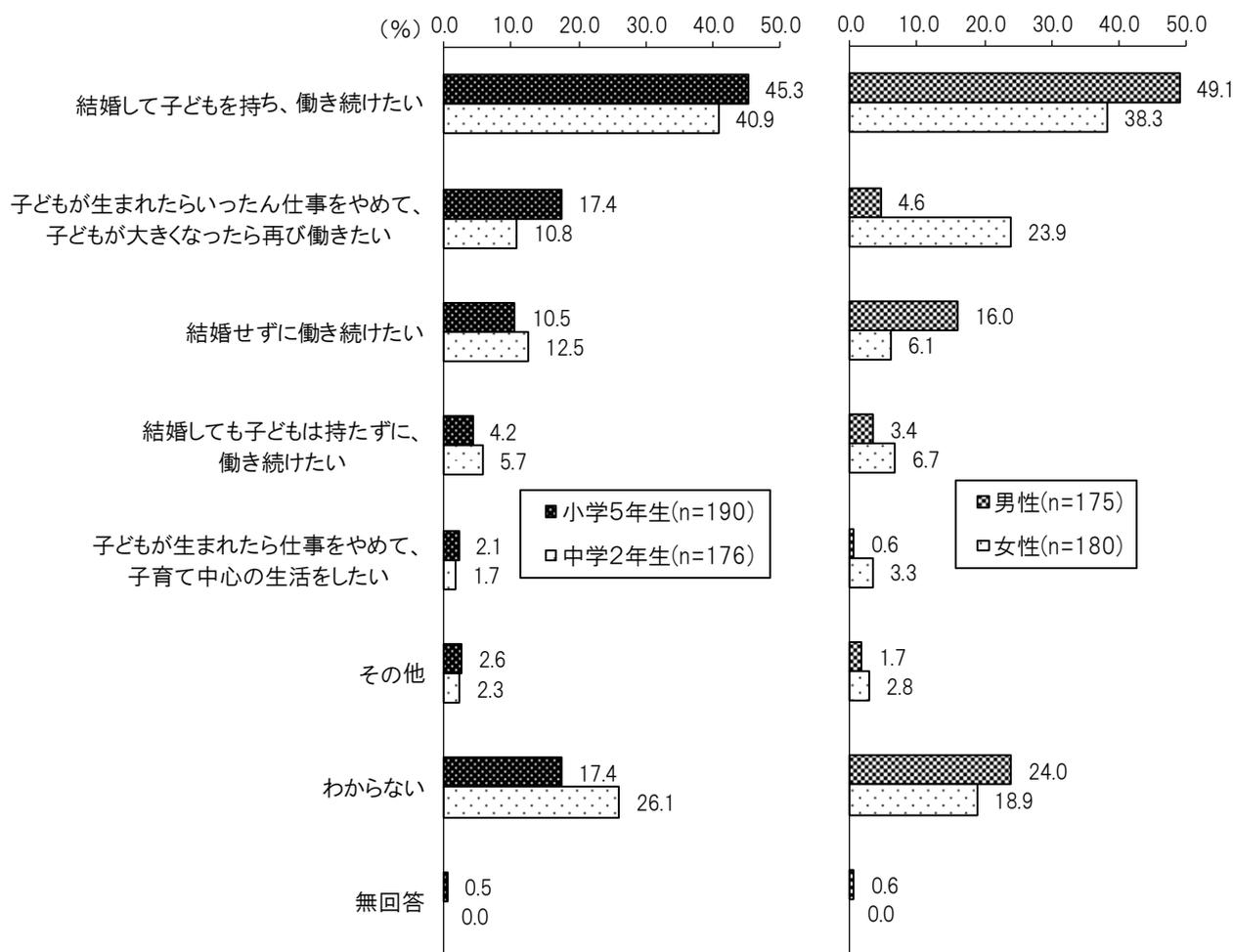


31 将来、希望する働き方

問 32 あなたは、自分が大人になったときの将来、働くことについて、どのような考えを持っていますか。（回答は1つ）

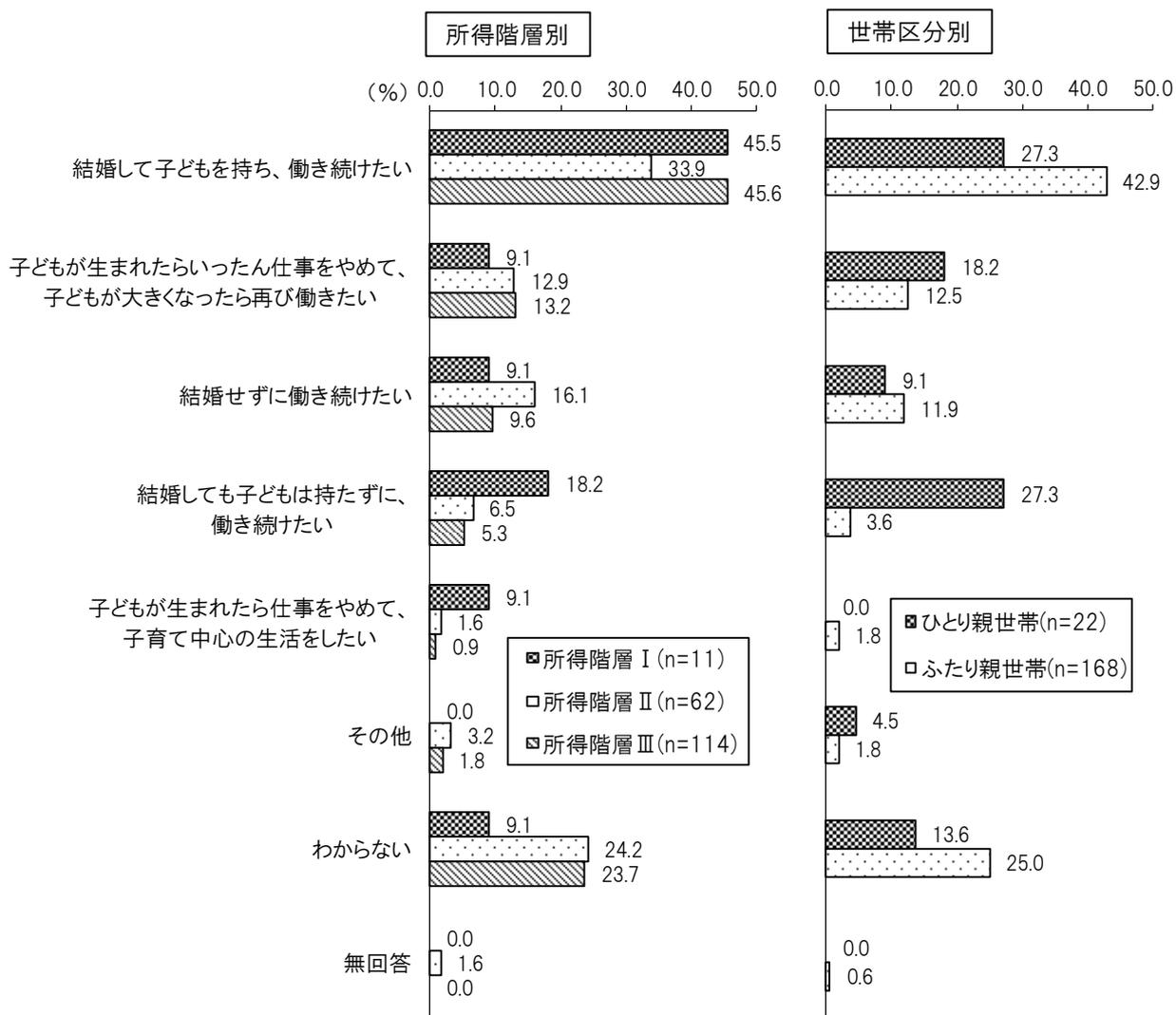
将来、希望する働き方については、小学5年生、中学2年生共に「結婚して子どもを持ち、働き続けたい」が4割以上と最も高くなっている。また、小学5年生は中学2年生に比べて「子どもが生まれたらいったん仕事をやめて、子どもが大きくなったら再び働きたい」の割合が高く、中学2年生は小学5年生に比べて「わからない」の割合が高くなっている。

性別では、男性は女性に比べて「結婚して子どもを持ち、働き続けたい」「結婚せずに働き続けたい」の割合が高く、女性は「子どもが生まれたらいったん仕事をやめて、子どもが大きくなったら再び働きたい」の割合が男性を大きく上回っている。



所得階層別では、所得階層Ⅰで「結婚しても子どもは持たずに、働きたい」「子どもが生まれたら仕事をやめて、子育て中心の生活をしたい」の割合が他の階層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「結婚しても子どもは持たずに、働きたい」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「結婚して子どもを持ち、働きたい」の割合が高くなっている。

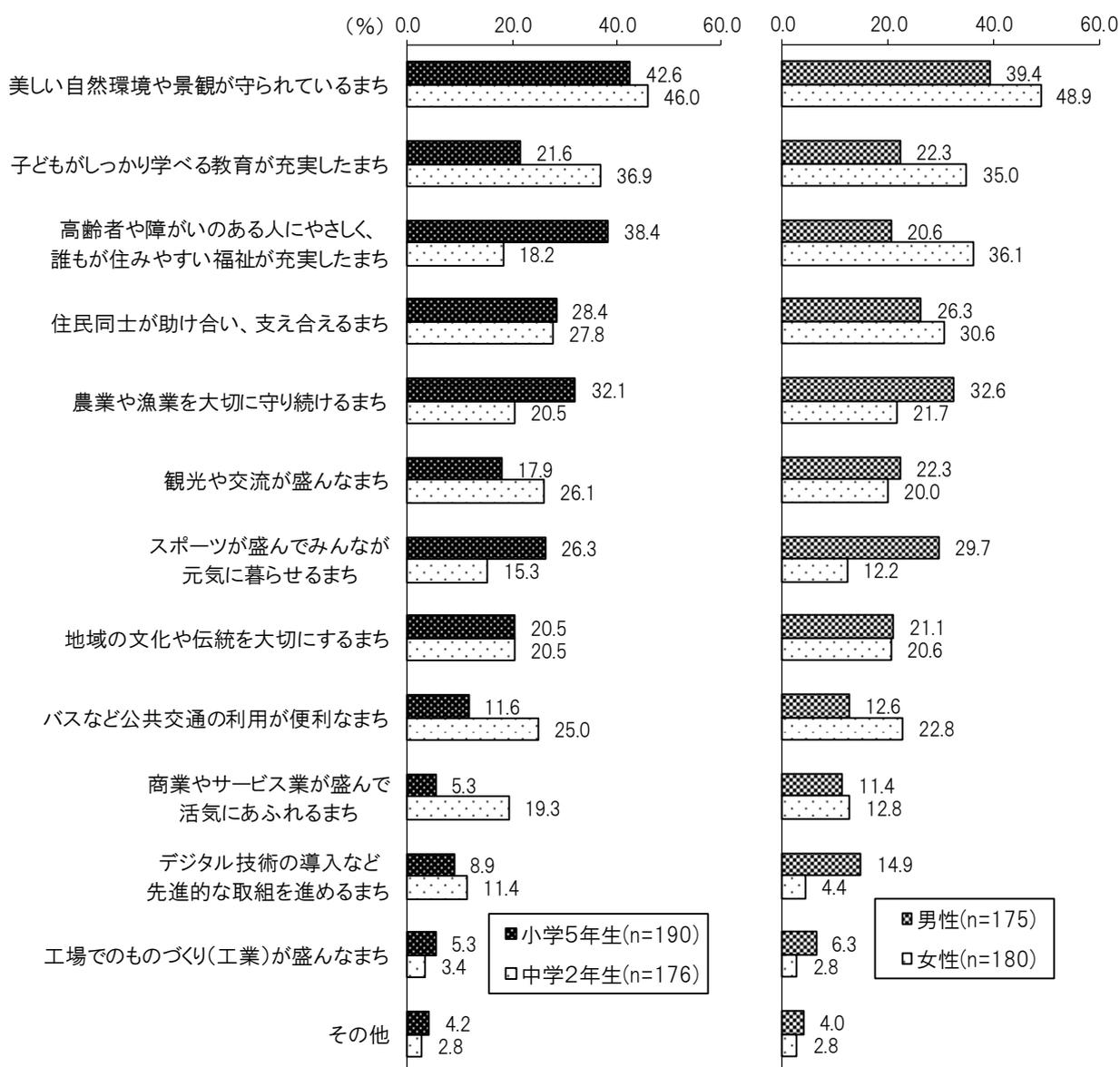


32 玉野市の将来像

問 33 あなたは、玉野市が将来どんなまちになってほしいと思いますか。
(回答は3つまで)

玉野市の将来像については、小学5年生、中学2年生共に「美しい自然環境や景観が守られているまち」の割合が最も高く、次いで小学5年生で「高齢者や障がいのある人にやさしく、誰もが住みやすい福祉が充実したまち」、中学2年生で「子どもがしっかり学べる教育が充実したまち」の割合が高くなっている。

性別では、男性は女性に比べて「スポーツが盛んでみんなが元気に暮らせるまち」の割合が高く、女性は「子どもがしっかり学べる教育が充実したまち」「高齢者や障がいのある人にやさしく、誰もが住みやすい福祉が充実したまち」などの割合が男性を上回っている。

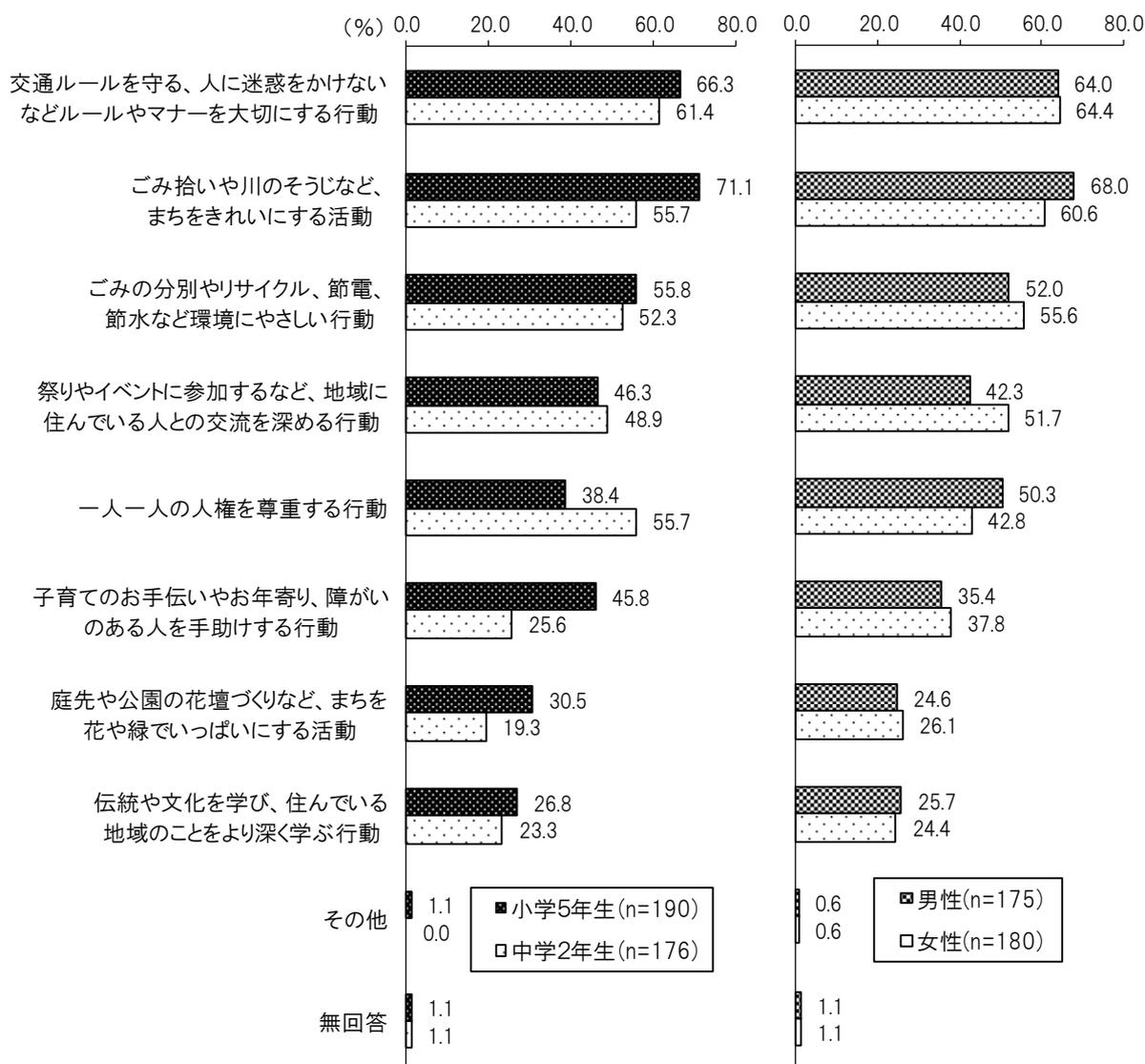


33 暮らしやすい玉野市をつくるためにできること

問 34 今後、暮らしやすい玉野市をつくるために、あなた自身は、どんな行動ができると思いますか。（回答はあてはまるもの全て）

暮らしやすい玉野市をつくるためにできることについては、小学5年生、中学2年生共に「交通ルールを守る、人に迷惑をかけるなどルールやマナーを大切にする行動」「ごみ拾いや川のそうじなど、まちをきれいにする活動」の割合が高くなっている。また、小学5年生は中学2年生に比べて「子育てのお手伝いやお年寄り、障がいのある人を手助けする行動」の割合が高く、中学2年生は「一人一人の人権を尊重する行動」の割合が高くなっている。

性別では、女性は男性に比べて「祭りやイベントに参加するなど、地域に住んでいる人との交流を深める行動」の割合が高くなっている。



資料 調査票

1 保護者調査票

【 保護者の皆様へ ご協力のお願い 】

玉野市 子どもの生活実態に関する調査について

本市では、全ての子どもが健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか社会」をつくっていくための法律である「こども基本法」に基づき「玉野市こども・若者計画」の策定に取り組んでいます。

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、子どもと子育て家庭の状況を適切に把握し、効果的な支援施策の検討に向けた基礎資料とするため、この度、小学5年生及び中学2年生の保護者の皆様に対象にしたアンケート調査を実施することにいたしました。

このアンケートは、お子さんのご家庭での生活習慣や様子などをはじめ、ご家庭の生活状況や保護者の皆様に関する事など、幅広くお答えいただく内容となっています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7（2025）年7月 玉野市

本調査はインターネットでの回答も可能です。

■ スマートフォンで回答する場合

右の二次元コードを読み取り、回答画面を開いてください。

■ パソコンで回答する場合

以下のURLより回答画面を開いてください。

https://gyosei.qualtrics.com/jfe/form/SV_5ooAuHFPHsRRcZE

- 1 「回答用ウェブサイト」の画面が出たら、協力していただける場合は「アンケート開始」のボタンをクリックし、下に書かれている「回答者番号」と「パスワード」を入力してください。
- 2 最後に「回答完了」をクリックし「調査へのご協力、誠にありがとうございました。」の画面が出たら、アンケートはおしまいです。



回答者番号

パスワード

ご回答にあたって（必ずお読みください。）

- この調査は、お子さんの身の回りの世話などを主にしている保護者の方がご回答ください。
 - 回答は無記名で統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することはありません。
 - 上記「回答者番号」と「パスワード」は二重回答を防ぐためのものであり、個人を特定するものではありません。
 - 小学生と中学生のお子さんが、共にいらっしゃる場合（きょうだいがいる場合）は、一番上のお子さんのことについて回答してください。
 - この調査は玉野市が実施しています。ご不明な点等は以下にお問い合わせをお願いいたします。
- ご記入いただいた調査票は、添付の封筒に入れ、封をした上で7月29日（火）までにポストへ投函してください。なお、インターネットでご回答いただいた方は、紙の調査票に記入していただく必要はありません。

調査のお問い合わせ先：玉野市役所 健康福祉部 こどもみらい課

〒706-8510 岡山県玉野市宇野1丁目27番1号 電話（0863）32-5554

E-Mail kodomo@city.tamano.lg.jp

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た続柄でお答えください。（回答は1つ）

※ この調査で「お子さん」とは、調査対象となる、小学5年生又は中学2年生のお子さんのことをいいます。以下同じ。

1 母親（継母を含む）	2 父親（継父を含む）
3 祖父母	4 その他

問2 あなたがお住まいの地区はどこですか。（回答は1つ）

1 田井地区	2 築港地区	3 宇野地区	4 玉・奥玉地区
5 玉原地区	6 和田地区	7 日比・渋川地区	8 荘内地区
9 八浜・大崎地区	10 後閑・山田地区	11 東児地区	12 玉野市以外

問3 現在のお住まいについてお答えください。（回答は1つ）

1 持ち家	2 貸家（民間アパート等）	3 公営住宅
4 社宅・官舎	5 間借り	6 その他

問4 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（回答者ご自身及びお子さんを含む）をお答えください。（単身赴任中の方も含めてください。）また、同居家族について、お子さんから見た続柄をお答えください。

同居家族の人数 （回答は1つ）	1 2人	2 3人	3 4人
	4 5人	5 6人以上	
同居家族について お子さんから見た続柄 （回答はあてはまるもの全て）	1 母親	2 父親	3 祖父母
	4 きょうだい	5 その他の人	

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。（回答は1つ）

1 結婚している（再婚や事実婚を含む）	→ 問7へお進みください
2 離婚	→ 問6へお進みください
3 死別 -----	} → 問7へお進みください
4 未婚 -----	
5 いない、わからない -----	

【問5で「2 離婚」と答えた方におたずねします。】

問6 現在、離婚相手からお子さんの養育費を受け取っていますか。（回答は1つ）

1 受け取っている	2 受け取っていない
-----------	------------

問7 あなたの世帯はひとり親世帯に該当しますか。(回答は1つ)

1 該当する	2 該当しない
--------	---------

問8 ご家族に、介護や介助が必要な方はいますか。(回答は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

問9 お子さんの親の年齢をお答えください。(回答は1つずつ)

(1) 母親		(2) 父親	
1 19歳以下	2 20～24歳	1 19歳以下	2 20～24歳
3 25～29歳	4 30～34歳	3 25～29歳	4 30～34歳
5 35～39歳	6 40～44歳	5 35～39歳	6 40～44歳
7 45～49歳	8 50～59歳	7 45～49歳	8 50～59歳
9 60歳以上	10 母親はいない	9 60歳以上	10 父親はいない

問10 お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。(回答は1つずつ)

(1) 母親		(2) 父親	
1 中学(中学部)まで		1 中学(中学部)まで	
2 高校(高等部)まで		2 高校(高等部)まで	
3 短大・高専・専門学校(専攻科)まで		3 短大・高専・専門学校(専攻科)まで	
4 大学又はそれ以上		4 大学又はそれ以上	
5 母親はいない(又はわからない)		5 父親はいない(又はわからない)	

問11 お子さんの親の就労状況をお答えください。(回答は1つずつ)

(1) 母親		(2) 父親	
1 正社員・正規職員		1 正社員・正規職員	
2 会社役員		2 会社役員	
3 嘱託・契約社員・派遣職員		3 嘱託・契約社員・派遣職員	
4 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員		4 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	
5 自営業※		5 自営業※	
6 働いていない(家事専業を含む)		6 働いていない(家事専業を含む)	
7 母親はいない(又はわからない)		7 父親はいない(又はわからない)	

※ 家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。

問12 保護者の方とお子さんの関わり方についてお尋ねします。次に挙げるそれぞれの項目についてお答えください。（回答は1つずつ）

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
(1) お子さんによく会話をしている	1	2	3	4
(2) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
(3) スマートフォンの使用方法等のルールを決めている	1	2	3	4
(4) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
(5) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
(6) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
(7) ふだん、お子さんと一緒に朝食を食べている	1	2	3	4
(8) ふだん、お子さんと一緒に夕食を食べている	1	2	3	4
(9) 毎月、お子さんに適当なお小遣いを与えている	1	2	3	4

問13 あなたは、お子さんの授業参観やPTA活動などに、ふだん、どの程度参加していますか。次に挙げるそれぞれの項目についてお答えください。（回答は1つずつ）

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
(1) 授業参観や運動会などの学校行事	1	2	3	4
(2) PTA活動や保護者会等のボランティアなど	1	2	3	4
(3) 町内会など地域の行事や活動	1	2	3	4

問 14 お子さんは、現在、塾や習いごとに通っていますか。（回答は1つ）

- | | |
|---------|----------|
| 1 通っている | 2 通っていない |
|---------|----------|

問 15 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。（回答は1つ）

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1 中学まで | 2 高校まで |
| 3 短大・高専・専門学校まで | 4 大学又はそれ以上 |
| 5 その他（ ） | 6 まだわからない |

問 16 前問でその回答を選んだ理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1 子どもがそう希望しているから | 2 一般的な進路だと思うから |
| 3 子どもの学力から考えて | 4 家庭の経済的な状況から考えて |
| 5 子どものきょうだいもそうするから | 6 子どもの親もそうであったから |
| 7 親として希望しているから | 8 学歴は重要だと思うから |
| 9 就職に有利だと思うから | 10 できるだけ早く働いてもらいたいから |
| 11 その他（ ） | 12 特に理由はない |

問 17 お子さんのことに関して、悩んでいること、又は気になることはどのようなことですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | |
|--------------------------------------|
| 1 身体の発育や発達、健康に関すること |
| 2 日常の勉強、進学や受験など子どもの教育に関すること |
| 3 教育費など経済的な不安や負担に関すること |
| 4 友達付き合い（いじめ等を含む）に関すること |
| 5 配偶者・パートナーが子どもとの関わりに協力的でないこと |
| 6 相談する相手がないこと |
| 7 子どもの就職に関すること |
| 8 非行や問題行動に関すること |
| 9 家族との人間関係に関すること |
| 10 子どもとの関わり方に関すること |
| 11 子どもとの時間を十分にとれないこと |
| 12 子どもを叱りすぎているような気がする |
| 13 子育てのストレスがたまっているような気がする |
| 14 子どもに十分な食事や衣服を与えることができていない |
| 15 習いごとやほしい物など、子どもが望む環境を与えることができていない |
| 16 その他（ ） |
| 17 特にない |

問 18 お子さんの子育てに関する相談先はどこですか。（回答はあてはまるもの全て）

1 配偶者、パートナー	2 祖父母等の親族
3 友人や知人、職場の人	4 学校の先生
5 民生委員・児童委員	6 インターネット、SNS
7 市の職員や保健師	8 専門機関（心理士（師）等）
9 その他（ ）	10 相談先がない

問 19 子育てに関する情報をどのように入手していますか。（回答はあてはまるもの全て）

1 市の広報誌やパンフレット	2 市のホームページ
3 市の公式SNS	4 新聞、雑誌
5 テレビ、ラジオ	6 親族、友人や知人
7 学校	8 インターネット、SNS
9 その他（ ）	10 特になし

問 20 あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。（回答は1つ）

1 かなりある	2 まあまあある	3 ふつう
4 あまりない	5 まったくない	

問 21 あなたが子どもの頃、生活に経済的なゆとりがありましたか。（回答は1つ）

1 かなりあった	2 まあまああった	3 ふつう
4 あまりなかった	5 まったくなかった	

問 22 あなたの世帯全体のおおよその年間収入（税込み）※はいくらですか。（回答は1つ）

- ※ 収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。
- ・ 勤め先の収入（定期収入、賞与等）
 - ・ 事業所得（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
 - ・ 公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
 - ・ 農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
 - ・ 財産所得（預貯金利子、家賃収入等）
 - ・ その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

1 50万円未満	2 50～100万円未満	3 100～150万円未満
4 150～200万円未満	5 200～250万円未満	6 250～300万円未満
7 300～350万円未満	8 350～400万円未満	9 400～450万円未満
10 450～500万円未満	11 500～600万円未満	12 600～700万円未満
13 700～800万円未満	14 800～900万円未満	15 900～1000万円未満
16 1000万円以上		

問 23 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 電気料金 | 2 ガス料金 |
| 3 水道料金 | 4 電話料金（固定電話・携帯電話を含む） |
| 5 家賃 | 6 住宅ローン |
| 7 学校の給食費や授業料等 | 8 学校の遠足や修学旅行等の参加費 |
| 9 その他（ | 10 未払いになったことはない |

問 24 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りず家族が病気（むし歯の治療を含む）やけがをしたときに病院にかかれなかったことがありましたか。（回答は 1 つ）

- | | |
|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった |
| 3 まれにあった | 4 まったくなかった |

問 25 あなたは「自分は孤立している」と感じることはありますか。（回答は 1 つ）

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 常に感じている | 2 ときどき感じている |
| 3 ほとんど感じることはない | 4 まったく感じない |

問 26 あなたの世帯にとって現在必要としている、又は重要だと思うのはどのような支援ですか。（回答は 3 つまで）

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 子どもや生活のことなどの悩みごとを相談できること | |
| 2 同じような悩みを持った人同士で知り合えること | |
| 3 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること | |
| 4 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること | |
| 5 離婚や養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること | |
| 6 就職のための支援が受けられること | |
| 7 住宅を探すことや住宅費の軽減などの支援が受けられること | |
| 8 病気や出産、事故があったときなどに一時的に子どもを預けられること | |
| 9 子どもの就学にかかる費用が軽減されること | |
| 10 一時的に必要な資金を借りられること | |
| 11 給食費等の経費の負担が軽減されること | |
| 12 その他（ | ） |
| 13 特にない | |

2 小中学生調査票

【 小学5年生・中学2年生のみなさんへ 】

玉野市 小学生・中学生の生活アンケートについての説明

～ 玉野市役所からアンケートへのご協力をお願い ～

このアンケートは、玉野市で生活するみなさんが、希望をもって安心して成長できる社会をつくるために、みなさんの考えや学校、家庭でのようすについてたずねるものです。

みなさんからいただいた意見を参考に、必要な取組を考えたいと思いますのでご協力をお願いします。



令和7（2025）年7月
玉野市役所

このアンケートはインターネットで行います。

アンケートの答え方

- 1 右の二次元コードから、インターネットの画面を開いてください。
- 2 「回答用ウェブサイト」の画面が出たら、協力していただける場合は「アンケート開始」のボタンをクリックし、下に書かれている**「回答者番号」と「パスワード」**を入力してください。
- 3 最後に「回答完了（かんりょう）」をクリックし「調査（ちょうさ）へのご協力、誠（まこと）にありがとうございました。」の画面が出たら、アンケートはおしまいです。



回答者番号

パスワード

回答にあたって（必ず読んでください。）

- ・ アンケートには**名前は書きません**。だれが何を答えたかを**知られることはありません**。
- ・ あなたの答えを、**おうちの方や学校の先生が見ることもありません**。
- ・ まちがった答えや正しい答えはありませんので、**思ったとおりに答えてください**。
- ・ **「回答者番号」と「パスワード」**は、みなさん個人（こじん）の回答を特定するものではなく、同じ人がまちがって2度回答しないようにするための番号ですから、安心してください。
- ・ アンケートは、15～20分くらいで終わりますので最後までよろしくをお願いします。

問1 あなたが通っている学校はどこですか。(回答は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1 小学校 | 2 中学校 |
|-------|-------|

問2 あなたがお住まいの地区はどこですか。(回答は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 田井地区 | 2 築港(ちっこう)地区 |
| 3 宇野(うの)地区 | 4 玉・奥玉(おくたま)地区 |
| 5 玉原地区 | 6 和田地区 |
| 7 日比(ひび)・渋川(しぶかわ)地区 | 8 荘内(しょうない)地区 |
| 9 八浜(はちはま)・大崎地区 | 10 後閑(ごかん)・山田地区 |
| 11 東見地区 | 12 玉野市以外 |

問3 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

- | | | |
|------|------|--------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他・答えたくない |
|------|------|--------------|

問4 あなたは、誰(だれ)と一緒に(いっしょ)に住んでいますか。(回答はあてはまるもの全て)

- | | | | |
|-------|-------|----------|----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 祖母(そぼ) | 4 祖父(そふ) |
| 5 兄・姉 | 6 弟・妹 | 7 その他の人 | |

あなたを含(ふく)めて何人いますか。→ 人

問5 あなたは今、健康ですか。(回答は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 とても健康である | 2 どちらかといえば健康である |
| 3 どちらかといえば健康ではない | 4 健康ではない |

問6 あなたは、学校での生活は楽しいですか。(回答は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 楽しい | 2 どちらかといえば楽しい |
| 3 どちらかといえば楽しくない | 4 楽しくない |

問7 あなたは、放課後に部活動や習いごとなどをしていますか。(回答は1つ)

- | |
|--|
| 1 している → <input type="text"/> 問9へお進みください |
| 2 していない |

【問7で「2 していない」と答えた方におたずねします。】

問8 放課後に部活動や習いごとなどをしていない理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- 1 やりたい部活動や習いごとがないから
- 2 費用（ひよう）がかかるから
- 3 家族の世話、家事など家の事情（じじょう）で早く帰る必要があるから
- 4 一緒（いっしょ）に入る友だちがないから
- 5 家でゲームなどで遊びたいから
- 6 その他（ ）

問9 あなたは、ふだん学校の授業（じゅぎょう）以外で、どのように勉強をしていますか。

※ 勉強には学校の宿題も含（ふく）みます。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 自分で勉強する | 2 塾（じゅく）で勉強する |
| 3 学校の先生に教えてもらう | 4 家庭教師（きょうし）に教えてもらう |
| 5 地域（ちいき）の人などが行う無料の勉強会に参加する | 6 Web学習・オンライン学習で勉強する |
| 8 友だちと勉強する | 7 家の人に教えてもらう |
| 10 学校の授業（じゅぎょう）以外で勉強はしない | 9 その他（ ） |

問10 あなたは、ふだん学校の授業（じゅぎょう）以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。次の(1)(2)それぞれについてお答えください。（回答は1つずつ）

※ 学校の宿題をする時間や塾（じゅく）などでの勉強時間も含（ふく）みます。

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない、30分以上、	2時間より少ない、1時間以上、	3時間より少ない、2時間以上、	3時間以上
(1) 学校がある日（月～金曜日）	1	2	3	4	5	6
(2) 学校がない日（土・日曜日・祝日）	1	2	3	4	5	6

問11 あなたは、将来（しょうらい）、どこまで進学したいですか。（回答は1つ）

- 1 中学校まで
- 2 高等学校まで
- 3 短期大学・高等専門（せんもん）学校・専門（せんもん）学校まで
- 4 大学又（また）はそれ以上
- 5 その他（ ）
- 6 まだわからない

問 12 前問でその回答を選んだ理由は何ですか。(回答はあてはまるもの全て)

1 希望する学校や職業(しょくぎょう)があるから	2 自分の成績(せいせき)から考えて
3 親がそう言っているから	4 きょうだい(兄弟)がそうしているから
5 先ばい(先輩)や友だち(友達)がそうしているから	6 家にお金がないと思うから
7 早く働く必要があるから	8 まだ先のことだから
9 その他()	10 特に理由はない

問 13 あなたは、学校を欠席することがありますか。(回答は1つ)

1 ほとんど欠席しない	2 たまに欠席する
3 よく欠席する	

問 14 あなたは、遅刻(ちこく)や早退(そうたい)をすることがありますか。(回答は1つ)

1 ほとんどしない	2 たまにする
3 よくする	

問 15 あなたは、ふだん、家族といっしょに食事をしていますか。(回答は1つずつ)

	家族(かぞ)そろうて 食べる	家族(かぞ)の誰(だれ)か と食べる	一人で 食べる ことが多い	その他	食べない
(1) 朝食	1	2	3	4	5
(2) 夕食	1	2	3	4	5
(3) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4	5

問 16 あなたは、ふだんの学校生活において、次の中であてはまることがありますか。

(回答はあてはまるもの全て)

1 授業(じゅぎょう)中に寝(ね)てしまうことが多い
2 宿題(しゅくどい)ができていないことが多い
3 持ち物(もちぶつ)の忘(わす)れ物が多い
4 提出(ていしゅつ)物を出すのが遅(おく)れることが多い
5 修学(しゅうがく)旅行(りょこう)など、泊(と)まりがけの行事(ぎょうじ)を欠席(けいせき)することが多い
6 保健(ほけん)室(む)など教室(きょうしつ)以外(いそ)にすることが多い
7 学校(がっこう)では一人(ひとり)でいることが多い
8 あてはまるものはない

問17 あなたは、平日（学校がある日）の夜は何時ごろに寝（ね）ますか。（回答は1つ）

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1 夜9時より前 | 2 夜9時台 | 3 夜10時台 |
| 4 夜11時台 | 5 夜12時よりあと | |

問18 あなたは、平日（学校がある日）に、どのくらいスマートフォンやタブレット、ゲーム機を使いますか。SNSやゲーム、電話など全ての使用を含（ふく）みます。（ただし、学校の授業（じゅぎょう）や宿題での使用は含（ふく）みません。）（回答は1つ）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 1時間以下 | 2 1～2時間くらい | 3 2～3時間くらい |
| 4 3～4時間くらい | 5 4時間以上 | 6 まったく使わない |

問19 あなたは、ふだん、家事の手伝いをどのくらいしていますか。（回答は1つ）

※「家事」とは、食事のしたくや洗（せん）たく、そうじなどのほか、きょうだいや祖父（そふ）、祖母（そぼ）などお年寄（よ）りの世話なども含（ふく）みます。

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週に3～5日 | 3 週に1～2日 |
| 4 1か月に数日 | 5 その他 | |
| 6 ほとんど手伝いはしない | → 問23へお進みください | |

【問19で「1～5（手伝いをしている）」と答えた方におたずねします。】

問20 あなたは、ふだん、家事の手伝いを1日にどのくらいしていますか。（回答は1つ）

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1 30分未満 | 2 30分～1時間未満 | 3 1～2時間未満 |
| 4 2～3時間未満 | 5 3～5時間未満 | 6 5時間以上 |

【問19で「1～5（手伝いをしている）」と答えた方におたずねします。】

問21 あなたは、自分が家事の手伝いをしていることについて、どのように思っていますか。あなたの思いに最も近いものを選んでください。（回答は1つ）

- | |
|------------------------------------|
| 1 手伝いを好きでしている |
| 2 手伝いをすることは好きではないが、家族のためにがんばってしている |
| 3 本当はしたくないのに、しかたなくしている |
| 4 家事を手伝うことをつらく感じている |
| 5 その他（ <input type="text"/> ） |
| 6 特に何も思わない |

問 25 あなたが、学校やまわりの大人に助けてほしいことはありますか。

(回答はあてはまるもの全て)

- 1 自分のことについて話を聞いてほしい
- 2 家族のことについて相談にのってほしい
- 3 自分がしている家事や家族のお世話を誰(だれ)かに代わってほしい
- 4 自由に使える時間がほしい
- 5 勉強を教えてほしい
- 6 お金の面で助けてほしい
- 7 その他()
- 8 特にない
- 9 わからない

問 26 あなたに、困(こま)っていること、悩(なや)みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰(だれ)ですか。(回答はあてはまるもの全て)

- 1 親
- 2 きょうだい
- 3 祖父(そふ)や祖母(そぼ)
- 4 親せき(おじやおばなど)
- 5 学校の先生
- 6 学校の友だち
- 7 学校以外の友だち
- 8 その他の大人(放課後児童クラブの人、塾(じゅく)や習いごとの先生、地域(ちいき)の人など)
- 9 ネットで知り合った人
- 10 誰(だれ)にも相談できない、相談したくない
- 11 わからない

問 27 あなたは、玉野市のことが好きですか。「とても好き」を10点、「好きではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(回答は1つ)

好きではない ←—————→ とても好き										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問 28 あなたは、将来(しょうらい)、進学や就職(しゅうしょく)で玉野市を出ることになった場合、また玉野市に戻(もど)ってきたいと思いますか。(回答は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 ぜひ戻(もど)ってきたい | 2 どちらかといえば戻(もど)ってきたい |
| 3 どちらかといえば戻(もど)りたくない | 4 戻(もど)りたくない |
| 5 わからない | |

問 29 あなたは、今の暮（く）らしを、どの程度（ていど）「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「幸せではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（回答は1つ）

幸せではない ←————→ とても幸せ										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問 30 あなたは、将来（しょうらい）の夢や目標を持っていますか。（回答は1つ）

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

問 31 現在（げんざい）、我（わ）が国では「少子化」が進んでいることを、あなたは知っていますか。（回答は1つ）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

お読みください：「少子化」とは

「少子化」とは、生まれてくる子どもの人数（出生数）が大幅（おおはば）に減（へ）っていくことです。その原因（げんいん）として、親となる世代の人口が減（へ）ったことや生む子どもの人数が減（へ）ったことが、大きく関わっていると言われています。

特に初めて結婚（けっこん）する年齢（ねんれい）が男女共に遅（おそ）くなる「晩婚（ばんこん）化」や若（わか）い世代の人たちが一度も結婚（けっこん）しない「未婚（みこん）化」が増（ふ）えたことなどが大きな原因（げんいん）と言われています。

その背景（はいけい）には、働く女性が増（ふ）えてきたにもかかわらず、仕事と子育てを両立できる仕組みが十分ではないこと、子育てには心理的、肉体的な負担（ふたん）や経済（けいざい）的な負担（ふたん）がかかるなど、様々な問題があるとされています。

問 32 あなたは、自分が大人になったときの将来（しょうらい）、働くことについて、どのような考えを持っていますか。（回答は1つ）

1 結婚（けっこん）せずに働きたい
2 結婚（けっこん）して子どもを持ち、働きたい
3 結婚（けっこん）しても子どもは持たずに、働きたい
4 子どもが生まれたらいったん仕事をやめて、子どもが大きくなったら再（ふた）たび働きたい
5 子どもが生まれたら仕事をやめて、子育て中心の生活をしたい
6 その他（ ）
7 わからない

問 33 あなたは、玉野市が将来（しょうらい）どんなまちになってほしいと思いますか。
（回答は3つまで）

- 1 農業や漁業を大切に守り続けるまち
- 2 工場でのものづくり（工業）が盛（さか）んなまち
- 3 商業やサービス業が盛（さか）んで活気にあふれるまち
- 4 観光や交流が盛（さか）んなまち
- 5 バスなど公共交通の利用が便利なまち
- 6 高齢（こうらい）者や障（しょう）がいのある人にやさしく、誰（だれ）もが住みやすい福祉（ふくし）が充実（じゅうじつ）したまち
- 7 住民同士が助け合い、支え合えるまち
- 8 子どもがしっかり学べる教育が充実（じゅうじつ）したまち
- 9 スポーツが盛（さか）んでみんなが元気に暮（く）らせるまち
- 10 地域（ちいき）の文化や伝統（でんとう）を大切にするまち
- 11 美しい自然環境（かんきょう）や景観が守られているまち
- 12 デジタル技術（ぎじゅつ）の導入（どうにゅう）など先進的な取組を進めるまち
- 13 その他（ ）

問 34 今後、暮（く）らしやすい玉野市をつくるために、あなた自身は、どんな行動ができると思いますか。（回答はあてはまるもの全て）

- 1 ごみ拾いや川のそうじなど、まちをきれいにする活動
- 2 庭先や公園の花壇（かだん）づくりなど、まちを花や緑でいっぱいにする活動
- 3 ごみの分別やリサイクル、節電、節水など環境（かんきょう）にやさしい行動
- 4 子育てのお手伝いやお年寄（よ）り、障（しょう）がいのある人を手助けする行動
- 5 祭りやイベントに参加するなど、地域（ちいき）に住んでいる人との交流を深める行動
- 6 伝統（でんとう）や文化を学び、住んでいる地域（ちいき）のことをより深く学ぶ行動
- 7 交通ルールを守る、人に迷惑（めいわく）をかけないなどルールやマナーを大切にする行動
- 8 一人一人の人権（じんけん）を尊重（そんちょう）する行動
- 9 その他（ ）

問 35 あなたは、自分が大人になっても住み続けたいと思う玉野市をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。ご意見やアイデアなど、自由に書いてください。

～ ご協力ありがとうございました。～

玉野市 子どもの生活実態に関する調査（小中学生・保護者）
報告書

発行／令和7（2025）年9月
発行者／玉野市 健康福祉部 こどもみらい課
〒706-8510 岡山県玉野市宇野1丁目27番1号
電話（0863）32-5554
メール kodomo@city.tamano.lg.jp
